お役に立つ、いろいろな情報は次のサイトで!	
■ 撮りかたのコツや新製品情報	http://panasonic.jp/
■ サポート情報	http://panasonic.jp/support/
■ 便利なLUMIX修理サービス	http://lumix.jp/repair/

愛情点検 長年ご使用のデジタルカメラの点検を!

こんな症状はありませんか	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 映像や音声が乱れたり出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体やチャージャーが破損した • その他の異常や故障がある
ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMC-TZ7
販売店名	☎ (　　)		

AVCHD Lite™ "AVCHD Lite"および"AVCHD Lite"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

DOLBY DIGITAL STEREO CREATOR ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

QuickTime QuickTimeおよびQuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc. の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15 号

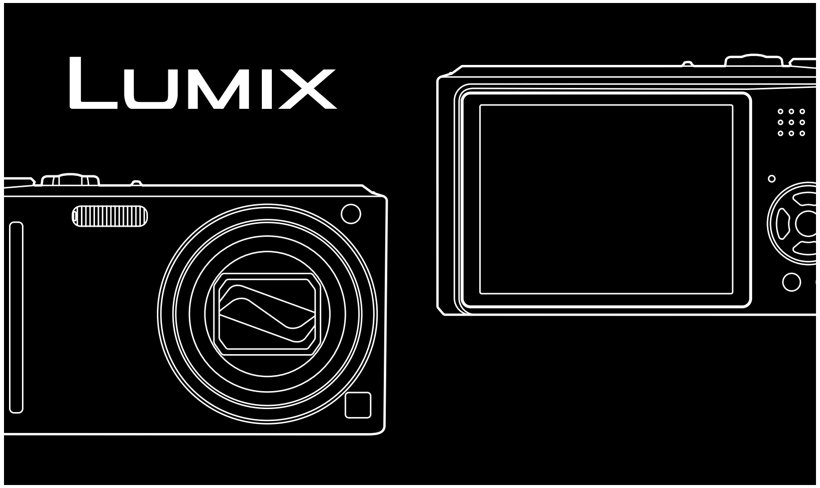
M0209KZ1029

Panasonic®

取扱説明書
デジタルカメラ

品番 DMC-TZ7





SDHC™ HDMI™

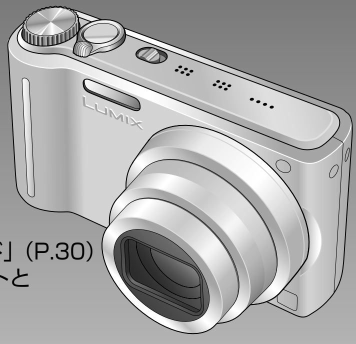
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」(6 ～ 9 ページ)を必ずお読みください。
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

VQT1Z81-1

大切な瞬間を楽しくカンタンに撮る・見る・残す LUMIX（ルミックス）

撮る P.28





おまかせで撮る
- カメラがシーンを自動で判別
  「インテリジェントオートモード」（P.30）
- 被写体の動きに合わせてピントと
  明るさを自動で最適設定
  「追尾AF」（P.32）
- 顔を見分けてキチンとフォーカス
  「顔認識」（P.32、69）



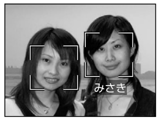
広く撮る
- 集合写真もみんな一緒に写せる
  「広角25mmレンズ」



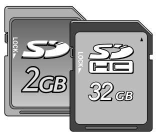
ズームで撮る（P.35）
- 遠くの人も大きく「光学12倍ズーム」
  （EX光学ズームで「21.4倍ズーム」）



動画を撮る（P.58）
- ボタンひとつで動画撮影にすばやく切り換え
  「動画ボタン」
- ハイビジョン動画を長時間撮影
  「AVCHD Lite」（1280×720p）
- 動画撮影中でもズーム操作可能



個人認証機能を使って撮る（P.61）
- 登録した顔に近い顔を見つけて、優先的にピント
  や露出を合わせる
  「個人認証」



各機器にSD メモリーカードスロットがある場合は直接スロットへ！
- SD メモリーカード(別売)
  SDHC メモリーカード(別売)※2



見る P.103
- テレビの大画面で再生
  AVケーブル
  HDMIミニケーブル(別売)
- ビエラのリモコンで
  かんたん操作
  「ビエラリンク」対応



残す P.100
- ご家庭のプリンター※1で手軽にプリント
  USB接続ケーブル
- カードをお店に渡してプリント
  SDカード

パソコン※1で 活かす、残す P.95



付属のソフトウェア
「PHOTOfunSTUDIO※3」を使って…
- 画像を保存、加工、管理
- 撮影した動画から、DVDディスクを作成

SDカード
USB接続ケーブル



さらに…

ハードディスク・ブルーレイディスク / DVD レコーダー※1 で保存

SDカード
AVケーブル

※1 詳しくは、それぞれの機器の説明書をご覧ください。
※2 SDHC メモリーカードの対応機器でのみ使用できます。
※3 付属CD-ROMに収録されている「PHOTOfunSTUDIO 3.0 HD Edition」をお使いください。

もくじ

必ずお読みください

はじめに

準備

基本

応用・撮影

応用・再生

他の機器との接続

その他Q&A

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

🛇 してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

チャージャー(充電器)は、本機専用のバッテリーにのみ使用する

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない (※以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- ●煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ●映像や音声が出ないことがある
- ●内部に水や異物が入った
- ●電源プラグが異常に熱い
- ●本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。

チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100 V～240 V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない

分解や改造はしない、ぬらさない、異物を入れない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 内部には、電圧の高い部分があります。

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

⚠ 警告

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。

- 本体やチャージャーには、金属部があります。

⚠ 注意

フラッシュ発光部および AF 補助光は、至近距離（数 cm）で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。

発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

ご使用の前に

まず、お読みください

■必ずためし撮りを！
事前に撮影や録音(動画や音声付き静止画)ができるか、確認してください。

■撮影や録音(動画や音声付き静止画)の失敗や損失、直接的・間接的な損害は補償できません
本機やカードの不具合による場合でも、補償はご容赦ください。

■著作権に気をつけてください
- 撮影した画像は、個人で楽しむ以外は、権利者に無断で使用できません。
- 個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。

■再生できない場合があります
- パソコンで編集をした画像。
- 他機で撮影や編集をした画像。(本機で撮影や編集をした画像も、他機では再生できないことがあります)

■付属のCD-ROMのすべてのソフトウェアについて
次の行為は禁止されています。
- 営業目的の複製(コピー)
- ネットワークへの転載

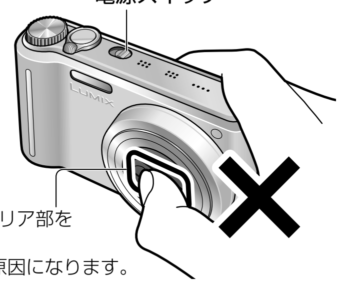
故障や破損、誤動作や不具合を防ぐために

■衝撃や振動、圧力を避ける
- 落としたり、ぶつけたり、ポケットに入れたまま座ったり、強い振動や衝撃を与えたりしない。(落とさないようにハンドストラップをつける。本機にアクセサリーなどをぶら下げると圧迫の原因になることがあります)
- レンズ部や液晶モニターを強く押さえない。

■ぬらさない、異物を入れない
本機は防水構造ではありません。
- 水や雨、海水をかけない。(ぬれたら乾いた柔らかい布でふく。海水などは、先によく絞った布でふく)
- レンズ部や端子部にほこりや砂など、また、ボタンのすき間から液体などが入らないようにする。

■温度や湿度の急激な変化による“つゆつき”を避ける
- 温度や湿度に差があるときは、ビニール袋に入れて周囲の温度になじませてから使う。
- レンズがくもったら電源を切り、2 時間ほど放置して周囲の温度になじませる。
- 液晶モニターがくもったら乾いた柔らかい布でふく。

■レンズについて
- レンズが汚れたら電源を入れ、レンズ鏡筒を出した状態でレンズ鏡筒を指で固定して、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふく。(レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなるときがあります)
- レンズ部を太陽に向けたまま放置しない。



レンズバリア部を触らない
(故障の原因になります。カバンなどから取り出すときにも気をつけてください。)

■三脚を使うとき
- 無理な力を加えたり、斜めにねじ止めしない。(本体、ねじ穴、定格ラベルの損傷の原因になります)
- 三脚が安定していることを確認する。(三脚の説明書もお読みください)

■持ち運びのとき
電源を切る。
誤動作や破損を防ぐため、本革ケース(別売：DMW-CT3)をおすすめします。

「使用上のお願いとお知らせ」(P.120)も合わせてお読みください。

液晶モニターの特性について

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

本機温度について

ご使用中、本機表面(特にグリップ部など)やバッテリー、カードが多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。



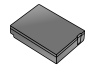
グリップ部

付属品

付属品をご確認ください。(品番は2009年2月現在)
メモリーカードは別売です。

□バッテリーパック
DMW-BCG10
- 充電してからお使いください。

(本書では、「バッテリー」と表記します)

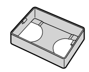


□バッテリーチャージャー
DE-A65A

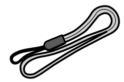
(本書では、「チャージャー」と表記します)



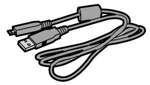
□バッテリーケース
VGQ0E45



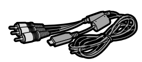
□ハンドストラップ
VFC4297



□USB 接続ケーブル
K1HA14AD0002



□AV ケーブル
K1HA14CD0002

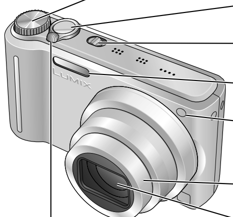


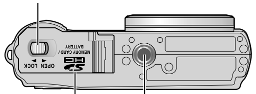
□CD-ROM
- パソコンにソフトウェアをインストールしてお使いください。



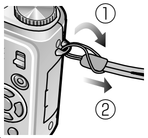
●包装材料などは、商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
●別売品のご紹介(P.108)

各部の名前

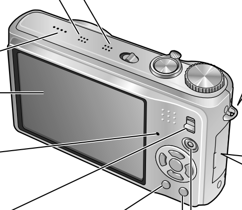


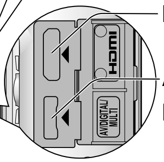


ハンドストラップ(付属)のつけかた



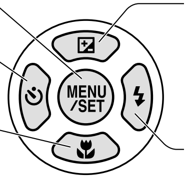
落下防止のため、ハンドストラップの使用をおすすめします。





● 製品のイラストや画面は、実物と異なる場合があります。

カーソルボタン



MENU/SET
メニュー表示/決定/終了(P.18)

左カーソルボタン(◀)
メニュー選択位置を左に移動
- セルフタイマー（P.45）

下カーソルボタン(▼)
メニュー選択位置を下に移動
- マクロ撮影(P.42)
- AFロック(追尾AF)（P.32、69）

上カーソルボタン(▲)
メニュー選択位置を上に移動
- 露出補正(P.46)
- オートブラケット(P.46)
- マルチアスペクト(P.47)
- ホワイトバランス微調整(P.68)

右カーソルボタン(▶)
メニュー選択位置を右に移動
- フラッシュ (P.40)

●本書では、操作するボタンをグレーで色分けしたり、▲▼◀▶で表しています。

バッテリーを 充電する

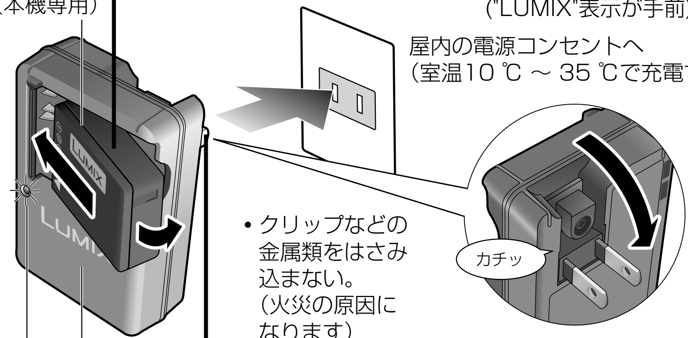
ご使用の前に、必ず充電！
(お買い上げ時には、充電されていません)

■本機で使えるバッテリー（2009年2月現在）

本機で使えるバッテリーはDMW-BCG10です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部海外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。
- 本機には、使用できるバッテリーを判別する機能があり、専用バッテリー（DMW-BCG10)は、この機能に対応しています。(この機能に対応していない従来のバッテリーは使用できません)



1 バッテリーをしっかり取りつける
("LUMIX"表示が手前)

- クリップなどの金属類をはさみ込まない。
（火災の原因になります）

2 プラグを起こし、電源コンセントへしっかり差し込む

充電ランプ(CHARGE)

点灯	：	充電中(最大約130 分)
消灯	：	充電完了(電源コンセントからチャージャーを抜いてバッテリーを外す)
点滅したら	•	バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎるため、通常よりも充電時間がかかります。(充電を完了できないことがあります)
	•	バッテリーやチャージャーの端子部が汚れています。乾いた布でふいてください。

■撮影可能枚数の目安

フラッシュやズーム、LCDモードなどを多用した場合や、寒冷地の低温下などでは、下記より撮影枚数や使用時間が減少することがあります。

記録可能枚数	約300枚	CIPA規格に基づく
撮影使用時間	約150分	

●**CIPA※規格の撮影条件**

※ CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。

- 温度23℃／湿度50%
- 通常撮影モード
- 液晶モニター ON
  （オートパワー LCD、パワー LCD時は記録可能枚数が減少します。）
- 当社製SDメモリーカード(32MB)使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れ、30秒後に撮影開始(手ブレ補正「AUTO」)
- 30秒間隔で、1枚撮影
- フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとにズーム操作
  （W端→T端、またはT端→W端）
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーを冷ます

撮影間隔が長いと枚数は減り、例えば上記の撮影条件において2分間隔で撮影した場合は約1/4（約75枚)になります。

再生時間	約300 分

記録可能枚数/再生時間は、バッテリーの保存状態や使用条件によって多少変わります。

連続記録可能時間(動画)	約90 分

- 撮影モードを「AVCHD Lite」、画質設定を「SH」に設定して連続撮影

記録可能時間は、撮影間隔や使用条件によって変わります。※

※ 電源の「ON」/「OFF」切り換え、撮影の開始/終了、ズーム操作などを繰り返した場合は、記録可能時間が短くなります。

●充電中や充電後は、バッテリーが温かくなります。

●充電後でも、長期間放置すると、使わなくてもバッテリーを消耗します。

●頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。
（充電回数が増えると使用時間が短くなり、バッテリーが膨らむ特性があります）

●著しく使用できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。
新しいバッテリーをお買い求めください。

●充電するときは
- チャージャーやバッテリーの端子部の汚れを乾いた布で取る。
- AMラジオからは1 m離す。（ラジオに雑音が入る原因になります）
- チャージャーの内部で音がすることがありますが、異常ではありません。
- 充電したら、必ず電源コンセントから抜く。（放置すると、最大0.1 W電力消費）

●不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

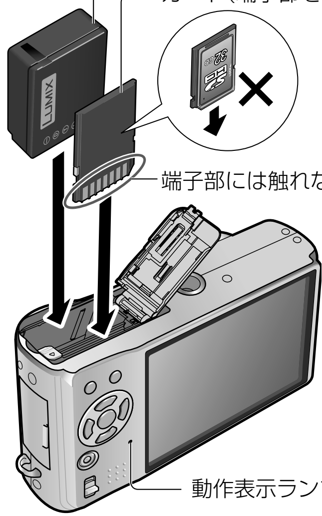
詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp/

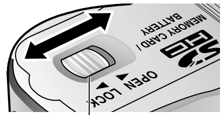
使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

充電式 リチウムイオン電池使用 Li-ion 20

バッテリーやカードを入れる



1 必ず、電源を「OFF」にし、開閉レバーを**「OPEN」にして、扉を開ける**

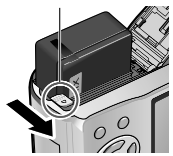


2 **バッテリーとカードを「カチッ」と音がするまで入れる**

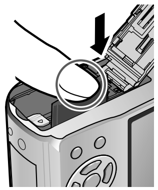
3 **扉を閉め、開閉レバーを「LOCK」にする**

■取り出すとき

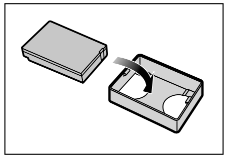
- **バッテリー**：
  レバーを矢印方向へ引く。



- **カード**：
  中央を押す。



●**使用後は、必ずバッテリーを取り出してください。**
- 取り出したバッテリーは、バッテリーケース(付属)に収納してください。



●カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、動作表示ランプが完全に消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）

●miniSD カードやmicroSD カード/microSDHC カードは、専用アダプターが必要です。アダプターだけを本機に入れたままにしないでください。（正常に動作しません）

バッテリーやカードを入れる（つづき）

画像の保存先（カードと内蔵メモリー）

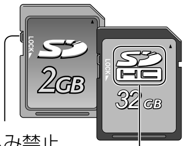
カードを入れているときはカード、入れていないときは内蔵メモリー「IN」に保存されます。

■ カード（別売）に保存するとき

SD 規格に準拠した次のカード（当社製推奨）が使用できます。

- SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
- SDHC メモリーカード※（4 GB ～ 32 GB）
  ※ 2006年にSD アソシエーションにより策定された、2 GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。（必ずお使いの機器の説明書をお読みください）
- miniSD カード、microSD カード、microSDHC カード（いずれも専用アダプターが必要）

SDメモリーカード/SDHCメモリーカード（別売）



書き込み禁止スイッチ

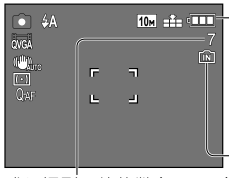
SDHC ロゴ

- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。（P.26）
- 4 GB以上のカードはSDHCロゴのある（SD規格準拠）カードのみ使用できます。
- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」にすると、撮影や消去、フォーマットなどができません。
- マルチメディアカードも使用できます。（静止画のみ対応）

■ 内蔵メモリー（約 40 MB）に保存するとき

- カードよりも保存に時間がかかることがあります。
- 内蔵メモリーに記録できる動画は、「画質設定」（P.76）の「QVGA」のみです。
- メモモードの画像（P.77）は、内蔵メモリーに保存されます。
- カードと内蔵メモリー間で画像をコピーできます。（P.94）

バッテリー残量と撮影可能枚数の表示



バッテリー残量表示（バッテリー使用時のみ）

（赤点滅）

赤点滅（液晶モニター消灯時は動作表示ランプが点滅）したら、バッテリーを充電または交換してください。（P.13）

カードを入れていないときに表示（内蔵メモリーに保存されます）

残り撮影可能枚数（P.122）

カードやメモリーへのアクセス動作中は…

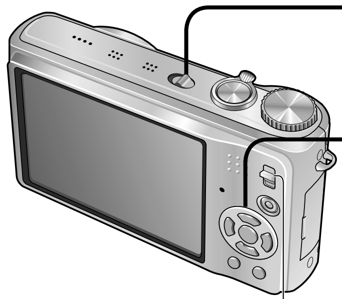
（カード）、または IN（内蔵メモリー）が、赤く点灯します。

点灯中は、画像の書き込みや読み出し、消去、フォーマット中など動作中のため、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター（別売：DMW-AC5）を取り外さないでください。（データ破損や故障の原因になります）また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。それにより動作が停止した場合は再度操作してください。

- 大切な画像はパソコンなどへの保存をおすすめします。（電磁波や静電気、故障などにより壊れたり消えることがあります）
- 最新情報：http://panasonic.jp/support/dsc/

時計を合わせる （お買い上げ時は設定されていません）

電源を入れる前に、撮影/再生切換スイッチを[📷]に合わせてください。



撮影/再生切換スイッチ

1 電源を「ON」にする

OFF ON

お買い上げ時、電源を入れると**「時計を設定してください」**と表示されます。

2 上記を表示中に

[MENU/SET]を押す

3 項目（年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式）を選び、設定する

項目を選び

日時や表示を設定する



表示方法を選ぶ

- 中止するとき→🗑を押す
- 表示順と時刻表示形式の設定例※
  [年/月/日] [24時間]：2009.4.15 12：34
  [日/月/年] [AM/PM]：PM 12:34 15.APR.2009
  [月/日/年] [24時間]：12：34 APR.15.2009
  ※[AM/PM]に設定すると、午前0:00はAM12:00、午後0:00はPM12:00で表示されます。この表示はアメリカなどで一般的に使用されている表示方法です。

4 決定する

[MENU/SET]を押す

- 電源を入れ直し、時計表示が正しいか確認してください。（[DISPLAY]を数回押しても、日時を表示できます。）

時計を合わせ直す

セットアップメニュー（P.21）で「時計設定」を選び、右の 3 → 4 を行う。

- 時計設定はバッテリーを取り出しても、約3か月記憶します。（満充電のバッテリーを入れて約24時間経過した場合）

■**海外旅行先の時刻を設定するとき**

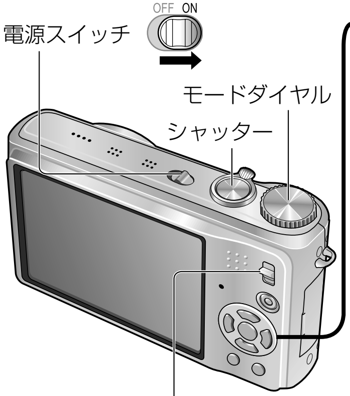
➡「ワールドタイム」（P.64）

- 時計を設定しないと、お店プリント、文字焼き込み（P.86）をした場合に正しい日付がプリントされません。
- 2000 年から2099 年まで設定できます。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

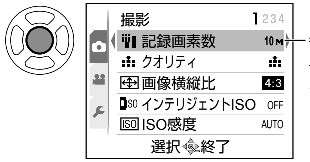
メニューを使って設定する

本機をもっと活用するために、各種メニューから、いろいろな機能を使ったり、設定を変えたりできます。

(例)通常撮影モード(P.33)中にセットアップメニューの「スピーカー音量」を変更する。
（撮影/再生切換スイッチ：📷、モードダイヤル：📷に合わせる）

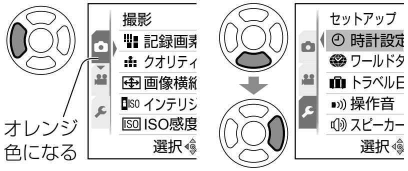


1 メニューを表示する

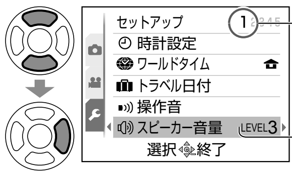


2 セットアップメニューを選ぶ

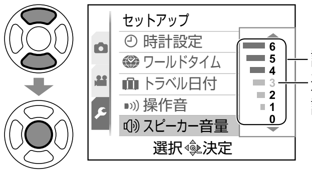
① 📷 に移動する　② 🔧 を選び、メニュー項目に戻る



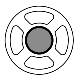
3 メニュー項目を選ぶ



4 設定内容を選ぶ



5 終了する



• 撮影/再生切換スイッチが「📷」のときは、［シャッター］半押しでも終了できます。

■お買い上げ時の設定に戻すとき

➡「セットアップメニュー」→「設定リセット」（P.24）

●項目により、設定の表示のしかたが異なるものがあります。

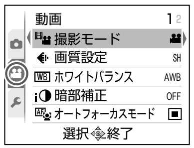
メニューの種類

📷 撮影メニュー（撮影/再生切換スイッチ：📷）



お好みの設定で静止画を撮影したい！（P.65 ～ 74）
• 色合いや感度、横縦比、画素数などが設定できます。

🎥 動画メニュー（撮影/再生切換スイッチ：📷）



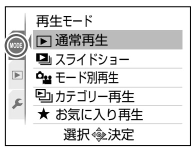
お好みの設定で動画を撮影したい！（P.75 ～ 76）
• 色合いや画質、データ形式(撮影モード)などが設定できます。

🔧 セットアップメニュー（撮影/再生切換スイッチ：📷 ▶）



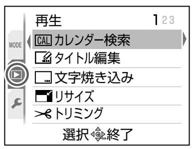
本機をより便利に使いたい！（P.21 ～ 27）
• 時計設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。

MODE 再生モード選択メニュー（撮影/再生切換スイッチ：▶）



撮った画像を見たい！（P.81 ～ 84）
• スライドショーで見たり、お気に入りの画像だけを見たりするなど、再生方法を選べます。
•「お気に入り」（P.91）を設定していないときは、「お気に入り再生」は表示されません。

▶ 再生メニュー（撮影/再生切換スイッチ：▶）



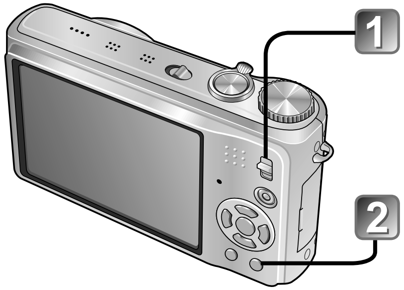
撮った画像を活用したい！（P.85 ～ 94）
• 画像の保護、切り抜き、プリント設定(DPOF)など、撮影した画像に対して設定ができます。

●モードにより、表示されるメニュー項目は変わります。

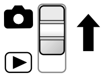
メニューを使って設定する（つづき）

クイックメニューを使う

撮影時にメニュー項目を簡単に呼びだせます。



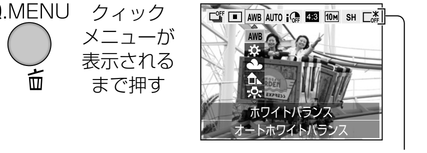
1 （撮影）にする



2 「クイックメニュー」を表示する

Q.MENU

クイックメニューが表示されるまで押す

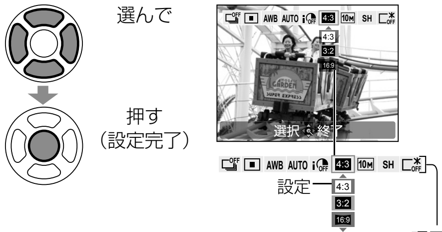


クイックメニュー項目

3 項目と設定を選び、決定する

選んで

押す（設定完了）



設定

項目

●撮影モードにより表示されるメニュー項目と設定項目が異なります。

セットアップメニューを使う

時計設定やバッテリーを長く使うための設定、操作音の切り換えなど、カメラ本体の設定ができます。

「時計設定」「オートレビュー」「エコモード」は、日時や電源などに関する大切な項目です。使う前に必ず設定を確認してください。（設定方法：P.18）

[網掛け] は、お買い上げ時の設定です。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
時計設定 時計を合わせる。（P.17）	日時と表示方法を設定する。
ワールドタイム お住まいの地域と海外旅行先の日時を設定する。（P.64）	**旅行先**：海外旅行先の日時にする。 **ホーム**：お住まいの地域の日時にする。
トラベル日付 旅行何日目かを記録する。（P.63）	**トラベル日付設定** OFF ／ **設定**（出発日と帰着日を記録する） **旅行先** OFF ／ **設定**（旅行先を文字で入力する）（P.85）
操作音 操作音やシャッター音を変える。	**操作音音量** ／／：音量切／小／大から選ぶ **操作音音色** ❶／❷／❸　：操作音の種類を選ぶ **シャッター音音量** ／／　：シャッター音量切／小／大から選ぶ **シャッター音音色** ❶／❷／❸　：シャッター音の種類を選ぶ
スピーカー音量 スピーカー音量を調整する。（7 段階）	0・・LEVEL3・・LEVEL6 • テレビ接続時、テレビのスピーカーの音量は調整できません。（本機の音量を0にすることをおすすめします）
液晶明るさ 液晶モニターの明るさを調整する。（7 段階）	+1 ～ +3 ：明るくする ±0　：標準 −1 ～ −3：暗くする

準備

セットアップメニューを使う（つづき）

セットアップメニューの設定方法は、18ページへ

メニュー項目	設定内容・お知らせ
LCDモード 液晶モニターを見やすくする。	OFF：通常表示（設定解除） オートパワーLCD：周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 パワーLCD：画面を通常よりも明るくする。（屋外向き） •「オートパワーLCD」は、次のときは働きません。 再生時／メニュー表示中／パソコンやプリンターに接続時 •「パワーLCD」は、撮影時に30秒間操作をしないと元に戻ります。（いずれかのボタンを押すと再び明るくなります） • 記録する画像には影響しません。 • 太陽光などが反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってください。 • 再生モードでは「オートパワーLCD」に設定できません。 •「オートパワーLCD」または「パワーLCD」時は、撮影枚数や使用時間が減少します。
表示サイズ メニューの表示サイズを変更する。	標準／大
ガイドライン表示 撮影情報の表示とガイドラインの種類を選ぶ。（P.39）	**撮影情報** OFF／ON（ガイドライン表示中に撮影情報を表示する） **パターン** ／：ガイドラインの種類を選ぶ
ヒストグラム表示 被写体の明るさをグラフで見る。（P.39）	OFF／ON（ヒストグラムを表示する）
動画記録枠表示 動画で記録できる範囲を撮影前に確認できるようにする。	OFF／ON • 動画記録枠表示は目安です。 • EX光学ズーム使用時は、ズーム倍率により表示されない場合があります。 • インテリジェントオートモードでは設定できません。 この部分は記録されません 

メニュー項目	設定内容・お知らせ
ECO エコモード 使わない間、電源を切ったり、液晶モニターを消したりしてバッテリーの消費を防ぐ。	**パワーセーブ** OFF／2分／5分／10分：設定時間操作をしないとき電源を切る • 再度使うとき→[シャッター]半押し、または電源を入れ直す • 次のときは働きません。 ACアダプター（別売：DMW-AC5）使用時、パソコン・プリンター接続時、動画撮影／再生時、スライドショー中 • 次の場合は、設定が固定されます。 「自動液晶OFF」（下記）設定時は「2分」、 インテリジェントオートモードやメモモードは「5分」、 スライドショー一時停止中は「10分」
	自動液晶OFF OFF／15秒／30秒： 撮影時、設定した時間操作をしないとき液晶モニターを消灯する。（消灯中は動作表示ランプ点灯→12ページ） • 次のときは働きません。 インテリジェントオートモード、メモモード、ACアダプター（別売：DMW-AC5）使用時、メニュー表示中、セルフタイマー設定時、動画撮影中 • 再度使うとき→いずれかのボタンを押す
オートレビュー 撮影直後に画像を自動表示する。	OFF：自動再生しない 1秒／2秒：1秒間/2秒間自動再生する ホールド：いずれかのボタン（[DISPLAY]以外）を押すまで自動再生画面のままにする ズーム：1秒間表示後、4倍拡大して1秒間自動再生する（ピント確認に便利です） • インテリジェントオートモードは、「2秒」に固定されます。 •「オートブラケット」、「マルチアスペクト」、「連写」、シーンモードの「自分撮り」「パノラマアシスト」「高速連写」「フラッシュ連写」、音声付き静止画は、設定にかかわらず撮影直後に自動表示されます。 • 動画はオートレビューできません。

準備

メニュー項目	設定内容・お知らせ
ズーム位置メモリー 電源を切ったときのズーム位置を記憶させる。	OFF ／ ON（ズーム倍率を記憶する） • シーンモードの「自分撮り」では設定できません。
番号リセット 画像のファイル番号をリセットする。	**はい**(リセットする) ／ **いいえ** • 新しいフォルダーを作成し、ファイル番号を0001にリセットします。 • フォルダー番号は100 ～ 999まで作成されます。フォルダー番号が999 になるとリセットできません。必要な画像をパソコンなどに保存してから本機でフォーマットをしてください。(P.26) • フォルダー番号を100 にリセットするには：まず、内蔵メモリーまたはカードを本機でフォーマットし、「番号リセット」で「はい」を選ぶ。その後、フォルダー番号のリセット画面で「はい」を選ぶ。 • ファイル番号・フォルダー番号について(P.98、119)
設定リセット 撮影メニューとセットアップメニューの設定をお買い上げ時の設定に戻す。	**撮影設定** **はい**(撮影メニューの設定をリセットする) ／**いいえ** **セットアップ設定** **はい**(セットアップメニューの設定をリセットする) ／**いいえ** • 撮影設定をリセットすると、「個人認証」で登録したデータもリセットされます。 • セットアップ設定をリセットした場合､以下もリセットされます。シーンモードの「赤ちゃん」と「ペット」の月齢/年齢と名前、「トラベル日付」、「ワールドタイム」、「ズーム位置メモリー」、再生メニューの「お気に入り」（「OFF」になる）、「回転表示」（「ON」になる） • フォルダー番号、時計設定はリセットされません。 • レンズ機能のリセットにより、動作音がすることがありますが、異常ではありません。
USBモード USB接続ケーブルでパソコンやプリンターに接続するときの通信方法を選ぶ。	**接続時に選択**：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、毎回[PC]または[PictBridge(PTP)]を選ぶ **PictBridge（PTP）**：PictBridge対応プリンターに接続するときに選ぶ **PC**：パソコンに接続するときに選ぶ

メニュー項目	設定内容・お知らせ
TV画面タイプ 接続するテレビの横縦比を選ぶ。(再生時のみ)	16:9 ／ 4:3 • 16:9に設定したとき、液晶モニターでは縦長に表示されます。(AVケーブル接続時に働きます。)
HDMI出力解像度 ハイビジョンテレビにHDMIミニケーブル(別売)で接続したときの出力解像度を設定する。(P.104)	AUTO：接続したテレビからの情報を元に、自動的に出力解像度を決定します。 1080i：有効走査線数1080本のインターレース方式で出力します。 720p：有効走査線数720本のプログレッシブ方式で出力します。 480p：有効走査線数480本のプログレッシブ方式で出力します。 **インターレース方式/プログレッシブ方式について** 1/60秒ごとに有効走査線を半分に分けて交互に流すi=インターレース(飛び越し走査)に対し、1/60秒ごとに有効走査線を同時に流す高密度な映像信号をp=プログレッシブ(順次走査)といいます。 本機のHDMI端子はハイビジョン映像出力「1080i」に対応しています。プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむにはそれぞれ対応テレビが必要です。 • 「1080i」に設定していても、動画を再生するときは720pで出力されます。 • 「AUTO」に設定していて映像がテレビに出ないときは、「1080i」、「720p」または「480p」に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。(テレビの説明書もお読みください) • HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。 • 詳しくは、104ページをお読みください。

準備

セットアップメニューの設定方法は、18ページへ

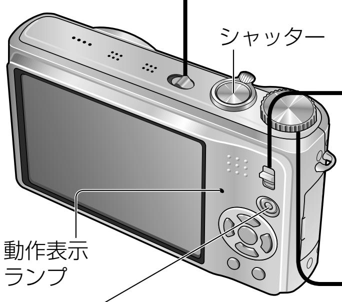
メニュー項目	設定内容・お知らせ
VIERA Link ビエラリンク 本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラのリモコンで操作できるように設定します。(P.105)	OFF：本機のボタンでの操作になります。 ON：ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。(すべての操作はできません)本機のボタンでの操作は制限されます。 • HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。
Ver. バージョン表示 本体のファームウェアのバージョンを確認する。	現在のバージョンが表示されます 
フォーマット 「内蔵メモリーエラー」または「メモリーカードエラー」が表示されたときや、内蔵メモリーまたはカードを初期化するときに行う。 **フォーマットすると、データを元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。**	**はい**：フォーマットする **いいえ**：フォーマットしない • 十分に充電したバッテリー (P.13)またはACアダプター(別売：DMW-AC5)が必要です。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。(カード挿入状態では、カードのみ、カードがない場合は、内蔵メモリーのみフォーマットされます) • フォーマットは、必ず本機で行ってください。 • **プロテクト(P.93)された画像も含め、すべてのデータが消去されます。** • フォーマット中は、電源を切ったり、他の操作をしないでください。 • 内蔵メモリーのフォーマットには時間がかかることがあります。 • フォーマットできないときは、販売店にご相談ください。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
DEMO デモモード 機能のデモを見る。	**手ブレ・動き検出デモ：**(撮影時のみ) 手ブレ、被写体の動きをグラフで表示する(目安) 大 ← 小 → 大  手ブレ  動き検出 • 撮影／再生切換スイッチが[▶]のときは、[●]に切り換えを促すガイダンスが表示されます。 • 終了するとき→[DISPLAY](P.12)を押す • デモ画面表示中は、撮影やズームはできません。 • 動き検出デモは、濃淡のある被写体のほうがより効果が得られます。
	自動デモ：本機の特長をスライドショーで見る OFF ／ ON • 終了するとき→[MENU/SET]を押す • カードが入っていないときに、ACアダプター(別売：DMW-AC5)接続中に電源ONで約2分間、何も操作しなかった場合は、自動デモが開始されます。
	個人認証デモ：店頭での専用被写体を使ったデモ用の機能です。

準備

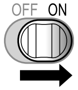
撮影の流れ

撮影の前に時計設定を確認してください。(P.17)



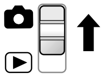
• 動画ボタンを押すと、すぐに動画を撮影できます。

1 電源を入れる



(動作表示ランプが約 1 秒間点灯)

2 (撮影)にする

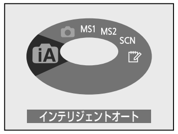


: 静止画や動画を撮影できます。

: 撮影した静止画や動画を再生できます。

3 お好みの撮影モードに合わせる





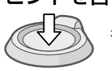
4 カメラを構えて撮影する

静止画を撮る場合	動画を撮る場合

静止画を撮る場合

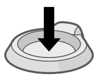
シャッターボタンを押す

① **シャッターを軽く押してピントを合わせる**



半押し

② **シャッターを押し込んで撮影する**

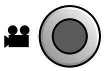


全押し

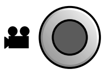
動画を撮る場合

動画ボタンを押す

① **動画ボタンを押して撮影を開始する**

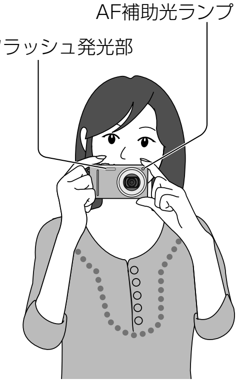


② **撮影を終了するときに、もう一度動画ボタンを押す**



• (メモモード)では動画撮影はできません。(P.58)

カメラの構えかた/縦位置検出機能

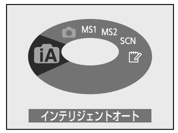


• 手ブレが気になるときは、両手で持ち、脇を締めて、肩幅くらいに足を開く。
• レンズを触らない。
• 音声録音(動画/音声付き静止画)の際、ステレオマイク(STEREO MIC)(P.12)を指でふさがない。
• フラッシュ発光部、AF補助光ランプをふさがない、近くで見ない。
• カメラを縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができます。(「回転表示」(P.90)を「ON」に設定している場合のみ)
ただし、本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、画像を縦向きに表示できない場合があります。また、動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

モードダイヤル

使うモードに確実に合わせる





モードダイヤルを回すと、現在のモードが液晶モニターに表示されます。

iA	インテリジェントオートモード	カメラにおまかせで撮る。(P.30)
	通常撮影モード	お好みの設定で撮る。(P.33)
MS1 MS2	マイシーンモード	よく使うシーンモードで撮る(P.57)
SCN	シーンモード	場面に合わせて撮る(P.48)
	メモモード	メモとして撮る。(P.77)

基本

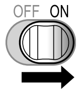
おまかせで撮る「インテリジェントオートモード」

モード：iA

カメラを被写体に向けると、「顔」「動き」「明るさ」「距離」などの情報から自動で最適な設定になるので、カメラまかせできれいに撮影できます。

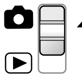


1 電源を入れる

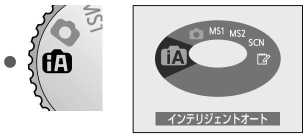


（動作表示ランプが約 1 秒間点灯）

2 （撮影）にする



3 iA（インテリジェントオートモード）に合わせる



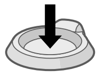
4 撮影する



半押し（軽く押してピント合わせ）



判別した各シーンのアイコンを2 秒間青色で表示



全押し（さらに押し込んで撮影）

自動シーン判別

カメラを被写体に向けると自動でシーンを判別し、最適な設定に自動調整します。
• 追尾AF時（P.32）は、AFロックした被写体に最適なシーンを判別します。

人物を認識「i人物」
顔を追いかけて、明るくきれいに撮影。

風景を認識「i風景」
近くから遠くまでシャープに撮影。

接写を認識「iマクロ」
距離を判別して、近くの被写体をくっきり撮影。

夜景と人物を認識「i夜景＆人物」
人も夜景も明るく、見たままに撮影。
（⚡A 設定時）

夜景を認識「i夜景」
スローシャッターで自然な色合いに撮影。
（⊛ 設定時）

赤ちゃんを認識「i赤ちゃん」
➡（P.32）

iA 動きを認識
どのシーンにも当てはまらないとき、被写体の動きをとらえ、ブレをおさえて撮影。

■**動画を撮るとき** ➡（P.58）

■**逆光補正について**

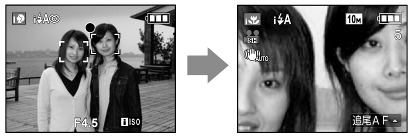
逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより自動で逆光を補正します。

■**フラッシュを使うとき**



⚡A（オート）または ⊛（発光禁止）を選ぶ
• ⚡A のとき、i⚡A と i⚡A◎（赤目軽減オート）と i⚡S◎（赤目軽減スローシンクロ）が被写体の種類や明るさに応じて自動で切り換わります。（詳しくはP.40へ）
• i⚡A◎ と i⚡S◎ は、デジタル赤目補正が働き、2回発光します。

● ピントの合う範囲→（P.44）
● 自動シーン判別のほか、インテリジェントISO感度 ISO MAX 1600、暗部補正、逆光補正などが自動で働きます。
● インテリジェントオートモードでは、次のメニュー項目が設定できます。
　• iA（撮影メニュー）：「記録画素数※1」「連写」「カラーモード※1」「個人認証」
　•（動画メニュー）：「撮影モード」「画質設定※1」「カラーモード※1」
　•（セットアップメニュー※2）：「時計設定」「ワールドタイム」「操作音※1」
　※1 他の撮影モードと設定できる内容は異なります。
　※2 セットアップメニューのその他の項目は、通常撮影モードなどで設定した内容が反映されます。
● 次のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。
　顔の明暗/被写体の状態(大きさ、距離、濃淡、動き)/ズーム倍率/夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレ発生時



例）顔が大きすぎて「i人物」が「iマクロ」になる

● 意図したシーンにならないときは、目的にあった撮影モード（シーンモード：P.48）で撮影することをおすすめします。
●「i夜景」「i夜景＆人物」になったときは、三脚やセルフタイマーをおすすめします。
●「i夜景」で三脚使用時などブレが少ないときは、シャッタースピードが最大8 秒になります。カメラを動かさないでください。
● 次の機能は固定されます。
　• オートレビュー：2 秒 • パワーセーブ：5 分 • ガイドライン表示：田
　• ホワイトバランス：AWB • クオリティ：（ファイン）• 手ブレ補正：AUTO
　• オートフォーカスモード：（顔認識）※1 • AF 補助光：ON
　• 測光モード：（マルチ測光）• プリAF：Q-AF
　※1 顔が認識できないときは （11点）
● 次の機能は使えません。
　「ヒストグラム表示」「露出補正」「オートブラケット」「マルチアスペクト」
　「ホワイトバランス微調整」「デジタルズーム」「下限シャッター速度」「音声記録」

おまかせで撮る（つづき）

モード：iA

顔認識と個人認証

カメラが自動シーン判別を行い、被写体に人物が写っていると判断した場合(i人物 または i夜景&人物)は、顔認識が働き、認識した顔にピントや露出を合わせます。(P.69)

■個人認証について

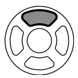
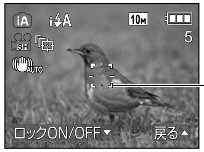
よく撮る人の顔を名前や誕生日などの情報とともに登録することができます。
「個人認証」(P.61)を「ON」に設定して撮影すると、登録した顔に近い顔を見つけて優先的にピントや露出を合わせます。また、顔認識時にカメラが人の顔を記憶し、撮影回数の多い顔を自動的に検出して顔登録画面を表示することもできます。

- ●個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。
- ●顔の特徴が似ている親子・兄弟姉妹などは正しく認証されない場合があります。
- ●個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔認識よりも時間がかかります。
- ●被写体が登録されている乳幼児(誕生日設定済みで3歳未満)の場合は、(i赤ちゃん)が表示され、肌を健康的に撮影します。

追尾AF

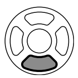
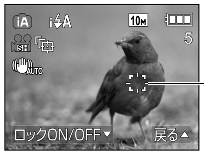
AFロックした被写体が動いていても自動的にピントを合わせ続けることができます。

1 オートフォーカスモードを追尾AFにする

• 追尾AFを解除するとき→再度▲を押す

2 被写体を追尾AF枠に合わせ、ロックする

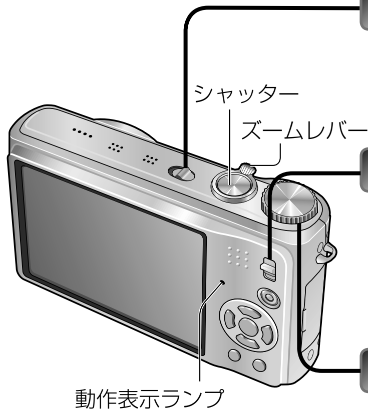
• AFロックを解除するとき→▼を押す
• AFロックした被写体に最適なシーンを判別します。

- ●追尾AF時、個人認証は働きません。
- ●AFロックしにくい被写体などについては、70ページをお読みください。

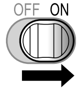
お好みの設定で撮る「通常撮影モード」

モード：[カメラ]

撮影メニュー(P.65)など、各種設定を変えて、お好みの設定で撮影できます。

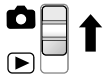


1 電源を入れる

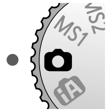
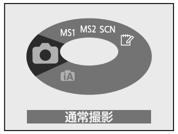


(動作表示ランプが約 1 秒間点灯)

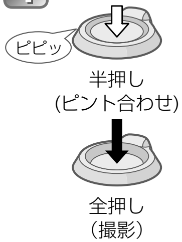
2 [カメラ](撮影)にする

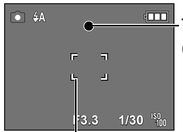


3 [カメラ](通常撮影モード)にする

4 撮影する





■動画を撮るとき
➡(P.58)

■ズームを使うとき
➡(P.35)

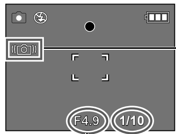
■フラッシュを使うとき
➡(P.40)

■画像の明るさを調整したいとき
露出補正 ➡(P.46)

■近づいて撮りたいとき
マクロ撮影 ➡(P.42)

■色合いを調整したいとき
ホワイトバランス ➡(P.68)

- ●手ブレ警告表示が表示されたときは、手ブレ補正(P.73)、三脚、セルフタイマー(P.45)などを使用してください。
- ●絞り値やシャッタースピードが赤色で表示されているときは、適正露出になっていません。フラッシュを使うか、「ISO感度」(P.67)の設定を変えてください。



お好みの設定で撮る「通常撮影モード」（つづき）

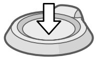
モード：[カメラ]

お好みの場所にピントを合わせる

撮りたいものが中央にないときなどに便利です。

1 被写体にピントを合わせる

AFエリアを
被写体に合わせ



半押しのまま

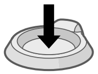


AFエリア

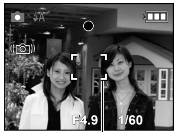
●次の被写体や撮影環境では、ピントが合いにくいことがあります。
- 動きの速い被写体
- 非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くで撮るとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるとき
- 遠くと近くを同時に撮るとき

●人物を撮るときは、「顔認識」機能をおすすめします。(P.69)

2 撮りたい構図に戻し、撮影する



全押し



AFエリア

●ピントが合わないときは、フォーカス表示が点滅し、「ピピピピッ」と音がします。
ピントの合う範囲(P.44)が赤色で表示されますので、参考にしてください。
なお、範囲外ではフォーカス表示が点灯しても、ピントが合っていないことがあります。

●AFエリアは、デジタルズーム時や暗いときは、大きく表示されます。

●[シャッター]を半押しすると、一時的に一部の表示以外は画面から消えます。



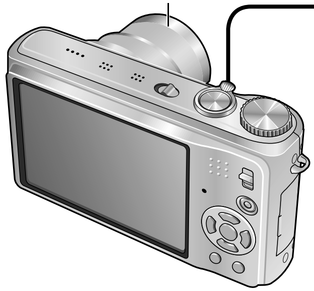
ピントが合う範囲

ズームで撮る

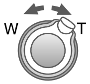
モード：[iA] [カメラ] MS1 MS2 SCN [クリップ]

「光学ズーム」では12倍、記録画素数を下げると「EX光学ズーム」が働き、最大21.4 倍までズームできます。さらにズームしたいときは「デジタルズーム」が使えます。

レンズ鏡筒に触れない

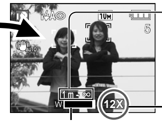


1 ズームする



W側（広角）：1 倍　T側（望遠）：～ 12 倍





●ズームの早さを変えることができます。
ゆっくりズームする→少し回す
速くズームする→いっぱいに回す

●ピント（シャッターボタン半押し）は、ズームした後に合わせてください。

光学ズームとEX光学ズーム

記録画素数(P.65)が最大のときは「光学ズーム」、それ以外のときは、よりズーム可能な「EX光学ズーム」に自動で切り換わります。(EZは、extended optical zoomの略で、EX光学ズームを表します。)

- 光学ズーム
  W[■■■■]T－ズームバー
  最大ズーム倍率：12 倍
- EX光学ズーム
  EZ W[■■■■]T　(EZ を表示)
  最大ズーム倍率：14.3 倍 ～ 21.4 倍
  （記録画素数により異なる）



●記録画素数別の最大ズーム倍率

		光学ズーム	EX光学ズーム				
記録画素数	4:3	10 M	7 M EZ	5 M EZ	3 M EZ	2 M EZ	0.3 M EZ
	3:2	9.5 M	6.5 M EZ	4.5 M EZ	3 M EZ	2.5 M EZ	
	16:9	9 M	6 M EZ	4.5 M EZ	2.5 M EZ	2 M EZ	
最大ズーム倍率		12 倍	14.3 倍	17.1 倍	21.4 倍		

●EX光学ズームのしくみ
記録画素数を「3 M EZ」（300 万画素相当）に設定すると、CCD の持つ10 M（1010 万画素相当）の領域のうち、3 M分の中央部を切り取って撮影するので、より高い倍率で撮影できます。

●倍率、画面のバー表示は目安です。

●撮影モードによっては、最大ズーム倍率になると、「テレマクロ」機能(P.42)が働きます。

基本

ズームで撮る（つづき）

モード：iA 📷 MS1 MS2 SCN 📝

「🔲 デジタルズーム」さらに拡大して撮る

光学ズーム/EX光学ズームの4 倍（最大倍率48 倍～ 85.5 倍）までズームできます。
（ただし、デジタルズームでは、ズームするほど画質は粗くなります）

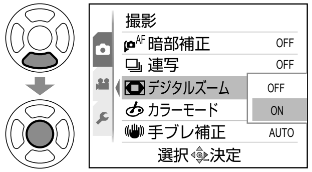
1 「撮影メニュー」を表示する



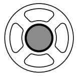
2 「デジタルズーム」を選ぶ



3 「ON」を選び、決定する



4 メニューを終了する



画面のズームバーに、デジタルズーム領域が表示されます。

• 48 倍のとき



デジタルズーム領域

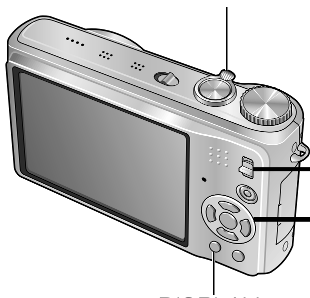
• デジタルズーム領域に入るとき、ズームの動きが一瞬止まります。
• デジタルズーム領域で[シャッター]を半押しすると、AFエリアが大きくなります。
• 三脚とセルフタイマー (P.45)をおすすめします。

●近くの被写体を広角で撮るほど画像がゆがんだり、望遠にするほど被写体の輪郭などに着色して撮影されることがあります。
●ズームレバーを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。
●EX光学ズーム時、W端（1 倍）付近でズームの動きが一瞬止まりますが、故障ではありません。
●次のとき、EX光学ズームは働きません。
ズームマクロ、動画撮影、シーンモードの「変身」「高感度」「高速連写」「フラッシュ連写」「ピンホール」「サンドブラスト」
●次のとき、デジタルズームは働きません。
iA（インテリジェントオートモード）、📝（メモモード）、シーンモードの「変身」「スポーツ」「赤ちゃん」「ペット」「高感度」「高速連写」「フラッシュ連写」「ピンホール」「サンドブラスト」、および「インテリジェントISO」が「OFF」以外のとき
●電源を切っても、ズーム倍率を記憶させておくには、「ズーム位置メモリー」(P.24)が便利です。

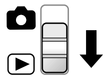
画像を見る（通常再生）

撮影/再生切換スイッチ：▶

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を再生します。（メモ画像は、メモモードでのみ再生できます→P.77）



1 ▶（再生）にする

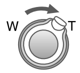


2 画像を見る



●長押しすると早送り／早戻しできます。
（押している間はファイル番号だけが変わり、放すと画像を表示します）
また、押し続けるとより早く送れます。
（再生の状況により、送る早さが変わります）
●画像番号が表示されていないときは、[DISPLAY]を押してください。
●最後の画像の次は、最初に戻ります。
●パソコンで編集した画像は、本機で再生できない場合があります。
●電源を入れた状態で撮影/再生切換スイッチを 📷 から ▶ に切り換えると約15 秒後にレンズ鏡筒が格納されます。
●本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。
DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。

■拡大するとき「再生ズーム」



T側に回す



現在のズーム位置
（1 秒間表示）

• T側に回すごとに1/2/4/8/16 倍の4 段階にズームします。（表示画質は粗くなる）
• 倍率を戻すとき→W側に回す
• ズーム位置を変えるとき
→▲▼◀▶で移動する

■一覧で見るとき
（マルチ再生/カレンダー再生）
➡(P.79)

■いろいろな再生方法で見るとき
（スライドショーなど）
➡(P.81)

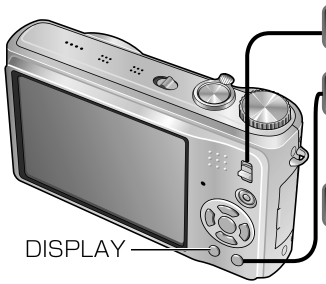
■動画を再生するとき
➡(P.80)

基本

画像を消す（消去）

撮影/再生切換スイッチ：[▶]

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を消去します。（一度消した画像は元に戻せません）



1 [▶]（再生）にする

2 消去する画像を表示中に押す

Q.MENU

3 「はい」を選び、決定する



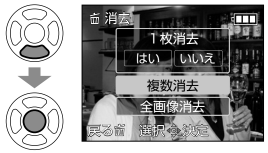
• 消去中は、電源を切らないでください。

●十分に充電したバッテリーか、ACアダプター（別売：DMW-AC5）をご使用ください。

複数（50 枚まで）/全画像を消去する

（手順 2 の後に）

3 「複数消去」/「全画像消去」を選び、決定する



• 「全画像消去」するとき →手順 6 へ

4 画像を選び、決定する（くり返す）



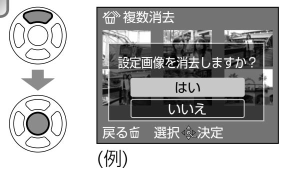
選んだ画像

• 解除するとき →再度[DISPLAY]を押す

5 実行する



6 「はい」を選び、決定する



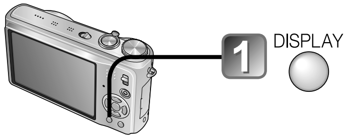
（例）

• 中止するとき→[MENU/SET]を押す
• 消去枚数により、時間がかかることがあります。
• 「全画像消去」のとき「お気に入り」画像があり「ON」にしていると、「★（お気に入り）以外全消去」が選べます。（P.91）

●プロテクトした画像は消去されません。また、次の場合も消去されません。
• カードのスイッチが「LOCK」になっている　• DCF規格（P.37）以外の画像
●動画も消去できます。
●メモ画像を消去するときは、モードダイヤルを [メモ] に合わせてください。
●フォーマット（P.26）すると、プロテクトされた画像も含め、すべてのデータを消去できます。

撮影情報などの表示を切り換える

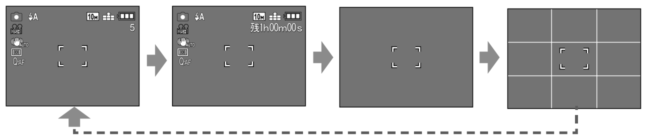
ヒストグラムやガイドライン、撮影情報などの液晶モニターの表示を切り換えられます。



1 押して表示を切り換える

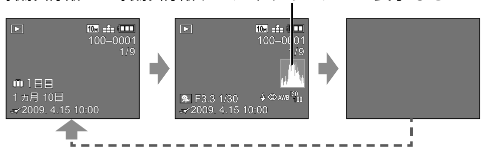
●撮影時

撮影情報※1　動画撮影情報※1・2　表示なし　ガイドライン表示※1・3



●再生時

撮影情報　撮影情報やヒストグラム※1　表示なし

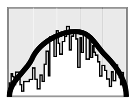


※1 「ヒストグラム表示」を「ON」にするとヒストグラムが表示されます。（P.22）
※2 [シャッター]半押しで撮影情報表示に戻ります。
※3 「ガイドライン表示」でガイドラインのパターンと撮影情報の表示/非表示を選択できます。（P.22）
• [iA] のとき、撮影情報とガイドラインを同時に表示することはできません。

■ヒストグラム

画像の明るさの分布を示しており、例えば山が右側にあれば画像に明るい部分が多いことを示します。（目安）山が中央にあるときが適正な明るさ（適正露出）です。露出補正（P.46）などの参考にします。

（例）

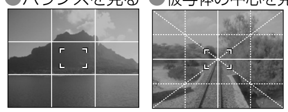


• フラッシュ発光時や暗いところで撮影する場合は、再生時とヒストグラムが一致しないためオレンジ色で表示されます。また、画像編集ソフトなどのヒストグラムと一致しないことがあります。
• [iA]（インテリジェントオートモード）、[メモ]（メモモード）、「マルチアスペクト」、再生ズーム中は表示されません。
• 動画撮影中は表示されません。

■ガイドライン

• 撮影時、バランスなど構図の参考にします。
• インテリジェントオートモードとメモモードは、[田] のみ表示されます。
• 「マルチアスペクト」中は表示されません。

●バランスを見る ●被写体の中心を見る



●再生ズーム中、動画再生中、スライドショー再生中は、表示/非表示の切り換えのみになります。
●メニュー表示中、マルチ再生中やカレンダー再生中は、表示を切り換えられません。

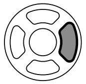
フラッシュで撮る

モード：[iA] [カメラ] MS1 MS2 SCN [クリップボード]



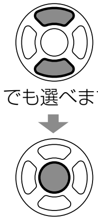
●フラッシュを使って乳幼児を撮影するときは、1 m以上離れてください。

1 「フラッシュ」を表示する



▶を押す

2 種類を選び、決定する



（▶でも選べます）



（約 5 秒間表示、通常撮影モード（[カメラ]）の例）

種類と動作		こんなときに
⚡A	オート • 発光する／しないを自動で判断	通常使用
⚡A◎	赤目軽減オート※1 • 発光する（赤目をおさえる）／しないを自動で判断	暗い場所で人物を撮る
⚡	強制発光 • 必ず発光する	逆光または蛍光灯など照明の下で撮る
⚡◎	赤目軽減強制発光※1 （シーンモードの「パーティー」「キャンドル」のみ（P.51）） • 必ず発光する（赤目をおさえる）	逆光または蛍光灯など照明の下で撮る
⚡S◎	赤目軽減スローシンクロ※1 • 発光する（赤目をおさえ、シャッタースピードを遅くして明るく撮る）／しないを自動で判断	夜景を背景に人物を撮る（三脚をおすすめします）
🚫	発光禁止 • 発光しない	フラッシュ禁止の場所

※1 **発光時はデジタル赤目補正機能**が働き、自動的に赤目を検出して画像を補正します。フラッシュが2 回光るため、2 回光るまで動かないでください。（補正効果は個人差があります）光る間隔は被写体の明るさにより異なります。

●シャッタースピードは次のようになります。
- ⚡A、⚡A◎、⚡、⚡◎：1/30※2 ～ 1/2000 秒
- ⚡S◎、🚫：1/8※2・3 ～ 1/2000 秒

※2 「下限シャッター速度」の設定によって異なる。

※3 「インテリジェントISO」設定時は最大1/4 秒、「手ブレ補正」を「OFF」にしたときやブレが少ないときは最大1 秒。その他、「インテリジェントオートモード」と「シーンモード」のシーン、ズーム位置などによって異なる。

■撮影モード別の使えるフラッシュの種類（[ ]：お買い上げ時の設定）

	[カメラ]	[iA]	[クリップボード]	シーンモード																			
				[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]
⚡A	○	○※	○	○	○	○	○	[○]	×	○	×	×	○	○	○	×	×	[○]	[○]	[○]	○
⚡A◎	○	×	×	[○]	[○]	[○]	[○]	×	×	×	×	×	[○]	×	×	×	×	×	×	×	×
⚡	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	[○]	[○]	○	○	○	○
⚡◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
⚡S◎	○	×	×	×	×	×	×	×	[○]	×	[○]	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
🚫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[○]	○	[○]	○	[○]	[○]	×	○	○	○	[○]

※ 被写体や明るさに応じて、i⚡A（オート）、i⚡A◎（赤目軽減オート）、i⚡S◎（赤目軽減スローシンクロ）になります。

• 動画の撮影や、シーンモードの [アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン] では、フラッシュは使えません。

■ISO感度とズームによるフラッシュ撮影可能範囲

		撮影可能範囲	
		ズームW端	ズームT端
ISO感度（P.67）	AUTO	約 0.6 ～ 5.3 m	約 1.0 ～ 3.6 m
	ISO80	約 0.6 ～ 1.5 m	約 1.0 m
	ISO100	約 0.6 ～ 1.6 m	約 1.0 ～ 1.1 m
	ISO200	約 0.6 ～ 2.3 m	約 1.0 ～ 1.6 m
	ISO400	約 0.6 ～ 3.3 m	約 1.0 ～ 2.2 m
	ISO800	約 0.8 ～ 4.7 m	約 1.0 ～ 3.2 m
	ISO1600	約 1.15 ～ 6.7 m	約 1.0 ～ 4.5 m
インテリジェントISO（P.66）	ISOMAX400	約 0.6 ～ 3.3 m	約 1.0 ～ 2.2 m
	ISOMAX800	約 0.8 ～ 4.7 m	約 1.0 ～ 3.2 m
	ISOMAX1600	約 1.15 ～ 6.7 m	約 1.0 ～ 4.5 m
シーンモードの高感度（P.53）	ISO1600 ～ ISO6400	約 1.15 ～ 13.5 m	約 1.0 ～ 9.1 m
シーンモードのフラッシュ連写（P.54）	ISO100 ～ ISO3200	約 0.6 ～ 3.4 m	約 1.0 ～ 2.3 m

●フラッシュ発光部（P.12）を手でふさいだり、近く（数cm）で見たりしないでください。また、ものを近づけないでください。（熱や光で変形することがあります）

●撮影モードを変えるとフラッシュ設定が変わることがあります。

●シーンモードを変えると、フラッシュ設定はお買い上げ時の設定に戻ります。

●ズームを使わずに、至近距離（W端付近）でフラッシュを使って撮影すると、画像の端が暗くなることがあります。少しズームすると改善することがあります。

●フラッシュ発光時は、［シャッター］を半押しすると ⚡A（オート）などのマークが赤になります。

●⚡A（オート）などのマークが点滅中はフラッシュ充電中のため、撮影できません。

●光が十分に届かないときは、適切な露出やホワイトバランスにならない場合があります。

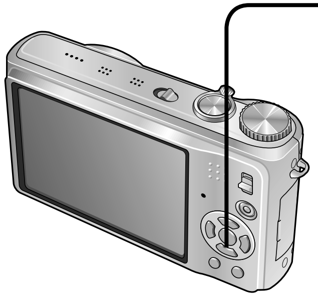
●シャッタースピードが速い場合、効果が十分得られないことがあります。

●バッテリー残量が少ないときや、連続して発光させたときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。

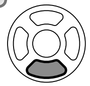
近づいて撮る

モード：📷

被写体を大きく撮影したいとき、「AFマクロ(AF🌷)」にすると、通常ピントが合う距離よりも近づいて(W端なら3 cmまで)撮影できます。

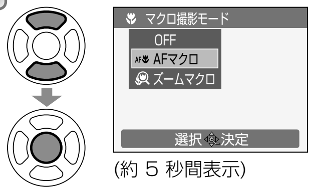


1 「マクロ撮影モード」を表示する



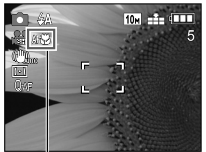
▼を押す

2 「AFマクロ」を選び、決定する



(約 5 秒間表示)

3 撮影する



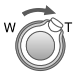
AF🌷 を表示

- 50 cm以上離れた被写体のときは、ピントが合うのに多少時間がかかります。
- iA(インテリジェントオートモード)を使うと、自動でマクロ撮影を判別できるので便利です。(i🌷 表示時)
- オートフォーカスモードが追尾AFの場合は、自動的にAFマクロが設定されます。(AF🌷は表示されません)

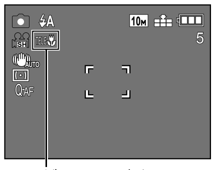
「TELE🌷 テレマクロ」被写体に近づかずにアップで撮る

近づくと逃げる鳥などを少し離れて大きく撮りたいときや、背景をぼかして被写体を際立たせたいときなどに便利です。

「AFマクロ」設定中は、光学ズームまたはEX光学ズームをT端付近(光学ズームの場合、10 倍以上)にすると自動的に「テレマクロ」が働き、被写体に1 mまで近づいてもピントが合います。



T端
付近まで
回す

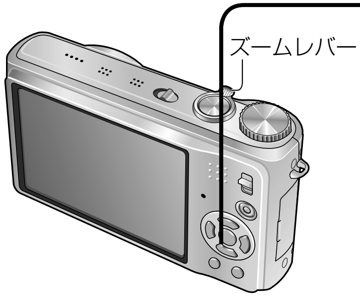


AF🌷 が TELE🌷 に変わる

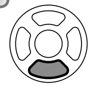
- デジタルズームでも働きます。
- 次のシーンモードで撮影しているときも働きます。
「料理」「キャンドル」「赤ちゃん」「高感度」「水中」
「ペット」「高速連写」「フラッシュ連写」
「ピンホール」「サンドブラスト」

「🔍 ズームマクロ」もっとアップで撮る

被写体をさらに大きく撮影したいときは、「ズームマクロ」にすると「AFマクロ」撮影よりも大きく写し出すことができます。

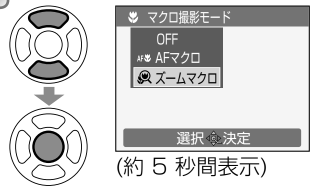


1 「マクロ撮影モード」を 表示する



▼を押す

2 「ズームマクロ」を選び、決定する

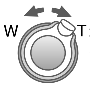


(約 5 秒間表示)

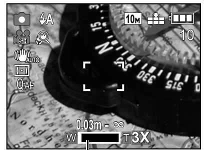
3 ズームレバーでデジタルズームの倍率を調節する

ズーム位置はW端固定となります。
ピントの合う距離は、3 cm 〜 ∞ です。

戻す



拡大する



デジタルズーム倍率(1倍〜 3倍)

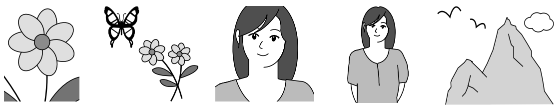
4 撮影する

- ズームマクロでは、倍率を上げるほど画質は粗くなります。
- ズームマクロを設定すると、EX光学ズームは解除されます。
- 「マルチアスペクト」で撮影しているときは、ズームマクロを設定できません。
- 三脚やセルフタイマー (P.45)の使用、フラッシュ発光禁止 ⚡ での撮影をおすすめします。(P.40)
- 被写体が近い場合、ピントを合わせた後にカメラを動かすと、ピントが合いにくくなります。
- 画像周辺の解像度が少し下がることがあります。

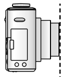
カメラと被写体を
ピントの合う距離にする

■ (通常撮影モード)における撮影可能範囲

ピントの合う範囲(撮影可能範囲)



レンズ前からの撮影距離　3 cm　50 cm　1 m　2 m　∞



ズーム倍率※1	AF🌷(AFマクロ)を設定しているときの撮影範囲※2	AF🌷(AFマクロ)を設定していないときの撮影範囲※3
1 X (W 端)	AF🌷 3 cm ～ ∞	50 cm ～ ∞
2 X	AF🌷 20 cm ～ ∞	50 cm ～ ∞
3 X	AF🌷 50 cm ～ ∞	50 cm ～ ∞
4 X	AF🌷 1 m ～ ∞	1 m ～ ∞
5 X ～ 8 X	AF🌷 2 m ～ ∞	2 m ～ ∞
9 X	AF🌷 1.5 m ～ ∞	2 m ～ ∞
10 X ～ 12 X (T 端)	TELE🌷 1 m ～ ∞	2 m ～ ∞

被写体に近づきすぎると、ピントが合いません

：AF🌷(AFマクロ)を設定しているときの撮影範囲※2
：AF🌷(AFマクロ)を設定していないときの撮影範囲※3

※1 ズーム倍率によって、ピントの合う範囲は変化します。
※2 次の場合の撮影可能範囲も同じです。
- iA (インテリジェントオートモード) • (メモモード)
- シーンモードの「料理」「キャンドル」「赤ちゃん」「高感度」「水中」「ペット」「高速連写」「ピンホール」「サンドブラスト」

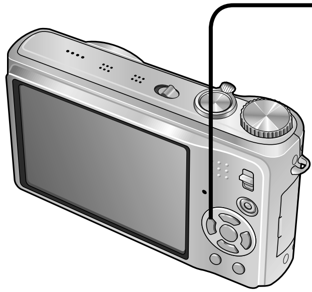
※3 次の場合の撮影可能範囲も同じです。
- シーンモードの「人物」「美肌」「変身」「パノラマアシスト」「スポーツ」「パーティー」「夕焼け」「星空」「ビーチ」「雪」

●ズーム倍率は目安です。
●上記以外のシーンモードは、シーンによってピントの合う範囲が異なります。
●EX光学ズームが働いているときは、上図のズーム倍率の値が変わります。
●W端：ズームレバーをW側いっぱいにした状態(ズームを使わない)
T端：ズームレバーをT側いっぱいにした状態(ズーム倍率が最大)

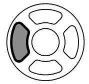
セルフタイマーで撮る

モード：iA MS1 MS2 SCN

三脚の使用をおすすめします。セルフタイマーを2 秒に設定すると、[シャッター]を押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

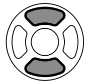


1 「セルフタイマー」を表示する

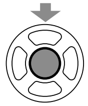


◀を押す

2 時間を選び、決定する



(◀でも選べます)





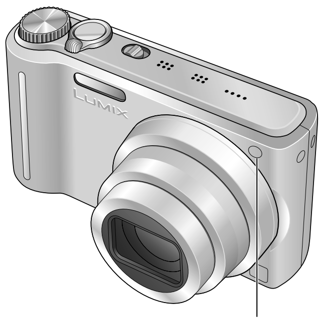
(約 5 秒間表示)

3 撮影する

[シャッター]を全押しすると、設定時間後に撮影します。



- カウントダウン中に中止するとき→[MENU/SET]を押す



セルフタイマーランプ(設定時間、点滅)

●連写設定時は3枚、シーンモードの「フラッシュ連写」時は5枚撮影されます。
●[シャッター]を一度に全押ししても、撮影直前にカメラが自動的にピントを合わせます。
●セルフタイマーランプは点滅後、AF補助光として点灯することがあります。
●シーンモードの「水中」「高速連写」では使用できません。
●(メモモード)とシーンモードの「自分撮り」では「10 秒」は選べません。また、iA (インテリジェントオートモード)では「2 秒」は選べません。

露出を補正して撮る

モード：📷 MS1 MS2 SCN 🎬※　　※「露出補正」のみ可

逆光時や、暗すぎる/明るすぎる場合に露出を補正します。
（明るさによっては、補正できない場合があります）

「露出補正」明るさを調整する

1 「露出補正」を表示する

▲を押す

2 値を選び、決定する

補正しないとき：「0」



● 例



明るすぎる

「−」方向へ補正



適度な明るさ

「＋」方向へ補正



暗すぎる

「オートブラケット」露出を自動で変えながら3 枚連写する

上記「露出補正」後は、補正値を基準にします。

1 「オートブラケット」を表示する

▲を2 回押して、「露出補正」を「オートブラケット」に切り換える

2 補正幅を選び、決定する

オートブラケットを使わないとき：「0」



「露出補正」後は補正値を表示

● ±1 EVの例



1 枚目
0 EV
（基準）



2 枚目
−1 EV
（暗く）



3 枚目
+1 EV
（明るく）

- 露出補正後は、画面左下に補正値（+1/3 など）が表示されます。また、オートブラケット設定後は、画面左側に が表示されます。
- シーンモードの「星空」では、露出補正ができません。
- オートブラケットではフラッシュは使えません。
- オートブラケットは、記録可能枚数が2 枚以下のときは働きません。また、電源を切ると解除されます。
- オートブラケットを設定すると、「マルチアスペクト」「連写」は解除されます。
- シーンモードの「変身」「パノラマアシスト」「高速連写」「フラッシュ連写」「星空」「ピンホール」「サンドブラスト」では、オートブラケットは設定できません。

横縦比を自動的に変えて撮る「マルチアスペクト」

モード：📷 MS1 MS2 SCN

1回シャッターボタンを押すと、横縦比4：3、3：2、16：9の画像を自動的に3枚撮影します。（シャッター音は1回しか鳴りません。）

1 「オートブラケット」を表示する

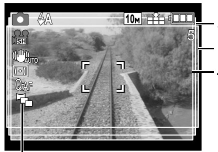
▲を2 回押して、「露出補正」を「オートブラケット」に切り換える

2 「マルチアスペクト」を表示する

DISPLAY

[DISPLAY]を押すごとに、「オートブラケット」と「マルチアスペクト」が交互に表示される

3 「ON」を選び、決定する



■画像サイズの組み合わせ

4:3	3:2	16:9
10M	9.5M	9M
7M	6.5M	6M
5M	4.5M	4.5M
3M※	3M※	2.5M※

（例）3:2の6.5Mに設定している場合、4:3 7M、3:2 6.5M、16:9 6Mで撮影します。

※これより小さい記録画素数に設定していた場合でも、一時的にこの設定に変更されます。

応用・撮影

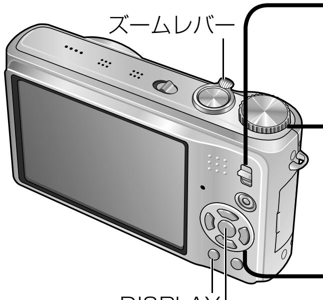
- マルチアスペクト設定後は、画面左側に が表示されます。
- シャッタースピードや絞り、ピント、および「露出補正」「ホワイトバランス」「ISO感度」の設定は、3枚とも共通です。
- マルチアスペクトは、記録可能枚数が2枚以下のときは働きません。また、電源を切ると解除されます。
- マルチアスペクトを設定すると、「オートブラケット」「連写」は解除されます。
- シーンモードの「変身」「パノラマアシスト」「高感度」「高速連写」「フラッシュ連写」「星空」「ピンホール」「サンドブラスト」では、マルチアスペクトは設定できません。

場面に合わせて撮る「シーンモード」

モード：MS1 MS2 SCN

シーンモードのフラッシュについて(P.41)

シーンモードを使うと、場面に合った最適な設定(露出や色調など)で撮影できます。



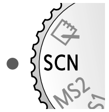
ズームレバー

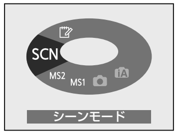
DISPLAY

MENU/SET

1 (撮影)にする

2 「SCN」(シーンモード)に合わせる

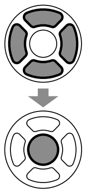




3 シーンを選び、決定する

(シーンメニューが表示されないときは、[MENU/SET]を押し、▶を押す)

●シーンメニュー





ズームレバーでも次の画面に切り換えられます。

各シーンの解説

シーンを選び、[DISPLAY]を押す

■動画を撮るとき

➡ (P.58)

■よく使うシーンをモードダイヤルに登録する

➡ マイシーンモード(P.57)

●場面に合わないシーンを選ぶと、画像の色合いが変わることがあります。

●次の撮影メニューはカメラが自動調整するため、設定できません。(また、シーンによって、設定できない項目があります)

「インテリジェントISO」「ISO感度」「測光モード」「暗部補正」「カラーモード」「下限シャッター速度」

●暗部補正は、次のシーンで状況に応じて自動的に働きます。

「人物」「美肌」「変身」「自分撮り」「風景」「スポーツ」「夜景＆人物」「パーティー」「キャンドル」「赤ちゃん」「夕焼け」「高感度」「フラッシュ連写」「ビーチ」

●ホワイトバランスは、次のシーンでのみ設定できます。(シーンを変えると「AWB」に戻ります)「人物」「美肌」「変身」「自分撮り」「パノラマアシスト」(1枚目のみ)「スポーツ」「赤ちゃん」「ペット」「高感度」「高速連写」「ピンホール」

●フラッシュは、シーンによって使える種類が異なります(P.41)。また、シーンを変えるとお買い上げ時の設定に戻ります。

●ガイドラインは、次のシーンではグレーで表示されます。

「夜景＆人物」「夜景」「星空」「花火」

シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
人物	昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に。 撮影のコツ • 被写体にできるだけ近づく。 • ズーム：できるだけ望遠(T側)で。	• オートフォーカスモードの初期設定は (顔認識)です。
美肌	明るい昼間の屋外で、肌色をなめらかに。胸から上の撮影に効果的です。 撮影のコツ • 被写体にできるだけ近づく。 • ズーム：できるだけ望遠(T側)で。	• 明るさにより、効果がわかりにくい場合があります。 • オートフォーカスモードの初期設定は (顔認識)です。
変身	被写体をスリムまたはグラマラスに。 ①▲▼で変身のレベルを選び、[MENU/SET]で決定する  • クイックメニューでも、設定の変更ができます。 ②撮影する 「変身」で撮影するときは • 個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。 • 公序良俗に反する目的や、ひぼう中傷目的で利用しないでください。 • 被写体の利益を損なうような利用はしないでください。	• 撮影時に肌をきれいに見せる処理をしています。 • 画質が少し粗くなります。 • 「記録画素数」は、現在の「画像横縦比」の設定により、以下のように固定されます。 4:3 のとき：3M 3:2 のとき：2.5M 16:9 のとき：2M • 次の機能は固定です。 クオリティ： (スタンダード) • オートフォーカスモードの初期設定は (顔認識)です。 • 「スリム強」または「グラマラス強」のときは、顔認識が働きにくくなります。 • 次の機能は設定できません。 EX光学ズーム/デジタルズーム/オートブラケット/マルチアスペクト/連写
自分撮り	自分で自分を撮る。  撮影のコツ • [シャッター]半押し→ピントが合うとセルフタイマーランプ点灯(点滅：ピントが合っていない)→全押し(撮影後は、自動的にレビューされます) • ピントが合う範囲　W端：30 cm ～ 1.2 m • ズームしない。(ズームするとピントが合いにくくなります。また、他のシーンから「自分撮り」に移ると、ズームは自動的にW端の位置に移動します。) • セルフタイマーを「2 秒」に設定する。	• 音声付きで撮るには(P.74)(録音中はセルフタイマーランプ点灯) • 次の機能は固定です。 ズーム位置メモリー：OFF セルフタイマー：OFF/2 秒 手ブレ補正：MODE2 AF補助光：OFF • オートフォーカスモードの初期設定は (顔認識)です。

場面に合わせて撮る「シーンモード」（つづき）

モード：MS1 MS2 SCN

シーンモードの選びかた（P.48）
シーンモードのフラッシュについて（P.41）

シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
風景	**広がりのある遠くの被写体をくっきりと。** 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。	• 次の機能は固定です。 フラッシュ：(発光禁止) AF補助光：OFF
パノラマアシスト	**付属のソフトウェアを使い、複数枚の静止画をつないで1枚のパノラマ写真に。** ①▲▼で撮影方向を選び、[MENU/SET]で決定する パノラマアシスト専用のガイドラインが表示されます。 ②撮影する ③「次の撮影」を選び、[MENU/SET]で決定する  • [シャッター]を半押ししても決定できます。 • 「撮り直し」を選択すると、改めて撮影できます。 ④前回の撮影画像の一部が重なるように構図を変えて撮影する  • 引き続き撮影する場合は「次の撮影」を選び、③④をくり返す。 前回撮影した画像の一部 ⑤撮影を終えたら「完了」を選び、[MENU/SET]で決定する 撮影のコツ • 撮影する位置を変えない。 • 三脚を使う。	• ピント、ズーム、露出補正、ホワイトバランス、シャッタースピード、ISO感度は、最初の1 枚目の設定に固定されます。 • 暗いとノイズが目立つことがあります。 • 撮影後、シャッターが最大 8 秒間閉じたままになることがあります。 • 次の機能は固定です。 フラッシュ：(発光禁止) ISO感度：ISO80 ～ 800 • パノラマ合成は本機ではできません。撮影した画像をCD-ROM（付属）のソフトウェア「ArcSoft Panorama Maker」を使ってパソコンでパノラマ写真に仕上げてください。 • 次の機能は設定できません。 オートブラケット/ マルチアスペクト/音声記録/連写
スポーツ	**スポーツなど、動きの速いシーンに。** 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。	• 次の機能は固定です。 インテリジェントISO： 最高ISO感度1600 • デジタルズームは設定できません。

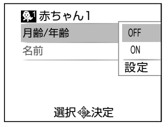
シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
夜景＆人物	**人物と夜景を、見た目に近い明るさで。** 撮影のコツ • フラッシュを使う。 • 被写体はなるべく動かない。 • 三脚、セルフタイマーを使う。 • W端（広角）にして1.5 m離れる （ピント：80 cm（W端）/1.2 m（T端）～ 5 m）	• 暗いとノイズが目立つことがあります。 • 撮影後、シャッターが最大8 秒間閉じたままになることがあります。 • 次の機能は固定です。 プリAF：OFF • オートフォーカスモードの初期設定は（顔認識）です。
夜景	**夜景を鮮やかに。** 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。 • カメラを8 秒間動かさない。 （シャッタースピード：ブレが少ないときや三脚使用時、手ブレ補正が「OFF」のときは最大 8 秒） • 三脚、セルフタイマーを使う。	• 暗いとノイズが目立つことがあります。 • 撮影後、シャッターが最大 8 秒間閉じたままになることがあります。 • 次の機能は固定です。 フラッシュ：(発光禁止) ISO感度：ISO80 ～ 800 プリAF：OFF AF補助光：OFF
料理	**周囲の光に影響されず、料理を自然な色で。** 撮影のコツ • ピントが合う範囲（マクロ撮影と同じ） W端：3 cm以上 T端以外：2 m以上（T端：1 m以上）	–
パーティー	**室内の結婚式など、人物と背景を明るく。** 撮影のコツ • 被写体から約 1.5 m離れる。 • ズーム：広角(W側) • フラッシュを使う。 • 三脚、セルフタイマーを使う。	• オートフォーカスモードの初期設定は（顔認識）です。
キャンドル	**ろうそくの明かりの雰囲気を引き立てる。** 撮影のコツ • ピントが合う範囲（マクロ撮影と同じ） W端：3 cm以上 T端以外：2 m以上（T端：1 m以上） • フラッシュを使わない。 • 三脚、セルフタイマーを使う。 （シャッタースピード：最大1 秒）	• オートフォーカスモードの初期設定は（顔認識）です。

場面に合わせて撮る「シーンモード」（つづき）

モード：MS1 MS2 SCN

シーンモードの選びかた（P.48）
シーンモードのフラッシュについて（P.41）

<table>
<tr><th>シーン</th><th>こんなときに・コツ</th><th>お知らせ</th></tr>
<tr><td>赤ちゃん</td><td>赤ちゃんの肌を健康的に。また、フラッシュ発光時は弱めの光で発光。

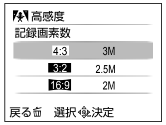
• 赤ちゃんの誕生日と名前を設定する。
（「赤ちゃん1」「赤ちゃん2」に別々に設定できます）


①▲▼で「月齢/年齢」または「名前」を選んで▶を押し、「設定」を選んで[MENU/SET]を押す。
②誕生日や名前を設定する。
誕生日：▲▼◀▶で誕生日を入力し、[MENU/SET]を押す。
名前：（文字入力方法：P.85）
③[MENU/SET]を押して終了する。

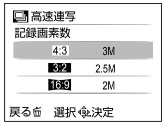
撮影のコツ
• 撮影前に、「月齢/年齢」と「名前」が「ON」になっていることを確認してください。
• リセットするとき→「セットアップメニュー」の「設定リセット」で、「セットアップ設定」を「はい」にする
• ピントが合う範囲（マクロ撮影と同じ）
W端：3 cm以上
T端以外：2 m以上（T端：1 m以上）</td><td>• このモードにしたとき、月齢/年齢と名前を約 5 秒間画面表示します。
• 「月齢/年齢」は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンで印刷設定をしたり、本機の「文字焼き込み」（P.86）で画像に焼き込むことができます。
• 生まれた日は「0ヵ月0日」になります。
• 次の機能は固定です。
インテリジェントISO：最高ISO感度1600
• オートフォーカスモードの初期設定は（顔認識）です。
• デジタルズームは設定できません。
• 「トラベル日付」の「旅行先」を設定しているときは、名前は記録されません。</td></tr>
<tr><td>ペット</td><td>月齢/年齢や名前を記録して撮る。

撮影のコツ
• 「赤ちゃん」（上記）と同じ。</td><td>• 次の機能は固定です。
インテリジェントISO：最高ISO感度1600
• 初期設定が次のようになります。
オートフォーカスモード：（追尾AF）
AF補助光：OFF
• その他のお知らせ、固定される機能は「赤ちゃん」（上記）と同じです。</td></tr>
<tr><td>夕焼け</td><td>夕焼けなどの風景の赤色を鮮やかに。</td><td>• 次の機能は固定です。
フラッシュ：（発光禁止）
AF補助光：OFF</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>シーン</th><th>こんなときに・コツ</th><th>お知らせ</th></tr>
<tr><td>高感度</td><td>薄暗い室内で被写体のブレをおさえる。

▲▼で記録画素数（画像横縦比）を選び、[MENU/SET]で決定する。


撮影のコツ
• ピントが合う範囲（マクロ撮影と同じ）
W端：3 cm以上
T端以外：2 m以上（T端：1 m以上）</td><td>• 高感度処理のため、画質が少し粗くなります。
• 次の機能は固定です。
クオリティ：（スタンダード）
ISO感度：ISO1600 ～ 6400
• 次の機能は設定できません。
EX光学ズーム/デジタルズーム/マルチアスペクト</td></tr>
<tr><td>高速連写</td><td>速い動きや瞬間を撮る。

①▲▼で「速度優先」か「画質優先」かを選び、[MENU/SET]で決定する
②▲▼で記録画素数（画像横縦比）を選び、[MENU/SET]で決定する


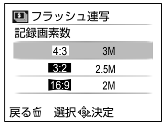
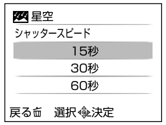
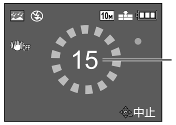
③撮影する（[シャッター]長押し）
[シャッター]を押している間、静止画を連続して撮影します。
<table><tr><td rowspan="2">最高速度※</td><td>速度優先</td><td>約10コマ/秒</td></tr><tr><td>画質優先</td><td>約6コマ/秒</td></tr><tr><td rowspan="2">連写枚数※</td><td>内蔵メモリー</td><td>約 15 枚以上</td></tr><tr><td>カード</td><td>約 15 ～ 100 枚（最大 100 枚）</td></tr></table>※ 撮影条件やカードによって異なります。

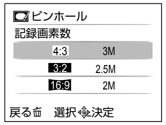
撮影のコツ
• ピントが合う範囲（マクロ撮影と同じ）
W端：3 cm以上
T端以外：2 m以上（T端：1 m以上）</td><td>• フォーマット直後は連写枚数が増える場合があります。
• 画質が少し粗くなります。
• 次の機能は固定です。
フラッシュ：（発光禁止）
クオリティ：（スタンダード）
ISO感度：
速度優先 ISO200 ～ 1600
画質優先 ISO500 ～ 800
• ピント、ズーム、露出補正、ホワイトバランス、シャッタースピード、ISO感度は、最初の1 枚目の設定に固定されます。
• 次の機能は設定できません。
EX光学ズーム/デジタルズーム/オートブラケット/マルチアスペクト/セルフタイマー/音声記録/連写
• 撮影をくり返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。</td></tr>
</table>

場面に合わせて撮る「シーンモード」（つづき）

モード：MS1 MS2 SCN

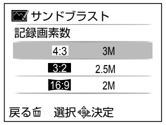
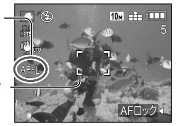
シーンモードの選びかた（P.48）
シーンモードのフラッシュについて（P.41）

シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
フラッシュ連写	暗いところで連写したいときに。 ①▲▼で記録画素数（画像横縦比）を選び、[MENU/SET]で決定する  ②撮影する（[シャッター]長押し） [シャッター]を押している間、静止画を連続して撮影します。 連写枚数：最大5枚 撮影のコツ • フラッシュの届く範囲で撮影してください。（P.41）	• 画質が少し粗くなります。 • 次の機能は固定です。 フラッシュ：（強制発光） クオリティ：（スタンダード） インテリジェントISO： 最高ISO感度3200 • ピント、ズーム、露出補正、シャッタースピード、ISO感度は、最初の1 枚目の設定に固定されます。 • 次の機能は設定できません。 EX光学ズーム/デジタルズーム/オートブラケット/マルチアスペクト/音声記録/連写 • 40ページもお読みください。
星空	星空や暗い被写体を鮮明に。 • シャッタースピードの選択 ①▲▼で選び、[MENU/SET]を押す。  • クイックメニューでも秒数を変えられます。（P.20） ②[シャッター]を押す。  カウントダウンが始まる 撮影のコツ • 暗いときは、シャッタースピードを長く設定する。 • 必ず三脚を使う。 • セルフタイマーを使う。 • 上記画面のカウントダウンが終了するまでカメラを動かさない。（このあと、処理のためのカウントダウンが再度表示されます）	• 次の機能は固定です。 フラッシュ：（発光禁止） ISO感度：ISO80 プリAF：OFF 手ブレ補正：OFF 音声記録：OFF • 次の機能は設定できません。 連写/露出補正/オートブラケット/マルチアスペクト/音声記録

シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
花火	夜空に上がる花火をきれいに。 撮影のコツ • 被写体から10 m以上離れる。 • 三脚を使う。	• シャッタースピードは1/4 秒に、またブレが少ないときや手ブレ補正が「OFF」のときは2 秒に固定されます。（露出補正するとシャッタースピードは変わります） • 次の機能は固定です。 フラッシュ：（発光禁止） ISO感度：ISO80 プリAF：OFF AF補助光：OFF
ビーチ	海や空の青色を鮮明に、人物を暗くしない。	• オートフォーカスモードの初期設定は（顔認識）です。 • ぬれた手で触らないでください。 • カメラに砂や海水がかからないように気をつけてください。
雪	スキー場や雪山で、雪景色を自然な色で。	• 気温が低いときはバッテリーの使用時間が短くなります。
空撮	飛行機からの窓越しの景色に。 撮影のコツ • 濃淡のある部分にピントを合わせる。 • 室内の景色が窓に映らないか確認する。	• 次の機能は固定です。 フラッシュ：（発光禁止） AF補助光：OFF • **離発着時は電源を切ってください。** • **ご使用の際は、乗務員の指示に従ってください。**
ピンホール	画面の周囲を暗くして、レトロな雰囲気に。 ▲▼で記録画素数（画像横縦比）を選び、[MENU/SET]で決定する  撮影のコツ • ピントが合う範囲（マクロ撮影と同じ） W端：3 cm以上 T端以外：2 m以上（T端：1 m以上）	• 画質が少し粗くなります。 • 次の機能は固定です。 クオリティ：（スタンダード） • 画面周辺の暗い部分では、顔認識機能（P.69）が正常に働かない場合があります • 次の機能は設定できません。 EX光学ズーム/デジタルズーム/オートブラケット/マルチアスペクト

場面に合わせて撮る「シーンモード」（つづき）

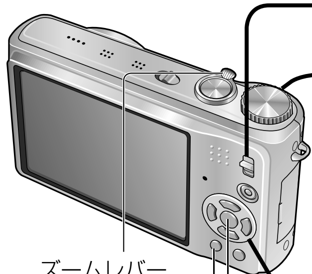
モード：MS1 MS2 SCN

シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
サンドブラスト	ざらざらとした感じの白黒画像に。 ▲▼で記録画素数(画像横縦比)を選び、[MENU/SET]で決定する  撮影のコツ • ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ) W端：3 cm以上 T端以外：2 m以上（T端：1 m以上）	• 画質が少し粗くなります。 • 次の機能は固定です。 クオリティ：（スタンダード） ISO感度：ISO1600 • 次の機能は設定できません。 EX光学ズーム/デジタルズーム/オートブラケット/マルチアスペクト
水中	水中で自然な色を。 撮影のコツ • 動きの速い被写体には、AFエリアを合わせて◀を押す(AFロック)。 （解除するとき→再度◀を押す） • AFロック後にズーム操作を行った場合は、AFロックは解除されますので、再度AFロックをやり直してください。 • オートフォーカスモードが（追尾AF)のときは、AFロックできません。 •「ホワイトバランス微調整」(P.68)で赤み・青みを調整する。 • ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ) W端：3 cm以上 T端以外：2 m以上（T端：1 m以上）	• マリンケース(別売：DMW-MCTZ7)を必ず使用してください。 • セルフタイマーは設定できません。 AFロック（ピント固定）  AFエリア

よく使うシーンをモードダイヤルに登録する「マイシーンモード」

モード：MS1 MS2

モードダイヤルの MS1 MS2 には、よく使うシーンモードを登録しておくことができます。登録後は、モードダイヤルをマイシーンに合わせるだけで、登録したシーンモードで撮影できます。

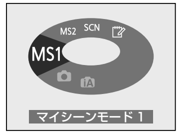


ズームレバー
DISPLAY
MENU/SET

1 (撮影)にする

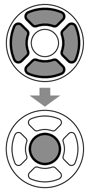
2 マイシーンモードに合わせる





MS1 MS2　すでに登録しているときは、シーンモードのアイコンが表示されます。

3 シーンを選び、決定する
（シーンメニューが表示されないときは、[MENU/SET]を押し、SCN を選び▶を押す）



●シーンメニュー



ズームレバーでも次の画面に切り換えられます。

各シーンの解説
シーンを選び、[DISPLAY]を押す

■登録したシーンで撮影するとき
➡モードダイヤルをマイシーンに合わせ、撮影する
• 各シーンの機能・コツなど（P.49 ～ 56）

■登録したシーンを変更したいとき
➡もう一度、登録操作を行う

■動画を撮るとき
➡(P.58)

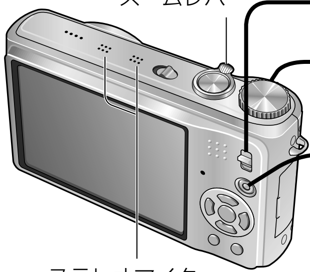
● MS1 MS2 について
どちらも同じ機能です。よく使うシーンをそれぞれに登録できるので、すぐに切り換えられて便利です。
● 登録したシーンの詳細については、シーンモードのページをお読みください(P.48)。
● セットアップメニューの「設定リセット」で「撮影設定」をリセットすると、登録したシーンモードが解除されます。

動画を撮る

モード：iA 📷 MS1 MS2 SCN

音声(ステレオ)付き動画を記録します。(音声なしの記録はできません。)また、撮影中にズームすることができます。

ズームレバー



ステレオマイク

1 📷(撮影)にする

2 (メモモード)以外に合わせる

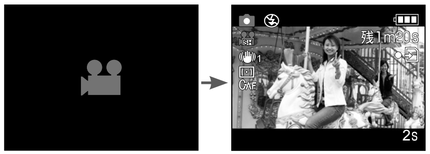
各モードの詳細については、次ページをお読みください。

3 押して、撮影を開始する

半押しの操作はありません。

動画撮影画面に切り換わり、撮影が開始されます。

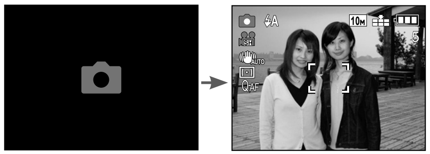
動画モード切換中※　動画撮影画面



※「撮影モード」によって、表示される画面が異なります。

4 もう一度動画ボタンを押して、終了する

静止画モード切換中　静止画撮影画面



■動画の各種設定を変更したいとき
➡(P.75)

■動画を再生するとき
➡(P.80)

■ 動画撮影画面について

残り撮影可能時間(目安)

撮影モード(P.75)と画質設定(P.76)



コンティニュアスAF(P.76)　撮影経過時間(目安)

撮影モード	AVCHD Lite			MOTION JPEG			
画質設定	SH	H	L	HD	WVGA	VGA	QVGA
アイコン	SH	H	L	HD	WVGA	VGA	QVGA

■iA(インテリジェントオートモード)での動画撮影

カメラが自動的にシーンを判別し、最適な設定で動画を撮影します。

iA どのシーンにも当てはまらないとき	(i人物)	(iローライト)
	(i風景)	(iマクロ)

- 撮影中に明るさなどの撮影条件が変わっても、シーンを自動で切り換えます。
- (i人物)のときは、認識した顔にピントや露出を合わせます。
- 夜景など、暗いシーンでは(iローライト)となります。
  フラッシュ撮影はできません。
- シーンを判別しにくい条件については、31ページをお読みください。
- 意図したシーンにならないときは、目的にあったモードで撮影することをおすすめします。
- 動画メニューのうち、次のメニュー項目が設定できます。
  ・撮影モード　・画質設定　・カラーモード※
  ※「標準」「白黒」「セピア」のみ
- 次の機能は固定です。
  ・デジタルズーム：OFF　・風音低減：OFF　・コンティニュアスAF：ON
  ・ホワイトバランス：AWB　・オートフォーカスモード：(顔認識)※
  ※顔が認識できないときは (1点)
- 暗部補正は、状況に応じて自動的に働きます。

インテリジェントオートモードについては、30ページをお読みください。

■📷(通常撮影モード)での動画撮影

お好みの設定で動画を撮影します。

通常撮影モードについては、33ページをお読みください。

■MS1 MS2 SCN (マイシーンモード/シーンモード)での動画撮影

選択されているシーンに合わせて、最適な設定で動画を撮影します。

- 一部のシーンは、以下のシーンに切り換わります。

選択されているシーン	動画シーン
赤ちゃん	(人物動画)
夜景&人物、夜景、星空	(ローライト動画)
パノラマアシスト、スポーツ、ペット 高速連写、フラッシュ連写、花火	通常動画

- 暗部補正は、シーンモードによって、状況に応じて自動的に働きます。
- 一部のシーンモードでは、次のメニュー項目が設定できません。
  ・ホワイトバランス　・デジタルズーム

マイシーンモードについては、57ページをお読みください。

シーンモードについては、48ページをお読みください。

動画を撮る（つづき）

モード：iA MS1 MS2 SCN

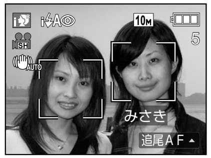
●動画撮影の際は、SD スピードクラス※が「Class6」以上のカードを使用することをおすすめします。
※ SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。
●「画質設定」を「HD」、「WVGA」または「VGA」に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。
●「MOTION JPEG」で動画を連続して撮影できるのは、約2GBまでです。（カードに2GBを超える空き容量があっても、撮影可能時間は約2GBで計算して表示されます。）2GB以上記録したいときは、再度動画ボタンを押してください。なお、「AVCHD Lite」で撮影する場合は、カードの容量いっぱいまで記録できます。
●記録・消去を何度も繰り返していると、SDカードの記録可能時間が短くなる場合があります。そのときは、本機でSDカードをフォーマットしてください。フォーマットすると、SDカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、大切なデータは事前にパソコンなどに保存しておいてください。
●ステレオマイクを指でふさがないでください。
●動画ボタンは押した後すぐに離してください。押し続けると記録開始後の数秒間は音声が記録されません。
●操作音やズーム音など本体の動作音が記録される場合があります。
●ズームスピードは通常より遅くなります。
●手ブレ補正は、動画撮影前の設定にかかわらず「MODE1」固定となります。
●フォーカスを固定したいときは、「コンティニュアスAF」を「OFF」にしてください。
●次の機能は使えません。
EX光学ズーム、フラッシュ、「個人認証」、「カラーモード」の「ナチュラル」、「ヴィヴィッド」、縦撮影時の自動回転表示
●空き容量がなくなると自動終了します。また、カードによっては、途中で撮影が終了することがあります。
●マルチメディアカードには対応していません。
●動画は静止画に比べて画面が狭くなる場合があります。動画記録枠表示(P.22)を「ON」にすると、撮影できる範囲が表示されます。
●動画ボタンを押す前にEX光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影可能範囲が大きく変わります。
●内蔵メモリーに記録できるのは、「画質設定」（P.76）の「QVGA」のみです。
●ACアダプターを使用して動画を撮影しているときに、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影中の動画は記録されません。十分に充電されたバッテリーとACアダプターの併用をおすすめします。
●動きの速い被写体を撮影した場合、再生時に残像が目立つことがあります。

個人認証機能を使って撮る

モード：iA MS1 MS2 SCN

個人認証機能について

撮影メニューの「個人認証」を「ON」にして撮影すると、以下の個人認証機能が働きます。



- 登録した顔に近い顔を見つけて、優先的にピントや露出を合わせます。
- 顔登録で名前を設定すると、カメラが登録した顔を認識したときに、名前を表示します
- 「自動登録」を「ON」に設定すると、顔認識時にカメラが人の顔を記憶し、撮影回数の多い顔を自動的に検出して、顔登録画面を表示します。
- 再生時に名前を表示したり、その名前の画像のみを「カテゴリー再生」することができます。（P.84）

顔登録について

最大6枚まで、顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。同じ人物の複数の顔画像を登録すると認証しやすくなります。

■ 撮影メニューから登録する

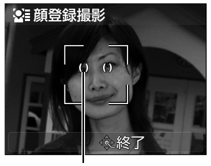
1 撮影メニューから「個人認証」を選ぶ（P.18）

2 ▲▼で「設定」を選び、[MENU/SET]で決定する

3 ▲▼で「登録」を選び、[MENU/SET]で決定する

- すでに6 人登録しているときは、登録した人物の一覧が表示されます。入れ換える人物を選択してください。入れ換えた人物の情報は消去されます。
- すでに登録した顔を変更したいときは「編集」を選び、編集したい人物を選択して手順6以降の操作を行ってください。
- 登録を解除したいときは「解除」を選び、解除したい人物を選択します。

4 ガイドに合わせて撮影する



目の位置を合わせる

- 人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- 正面を向いた顔を撮影してください。

5 ▲▼で「はい」を選び、[MENU/SET]で決定する

6 編集画面で名前や誕生日を登録する（次ページ参照）

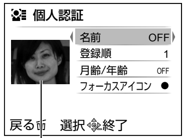
7 [MENU/SET]を押して、メニューを終了する

個人認証機能を使って撮る（つづき）

モード：iA 📷 MS1 MS2 SCN

■個人認証編集画面

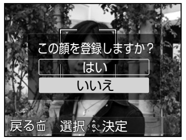
▲▼で項目を選択し、▶を押して設定します。



- 「名前」：名前を登録できます。（文字入力の方法：P.85）
- 「登録順」： 登録順にピントや露出を合わせます。
  登録順の変更方法
  ▲▼◀▶で新しい登録順（黄色の線の位置）を選んで[MENU/SET]を押す。
- 「月齢/年齢」：▲▼◀▶で誕生日を入力し、[MENU/SET]を押す。
- 「フォーカスアイコン」：▲▼で選び、[MENU/SET]を押す。
- 顔写真：◀を押して顔写真を選び、[MENU/SET] を押すと、顔画像を撮り直すことができます（前ページ手順4）。

■自動登録画面から登録する

「顔登録について」の手順3で「自動登録」を「ON」に設定すると、撮影回数の多い顔に対して、撮影後に自動的に登録画面が表示されます。（登録画面が表示される目安は5回です。連写、音声記録、オートブラケット、マルチアスペクト設定時は撮影回数に含まれません。）



①▲で「はい」を選び、[MENU/SET]を押す
- 「いいえ」を選ぶと再度選択画面が表示され、▲で「はい」を選ぶと「自動登録」が「OFF」に設定されます。

②「顔登録について」の手順6以降の操作を行ってください。
- すでに6人登録しているときは、自動登録画面は表示されません。

●以下の場合など、登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。
- ・顔が正面を向いていない/傾いている/極端に明るいまたは暗い/サングラス、光で反射しているメガネ、髪、帽子などで隠れている/小さく写っている
- ・顔全体が画面に収まっていない　・年齢と共に顔の特徴が変化したとき
- ・表情が大きく違っている　・顔の陰影が少ない　・動きが速い
- ・手ブレしている　・デジタルズーム使用時

●オートフォーカスモードは 顔（顔認識）に固定されます。
●シャッターを半押ししたあとで、違う被写体にカメラを向けて撮影をした場合、異なる人物の撮影情報が付加される場合があります。
●登録している人を認証しなくなった場合は、再度登録してください。
●次のときは個人認証が働きません。
メモモード、動画撮影、「連写」（2枚目以降）、シーンモードの「パノラマアシスト」「変身」「夜景」「料理」「高速連写」「フラッシュ連写」「星空」「花火」「空撮」「サンドブラスト」「水中」
●シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」の名前や「トラベル日付」の旅行先、「タイトル編集」で文字登録された画像には、「個人認証」で登録した名前は表示されません。
●CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと１枚の画像に登録された最大3人までの情報が確認できます。

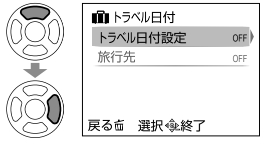
旅行先で便利な機能

モード：iA※ 📷 MS1 MS2 SCN ※　　※記録のみ（設定不可）

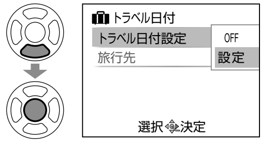
「トラベル日付」旅行日と旅先を記録する

出発日と旅行先を設定して撮影すると、旅行何日目にどこで撮影したかが記録されます。
操作：• 時計の設定が必要です(P.17)
• [MENU/SET]を押す→「セットアップメニュー」→「トラベル日付」を選ぶ

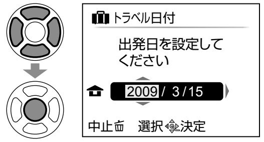
1 「トラベル日付設定」を選ぶ



2 「設定」を選び、決定する



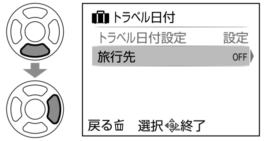
3 出発日を設定し、決定する



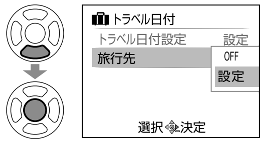
4 ▲▼◀▶で帰着日を設定し、[MENU/SET]で決定する

帰着日を設定しないときは、何も入力せず[MENU/SET]を押す。

5 「旅行先」を選ぶ



6 「設定」を選び、決定する



7 旅行先を入力する

- 文字入力方法(P.85)
- 文字入力終了後、[MENU/SET]を 2 回押してメニューを終了する

■ 解除するとき
帰着日を過ぎると自動的に解除されます。途中で解除する場合は、手順 2 で「OFF」を選び、[MENU/SET]を3 回押してメニューを終了する。

● トラベル日付を設定すると、再生モードから撮影モードへの切換時や電源を入れたときに画面下に経過日数が約 5 秒間表示されます。（画面右下に を表示）
● 「ワールドタイム」（次ページ）で旅行先を設定したときは、旅行先の日付をもとに経過日数を表示します。
● 出発日前はオレンジ色で「−○日目」と表示されます。（出発日までは記録されません）
● トラベル日付が白色で「−1日目」と表示される場合は、「ホーム」と「旅行先」との間に、日付をまたぐ時差があります。（記録されます）
● 「旅行先」で設定したテキストは撮影後でも「タイトル編集」（P.85）で変更できます。
● 経過日数や旅行先をプリントするときは、「文字焼き込み」（P.86）を行うか、CD-ROM（付属）のソフトフェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってプリントしてください。
● 「旅行先」設定時は、「赤ちゃん」「ペット」の名前は記録されません。
● 動画撮影の際、トラベル日付は記録されますが(MOTION JPEG動画のみ)、「旅行先」は記録できません。

旅行先で便利な機能（つづき）

モード：iA※ 📷 MS1 MS2 SCN ※　※記録のみ(設定不可)

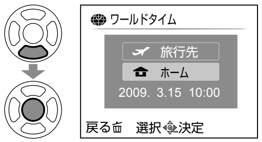
「ワールドタイム」海外旅行先の日時を設定する

操作： • 時計の設定が必要です(P.17)
• [MENU/SET]を押す→「セットアップメニュー」→「ワールドタイム」を選ぶ

お買い上げ時は、「ホームエリアを設定してください」と表示されます。その場合は、[MENU/SET]を押して手順 2 へ。

■ ホーム(お住まいの地域)を設定する

1 「ホーム」を選び、決定する



2 ホーム(お住まいの地域)を設定し、決定する

現在時刻



• 中止するとき→ 🗑 を押す

GMT（グリニッジ標準時)との時差
都市・地域名

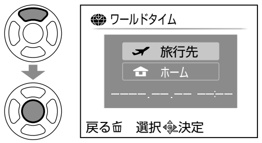
この後、お買い上げ時(または「リセット」時)のみ、手順 1 の画面が表示されます。このとき、メニューを終了するには、[MENU/SET]を3 回押してください。

3 メニューを終了する

押す

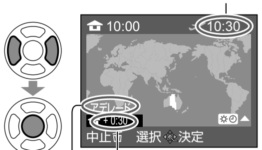
■ 旅行先を設定する

1 「旅行先」を選び、決定する



2 都市・地域(エリア)を設定し、決定する

選んだエリアの現在時刻



• 中止するとき→ 🗑 を押す

ホームとの時差
都市・地域名(エリア)

旅行先の地域が表示されない場合"ホームとの時差"を参考に選んでください。

3 メニューを終了する

押す

■ 旅行から戻ったとき ➡ 左上の手順 1、2、3 を行い、時計をホームに戻す

■ サマータイム を設定／解除するとき

手順 2 で▲を押す。(再度押すと解除)

●「旅行先」でサマータイムを設定すると、現在時刻が1時間進みます。設定を解除すると、自動的に戻ります。「ホーム」でサマータイムを設定しても、現在時刻は進みません。「時計設定」(P.17)で1時間進めてください。

●旅行先を設定して撮影した静止画やMOTION JPEGで撮影した動画は、再生時に✈(旅行先)が表示されます。

撮影メニューを使う

撮影/再生切換スイッチ：📷

撮影メニューの設定方法は、18ページをお読みください。
　　　　は、お買い上げ時の設定です。
よく使うメニューは、「クイックメニュー」(P.20)が便利です。

「記録画素数」画素数を設定する

画像(粒子)のきめ細かさを設定します。この設定と「クオリティ」(P.66)で撮影できる枚数が決まります。

■ モード：iA 📷 MS1 MS2 SCN

■ 設定

記録可能枚数について(P.122)

画像横縦比	記録画素数の種類					
4:3	10M 3648×2736	7M EZ※ 3072×2304	5M EZ 2560×1920	3M EZ 2048×1536	2M EZ※ 1600×1200	0.3M EZ※ 640×480
3:2	9.5M 3776×2520	6.5M EZ※ 3168×2112	4.5M EZ※ 2656×1768	3M EZ※ 2112×1408	2.5M EZ※ 2048×1360	–
16:9	9M※ 3968×2232	6M EZ※ 3328×1872	4.5M EZ※ 2784×1568	2.5M EZ※ 2208×1248	2M EZ 1920×1080	–

※ iA (インテリジェントオートモード)時は設定できません。

●EZ の付いた画素数を選ぶと、EX光学ズームが使えます。
●動画撮影、ズームマクロ、シーンモードの「変身」「高感度」「高速連写」「フラッシュ連写」「ピンホール」「サンドブラスト」では、EX光学ズームは使えません。
●被写体や撮影状況によっては、画像がモザイク状になることがあります。

設定の目安

画素数が大きい	←→	画素数が小さい※
きめ細かい		粗い
撮影枚数が少ない		撮影枚数が多い

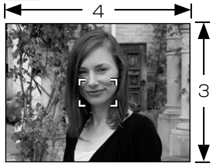
※ 例えば、「0.3 M EZ」は、データ容量が小さいので、Eメールでの送付などに便利です。

「クオリティ」画質を設定する

■モード：📷 MS1 MS2 SCN
■設定：ファイン（高画質、画質優先）
：スタンダード（標準画質、枚数優先）

「画像横縦比」画像の横縦比を変える

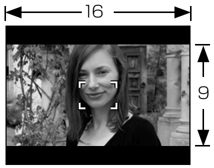
■モード：📷 MS1 MS2 SCN
■設定

4:3


4：3のテレビやパソコンと同じサイズ

3:2


一般のフィルムカメラと同じサイズ

16:9


ワイドテレビやハイビジョンテレビで見るとき

●プリント時に端が切れる場合があるので、事前に確認してください。
●iA（インテリジェントオートモード）では、「記録画素数」を変更することで、3:2（9.5M）、16:9（2M）に設定できます。

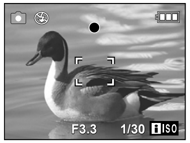
「iISO インテリジェントISO」被写体の動きに合わせてブレをおさえる

被写体の動きに合わせて、カメラが自動的にISO感度とシャッタースピードを調整してブレをおさえます。ISO感度が高いほど被写体ブレや手ブレをおさえられますが、ノイズが増えます。下の表を元に最高ISO感度を設定してください。

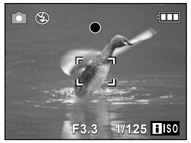
■モード：📷
■設定：OFF／ISOMAX 400／ISOMAX 800／ISOMAX 1600

設定の目安

被写体の動き	遅い ←→	速い
ISO感度	低くなる	高くなる
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	減る	増える

●動きの遅い被写体


ISO感度200
（シャッタースピード1/30）

●動きの速い被写体


ISO感度800
（シャッタースピード1/125）

●撮影後、画面にシャッタースピードとISO感度を数秒間表示します。
●ノイズが気になるときは、設定を低くするか、「カラーモード」（P.73）を「ナチュラル」にすることをおすすめします。
●明るさ、被写体の大きさ、位置、動きの速さなどによっては、ブレる場合があります。（被写体が小さすぎる、画面の端にある、[シャッター]を全押しした瞬間に動き出すなど）
●フラッシュで撮影できる範囲について（P.41）

「ISO ISO感度」光に対する感度を設定する

ISO感度（光に対する感度）を自分で設定します。
暗い場所で明るく撮りたいときは、高く設定することをおすすめします。

■モード：📷
■設定：AUTO（自動）／80／100／200／400／800／1600

設定の目安

ISO感度	80 ←→	1600
適した撮影場所	明るい（屋外）	暗い
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	減る	増える

●「AUTO」は、明るさに応じて、最大 400（フラッシュ使用時は最大 1000）までの範囲で自動設定します。
●フラッシュで撮影できる範囲について（P.41）
●「インテリジェントISO」使用時は設定できません。（iISO を表示）
●ノイズが気になるときは、設定を低くするか、「カラーモード」（P.73）を「ナチュラル」にすることをおすすめします。

撮影メニューを使う（つづき）

撮影/再生切換スイッチ：[カメラ]

撮影メニューの設定方法は、18ページへ

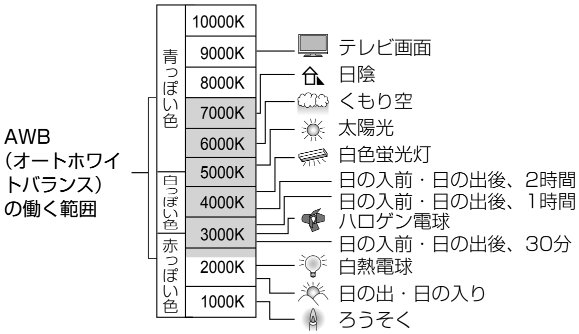
「WB ホワイトバランス」色合いを設定する

色合いが不自然なときに光源に合わせて自然な色に調整します。

■ モード：[カメラ] MS1 MS2 SCN

■ 設定：AWB（自動調整、通常推奨）／☼（晴天の屋外）／（曇りの屋外）／（屋外晴天下の日陰）／（白熱灯）／（SET で設定した値を使用）／SET（AWB、☼、、、では合わないときに手動設定）

AWBが働く範囲について



● 範囲外では、映像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、範囲内にあっても、光源が複数の場合は、正常に働かない場合があります。

● 蛍光灯のときは「AWB」または「SET」に設定することをおすすめします。

■「☼」「」「」「」「」を微調整するとき

ホワイトバランスを設定しても思い通りの色合いにならないとき、ホワイトバランスを個々に微調整することができます。（ホワイトバランス微調整）

①▲を数回押して「WB微調整」を表示する。

②赤みが強いときは▶で、青みが強いときは◀で調整する。

③[MENU/SET]を押す。

- 電源を切っても記憶されます。
- フラッシュ撮影にも反映されます。
- シーンモードの「水中」では、「AWB」に固定されますが、微調整できます。
- 「カラーモード」(P.73)が「白黒」「セピア」「クール」「ウォーム」のときはできません。

微調整すると、赤または青に変わる



■ 手動で設定するとき（SET）

撮りたい光源の下で白いものを写して色を合わせます。

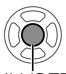
①SET を選び、[MENU/SET]を押す。

②紙など白いものを写し、[MENU/SET]を押す。

③[MENU/SET]を押す。

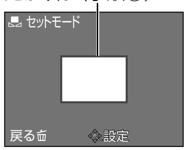
・ホワイトバランスが に設定されます。

- ホワイトバランス微調整はリセットされます。



MENU/SET

枠内に白いものだけ映す(手順②)



● 動画メニューでも設定できます。

「 個人認証」よく撮る人を登録する

よく撮る人を登録すると、優先的にピントを合わせたり、まとめて再生したりできます。

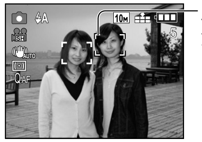
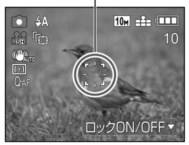
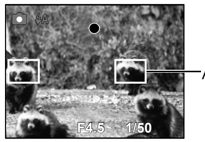
詳しくは、61ページをお読みください。

「 オートフォーカスモード」ピントを合わせる方法を変える

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを変えられます。

■ モード：[カメラ] MS1 MS2 SCN

■ 設定：（顔認識）／（追尾AF）／（11点）／（1 点高速）／（1 点）／（スポット）（ H：他の設定より速くピントが合います）

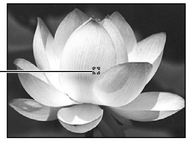
人物を正面から撮るとき （顔認識）	顔を認識して(最大 15 人)顔に露出やピントが合います。(測光モード(P.71)が「マルチ測光」のとき)  AFエリア 黄色：[シャッター]を半押しし、ピントが合うと緑色に変わる 白色：複数の顔を認識すると表示。黄色のAFエリア枠内と同じ距離にある顔にはピントが合います。 • 撮影メニューの「個人認証」を「ON」に設定すると、顔認識で撮影する際、よく撮る人に優先的にピントや露出を合わせます。(P.61)
動いている被写体を自動でフォーカスロックするとき （追尾AF）	被写体を追尾AF枠に合わせ、▼を押す  追尾AF枠 被写体を認識すると、追尾AF枠が白色から黄色に変わり、自動的にピントを合わせ続ける。AFロックに失敗したときは、赤く点滅する。 • AFロックを解除するとき→▼を押す • ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ) W端：3cm以上 T端以外：2m以上(T端：1m以上)
被写体が中央にないとき (ピントがすべて合ってから、AFエリアを表示します) （11 点）	11 点：11 点のどれかにピントが合います。  AFエリア

応用・撮影

撮影メニューを使う（つづき）

撮影/再生切換スイッチ：📷

撮影メニューの設定方法は、18ページへ

ピントを合わせる位置が決まっているとき (1 点高速) (1 点) (スポット)	1 点高速、1 点： 画面中央のAFエリアにピントが合います。（ピントが合いにくいときにおすすめ）  AFエリア	スポット： 限られた狭い範囲内にピントが合います。 スポット AFエリア 

- (1 点高速)にすると、ピントが合う前に画像が一時停止することがあります。
- デジタルズーム使用時やズームマクロ設定時、暗い場所では、大きなAFエリアが表示されます。
- (スポット)でピントが合いにくいときは、(1 点高速)または(1 点)にしてください。
- 次のときは「顔認識」に設定できません。
  シーンモードの「パノラマアシスト」「夜景」「料理」「星空」「花火」「空撮」「水中」
- 「顔認識」設定時に、カメラが誤って人物以外を顔と認識したときは、「顔認識」以外の設定に変えてください。
- 次のときは状況によって顔を認識できない場合があります。((11点)に切り換わります。)
  - 顔が正面を向いていない、傾いている
  - サングラスなどで顔が隠れている
  - 顔の光が極端に明るい、または暗い
  - 遠いところにいる
  - 動きが速い
  - 手ブレしている
  - ペットなど人物以外
  - デジタルズーム使用時
- 追尾AFにおいて、次のときは状況によってAFロックに失敗したり、被写体を見失ったり、他の被写体を追尾することがあります。
  - 被写体が小さい
  - 動きが速い
  - 手ブレしている
  - 撮影場所が明るすぎる／暗すぎる
  - 類似した色の被写体や背景がある
  - ズーム使用時
- 次のときは(追尾AF)に設定できません。
  - シーンモードの「パノラマアシスト」「星空」「花火」「ピンホール」「サンドブラスト」
  - カラーモードの「白黒」「セピア」「クール」「ウォーム」
- 動画メニューでは、「顔認識」「1点」のみ設定できます。

「プリAF」動きに合わせてピントを合わせる

[シャッター]を押していない間も自動的にピントを合わせます。（バッテリーの消費は早くなります）

■ モード：📷 MS1 MS2 SCN

■ 設定：

設定内容	効果
OFF	[シャッター]を半押しするまで、ピント合わせをしない。
Q-AF	[シャッター]を押していない間も、カメラのブレが小さくなると自動的にピント合わせを行う。
C-AF	[シャッター]を押していない間も、被写体の動きに合わせて連続的にピント合わせを行う。

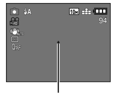
- ズームレバーをW端から一気にT端に回したり、急に被写体に近づくと、ピントが合うのに時間がかかることがあります。
- ピントが合いにくいときは、[シャッター]を半押ししてください。
- 「オートフォーカスモード」が、(1 点高速) (1 点) (スポット)のときは、[シャッター]を半押しするとピントが速く合います。

「測光モード」明るさを測る位置を変える

露出を補正するときにどの位置の明るさを測るかを変えられます。

■ モード：📷

■ 設定

	明るさの測定位置	こんなとき
マルチ測光	画面全体	通常使用 （バランスがとれた写真になります）
中央重点測光	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
スポット測光	中央の狭い範囲  スポット測光ターゲット （この部分に合わせます）	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき（舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など）

応用・撮影

「i◐ 暗部補正」コントラストを自動調整する

背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を自動調整して見た目に近い色にします。

■ モード：[カメラ]

■ 設定：OFF/ON（画面に i◐ を表示）

●「ISO感度」を「80」または「100」に設定していても、暗部補正が働いたときは、ISO感度の設定より高い感度で撮影されることがあります。
●撮影条件により、補正効果が得られないことがあります。
●動画メニューでも設定できます。

「連写」連写で撮る

[シャッター]を全押ししている間、連続して写真を撮ることができます。

■ モード：iA [カメラ] MS1 MS2 SCN

■ 設定

連写設定	速度	枚数※1
OFF	連写しない	
(連写)	2.3 枚/秒	(ファイン)：最大 3 枚 (スタンダード)：最大 5 枚
(フリー)	約 1.8 枚/秒※2	カード、内蔵メモリーがいっぱいになるまで

※1 セルフタイマー使用時は3 枚に固定されます。
※2 **途中から遅くなります。**（遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数、クオリティによって異なる）

●ピントは1 枚目で固定されます。
●(連写)設定時は、露出とホワイトバランスが1 枚目撮影時の設定に固定されます。
●(フリー)設定時は、1枚ごとに露出とホワイトバランスを調整します。
●ISO 感度が高い場合、または暗い場所でシャッタースピードが遅くなる場合は、連写速度が遅くなることがあります。
●連写を設定するとフラッシュは発光禁止になります。また、「オートブラケット」「マルチアスペクト」「音声記録」は解除されます。
●電源を切っても、設定は記憶されます。
●明暗差の大きい場所で動きのある被写体を追いながらフリー連写した場合、最適な露出にならないことがあります。
●「オートレビュー」の設定にかかわらず、1 枚撮るごとに撮影した画像が表示されます。
●シーンモードの「変身」「パノラマアシスト」「高速連写」「フラッシュ連写」「星空」「ピンホール」「サンドブラスト」では連写は設定できません。
●シーンモードの「高速連写」を使うと、より速い連写で撮ることができます。また、「フラッシュ連写」を使うと、暗い場所でもフラッシュを使って連続撮影できます。（P.53、54）

「デジタルズーム」さらに拡大する

光学ズーム、またはEX光学ズームの最大 4 倍に拡大します。（詳しくはP.36へ）

■ モード：[カメラ] MS1 MS2 SCN

■ 設定：OFF ／ ON

●ズームマクロ設定時は「ON」に固定されます。
●動画メニューでも設定できます。

「カラーモード」色の効果をつける

■ モード：iA [カメラ]

■ 設定：**標準**／**ナチュラル**（柔らかく）／**ヴィヴィッド**（くっきり）／**白黒**／**セピア**／**クール**（青っぽく）／**ウォーム**（赤っぽく）

●暗い場所でノイズが目立つときは「ナチュラル」に設定してください。
●iA（インテリジェントオートモード）では「標準」「白黒」「セピア」のみ設定できます。
●動画メニューでは「ナチュラル」「ヴィヴィッド」には設定できません。

「手ブレ補正」手ブレをおさえる

手ブレを自動で感知して補正します。

■ モード：[カメラ] MS1 MS2 SCN

■ 設定

設定内容	効果
OFF	ブレを補正しない。
AUTO	撮影状況に応じて自動的に最適な手ブレ補正をします。
MODE1	常に補正する。モニター画像が安定します。
MODE2	[シャッター]を押す瞬間のみ補正する。より手ブレが少なく撮れます。

●シーンモード「自分撮り」では「MODE2」、星空では「OFF」に固定されます。
●次のときは補正が効きにくい場合があります。
手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき（デジタルズーム領域を含む）、被写体の動きが速いとき、室内や薄暗い場所で撮る（シャッタースピードが遅い）とき
●動画撮影中は「MODE1」に固定されます。

撮影メニューを使う（つづき）

撮影/再生切換スイッチ：[カメラ]　　撮影メニューの設定方法は、18ページへ

「[MIN] 下限シャッター速度」暗い場所で明るく

シャッター速度の最低速度を設定します。暗い場所で明るく撮りたいときは、遅めに設定することをおすすめします。

■ モード：[カメラ]

■ 設定：1/250、1/125、1/60、1/30、1/15、1/8、1/4、1/2、1

- シャッタースピードが遅いほど暗い場所でも明るく撮れますが、手ブレしやすくなるため三脚とセルフタイマーの使用をおすすめします。
- 「1/250」など速い値に設定時は、画像が暗く写りやすいため、明るい場所で撮影することをおすすめします。（画像が暗くなる場合は[シャッター]半押し時に [MIN] が赤く点滅します）
- 「1/8」以外を選択すると、画面に [MIN] を表示します。
- 「インテリジェントISO」使用時は設定できません。（P.66）

「[マイク] 音声記録」音声を同時に記録する

撮影と同時に音声も記録します。会話やメモの記録に便利です。

■ モード：[カメラ] MS1 MS2 SCN

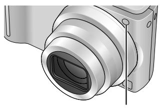
■ 設定： OFF /ON（撮影と同時に約 5 秒間録音(画面に [マイク] を表示)）

- 中止するとき→録音中に[MENU/SET]を押す
- 音声を再生するとき→(P.80)
- 「連写」、「オートブラケット」、「マルチアスペクト」、シーンモードの「パノラマアシスト」「高速連写」「フラッシュ連写」「星空」では録音できません。
- 音声付き静止画は、「文字焼き込み」「リサイズ」「トリミング」「傾き補正」「横縦比変換」ができません。
- メモ撮影メニューの「音声記録」とは別に設定されます。（P.78）
- ステレオマイク(P.12)を指でふさがないでください。

「AF[AF補助光] AF補助光」暗いところでピントを合わせやすくする

■ モード：[カメラ] MS1 MS2 SCN

■ 設定：
OFF ：ランプ消灯（暗やみで動物などを撮るときなど）
ON ：[シャッター]半押しでランプが点灯
（[AF補助光]と、大きなAFエリアが表示される）



AF補助光ランプ（有効距離：1.5 m）
（近くで見たり、指でふさがない）

「[時計] 時計設定」時計を合わせる

時計を設定します。セットアップメニューの「時計設定」と同じ機能です。（P.17）

動画メニューを使う

撮影/再生切換スイッチ：[カメラ]

動画メニューの設定方法は、18ページをお読みください。

[網掛け] は、お買い上げ時の設定です。

よく使うメニューは、「クイックメニュー」（P.20)が便利です。

- 撮影メニューにもある同名のメニュー項目の設定とは、連動しています。（どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます）
  撮影メニュー側で変更した設定が動画メニュー側にない場合は、以下の設定となります。
  ・オートフォーカスモード：[■]（1点）　・カラーモード：標準
- 以下のメニュー項目については、撮影メニューの同じ項目をお読みください。
  ・ホワイトバランス(P.68)　・オートフォーカスモード(P.69)
  ・暗部補正(P.72)・デジタルズーム(P.73)　・カラーモード(P.73)

「[撮影モード] 撮影モード」動画を記録するデータ形式を設定する

動画のデータ形式を設定します。

■ モード：[iA] [カメラ] MS1 MS2 SCN

■ 設定

記録形式	効果
[AVCHD] AVCHD Lite	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。高精細な動画を同じ画像サイズのMOTION JPEGで撮影した動画と比べ、長時間記録できます。
[MOTION JPEG] MOTION JPEG	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。小さな画像サイズでも記録できるので、メモリーカードの容量が残り少ないときや、あとでパソコンからメールに添付するときなどに便利です。

- 撮影モードの設定により、「画質設定」の項目が変わります。
- 本機にカードが入っていない場合は、自動的に「MOTION JPEG」（画質設定：QVGA)に設定されます。
- 「AVCHD Lite」で記録された動画は、AVCHD対応機器で再生できます。お使いの機器の説明書で対応を確認してください。ただし、一部の対応機器においては、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。この場合は、本機で再生してください。
  詳細情報は下記サポートデスクでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/dsc/
- 「AVCHD Lite」で撮影された動画は、AVCHDに対応していない機器（従来のDVDレコーダーなど）では再生できません。
- 「AVCHD Lite」で記録した動画は、DCFおよびExifに準拠していないため、再生時に一部の情報（画像番号やホワイトバランスなど）が表示されません。
- 動画撮影の際は、SD スピードクラス※が「Class6」以上のカードを使用することをおすすめします。
  ※ SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。
- 「画質設定」を「HD」、「WVGA」または「VGA」に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。
- マルチメディアカードには動画を保存できません。
- 「AVCHD Lite」で記録した動画をパソコンで再生するときは、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってください。

動画メニューを使う（つづき）

撮影/再生切換スイッチ：[撮影]　　動画メニューの設定方法は、18ページへ

「画質設定」動画の画質を変更する

記録する動画の画質を設定します。

■モード：iA [撮影] MS1 MS2 SCN

■ 設定

撮影モードが「AVCHD Lite」のとき

設定	画像サイズ	ビットレート※1	横縦比
SH	1280 × 720	約17 Mbps	16:9
H	1280 × 720	約13 Mbps	
L	1280 × 720	約 9 Mbps	

撮影モードが「MOTION JPEG」のとき

設定	画像サイズ	フレームレート※2	横縦比
HD	1280 × 720	30 fps	16:9
WVGA	848 × 480	30 fps	
VGA	640 × 480	30 fps	4:3
QVGA	320 × 240	30 fps	

※1 ビットレートとは、一定時間あたりのデータの量で、この場合は数値が大きいほど高画質となります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate（可変ビットレート）の略で、撮影する被写体により、ビットレートが自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。

※2 フレームレートとは、1秒あたりのコマ数です。

●インテリジェントオートモードでは、「WVGA」に設定できません。

●内蔵メモリーに記録できるのは「QVGA」のみです。

「C-AF コンティニュアスAF」ピントを固定する

動画撮影中もピントを合わせ続けるか、あるいは動画撮影開始時のピント位置で固定するかを設定できます。

■ モード：[撮影] MS1 MS2 SCN

■ 設定：ON：動画撮影中も被写体の動きに合わせ、ピントを調節します。（画面にC-AFを表示）

OFF：動画撮影開始時のピント位置で固定します。被写体が前後にあまり動かない場合など、ピントを動かしたくない場合に設定してください。

「風音低減」風の音を録音しにくくする

風が強いときに録音される風の音（風音ノイズ）を記録しにくくします。

■ モード：[撮影] MS1 MS2 SCN

■ 設定：OFF／ON（画面に [風音低減] を表示）

●「風音低減」を「ON」に設定しているときは、低音がカットされるため、通常と音質が異なります。

メモ画像を撮る／見る「メモモード」

モード：[メモ]

時刻表や路線図などをメモ代わりに撮るときに便利です。内蔵メモリーのメモ専用フォルダーに保存されるので、カードがなくてもすぐ使えます。

著作権などに気をつけてください。（P.10）

撮るとき



1 [撮影]（撮影）にする

2 [メモ]（メモモード）に合わせる



3 撮影する



半押し（ピント合わせ）　全押し（撮影）

●内蔵メモリーを「メモ画像」撮影だけに使用した場合の枚数（目安）

記録画素数	2 M EZ	1 M EZ
記録可能枚数	84 枚	124 枚

見る（再生する）とき

1 撮影/再生切換スイッチを [再生]（再生）にする

2 モードダイヤルを [メモ]（メモモード）に合わせる

• メモモード以外の静止画と同じ操作で見れます。（P.37）
（30 画面表示、カレンダー画面表示はできません）

■メモ画像を消す（消去する）とき ➡ 上記手順 2 で [消去]（消去）を押す（P.38）

■内蔵メモリーの容量がなくなったとき ➡

本体からカードを抜き、モードダイヤルを [メモ]（メモモード）以外に合わせて [消去]（消去）を押すと、メモ画像以外の内蔵メモリーの画像を消去できます。

●メモ画像は、カードにコピーしてプリントしてください。（次ページ）

●再生モードの機能は使えません。

●撮影メニューの「手ブレ補正」の設定内容はメモモードにも反映されます。

●次の機能は設定できません。

「インテリジェントISO」「暗部補正」「個人認証」「下限シャッター速度」「連写」「デジタルズーム」「オートブラケット」「マルチアスペクト」「ホワイトバランス微調整」「プリAF」「カラーモード」「自動液晶OFF」「ヒストグラム表示」

●次の機能は固定されます。

• クオリティ：[スタンダード]（スタンダード）
• ホワイトバランス：AWB
• AF補助光：ON
• 測光モード：[(•)] マルチ測光）
• 画像横縦比：4:3
• オートフォーカスモード：[■]（1点）
• ガイドライン表示：[田]
• ISO感度：AUTO
• パワーセーブ：5分

応用・撮影

メモ画像を撮る／見る「メモモード」（つづき）

モード：[メモ]

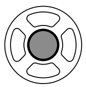
「ズームマーク」メモ再生時に拡大した位置を記憶させる

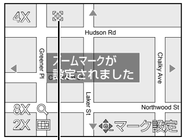
再生時のズーム位置を記憶させます。地図などを繰り返し見るときに便利です。

■ズーム位置を記憶させるとき

①ズームレバーで拡大し、▲▼◀▶で位置を決めて

②押す



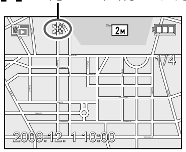


[+] ズームマーク
記憶させた画像に表示

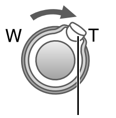
- ズーム倍率や位置を変えたいとき→左記を繰り返し操作する
- 終了するとき→ズーム倍率をW側（1 倍）に戻す

■ 記憶させたズーム位置で見るとき

① [+] の付いた画像を表示する

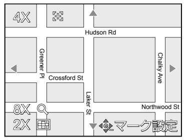


② T側に回す
（拡大、移動の操作は不要）



ズームレバー

すぐにその大きさと位置で表示されます



- ズームマークを解除するとき→「ズームマーク解除」（下記）

● [+] 付き画像を消去すると、ズーム前の画像も見ることができなくなります。
●ズームした状態でも消去できます。

メモメニュー

メモモード専用メニューを使います。（　　　はお買い上げ時の設定です）

メモ撮影メニュー (撮影/再生切換スイッチ：[撮影]、モードダイヤル：[メモ])

記録画素数	2 M EZ（画質優先）／ 1 M EZ（枚数優先）
音声記録	音声を5 秒間記録。OFF /ON
LCDモード	OFF / [A✱] オートパワー LCD / [✱] パワー LCD (P.22)
時計設定	(P.17)

メモ再生メニュー (撮影/再生切換スイッチ：[▶]、モードダイヤル：[メモ])

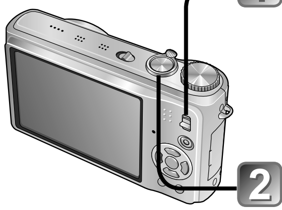
ズームマーク解除	◀▶で [+] のついた画像を選び、[MENU/SET]で解除する
アフレコ	画像に音声をつける（◀▶でメモ画像を選び、[MENU/SET]で録音開始）（P.93）
コピー	メモ画像をカードへ1 枚ずつコピーする（ズームマークはコピーされません） ①◀▶でメモ画像を選び、[MENU/SET]を押す ②▲▼で「はい」を選び、[MENU/SET]を押す
LCDモード	OFF / [✱]パワー LCD(P.22)

●セットアップメニューのその他の項目は、通常撮影モードなどで設定した内容が反映されます。

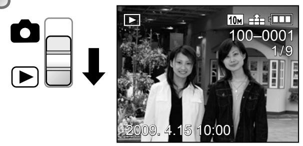
画像を 一覧で見る（マルチ再生／カレンダー再生）

撮影/再生切換スイッチ：[▶]

一度に12 画面（または30 画面）で表示（マルチ再生）したり、撮影日ごとにまとめて表示（カレンダー再生）したりできます。

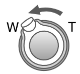


1 [▶]（再生）にする



- ◀▶で画像を選べます。

2 一覧で表示する



W側に回すたびに変わる

撮影日　選択画像番号



（12 画面）

- 合計枚数
- スクロールバー
- 画像の種類
  - お気に入り[★]
  - AVCHD Lite動画：[動画]
  - MOTION JPEG動画：[動画]
  - 赤ちゃん[[赤ちゃん]]
  - ペット[[ペット]]
  - トラベル日付[[トラベル]]
  - ワールドタイム[[飛行機]]
  - タイトル編集済み[[タイトル]]
  - 文字焼き込み済み[[文字]]



（30 画面）

選択日（その日の最初の画像）



（カレンダー画面）

- ▲▼で月を、◀▶で日を選んで[MENU/SET]を押すと、その日の画像が12 画面で表示されます。

■1つ前の画面表示に戻すとき
➡T側に回す

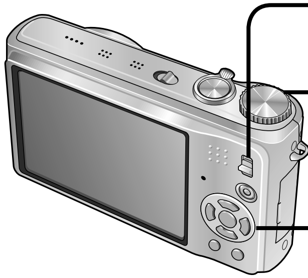
■12 画面/30 画面表示から1 画面表示にするとき ➡
▲▼◀▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

●カレンダー画面は、撮影画像のある月のみ表示されます。また、時計設定せずに撮影した画像は、2009年1月1日に表示されます。
●「回転表示」はできません。
●「ワールドタイム」で旅行先を設定して撮った画像は、旅行先の日付でカレンダー画面に表示されます。

動画・音声付き静止画を見る

撮影/再生切換スイッチ：▶

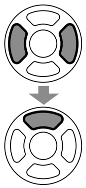
静止画と同じように動画や音声付き静止画も再生できます。



1 ▶(再生)にする

2 (メモモード)以外に合わせる

3 画像を選び、再生する

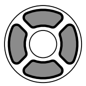




動画記録時間

動画の種類と画質
- ：AVCHD Lite
- ：MOTION JPEG（例はWVGAのアイコン）
- ：音声付き静止画

■動画再生中の操作



- ▲：一時停止／再生
- ▼：終了
- ◀：(長押しで)早戻し（一時停止中)コマ戻し
- ▶：(長押しで)早送り（一時停止中)コマ送り

• 音量はズームレバーで調整できます。（動画のみ）

■消去するとき

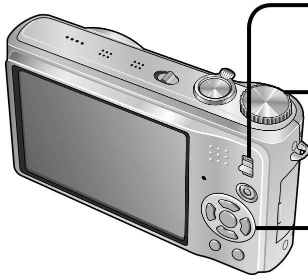
➡ (P.38)

●音声付き静止画の音量は、スピーカー音量(P.21)で調整できます。
●他機で撮影した動画および音声付静止画は、正しく再生できないことがあります。
●大容量のカードを使用時、早戻しが遅くなる場合があります。
●「AVCHD Lite」で撮影した動画は、一部の情報(画像番号やホワイトバランスなど)が表示されません。
●「AVCHD Lite」(P.75)で撮影した動画をパソコンで見る場合は、CD-ROM（付属）の「PHOTOfunSTUDIO」で再生できます。
●「MOTION JPEG」で撮影した動画や、アフレコなどで音声を記録した静止画をパソコンで見る場合は、CD-ROM（付属)の「QuickTime(クイックタイム)」で再生できます。

いろいろな再生方法「再生モード」

撮影/再生切換スイッチ：▶

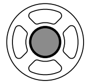
撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。



1 ▶(再生)にする

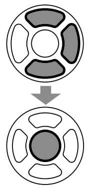
2 (メモモード)以外に合わせる

3 メニューを表示する



[MENU/SET]を押す

4 MODE(再生モード選択メニュー)から再生モードを選び、決定する





■通常再生

➡(P.37)

■スライドショー

➡(P.82)

■モード別再生

➡(P.83)

■カテゴリー再生

➡(P.84)

■お気に入り再生

➡(P.84)

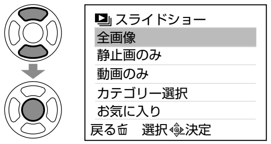
●カードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像(メモ画像以外)を再生します。
●撮影/再生切換スイッチを▶にして電源を入れたときや、撮影モードから再生モードに切り換えたときは、再生モードは自動的に「通常再生」になります。

再生モードの切換方法は、81ページへ

「スライドショー」自動で順番に見る

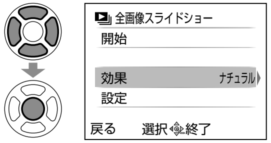
音楽に合わせて静止画や動画を順に自動再生します。テレビで見るときにおすすめです。

1 再生方法を選び、決定する



- 「全画像」：すべての画像を再生。
- 「静止画のみ」：静止画のみ再生。
- 「動画のみ」：動画のみ再生。
- 「カテゴリー選択」：カテゴリーを選択して、静止画のみ再生。（▲▼◀▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押してください）（P.84）
- 「お気に入り」：「お気に入り」（P.91）に設定した画像のみ再生。（「お気に入り」に設定している画像があり、設定を「ON」にしているときのみ表示されます）

2 再生効果を設定し、決定する



効果（画像の雰囲気にあった音楽と効果を選ぶ）	
おまかせ	ナチュラル、スロー、スウィング、アーバンから最適なものをカメラが選択（「カテゴリー選択」設定時のみ）
ナチュラル	落ちついた音楽と画面切り換え効果で演出
スロー	落ちついた音楽と画面切り換え効果で演出
スウィング	アクティブな音楽と画面切り換え効果で演出
アーバン	アクティブな音楽と画面切り換え効果で演出
OFF※1	演出しない

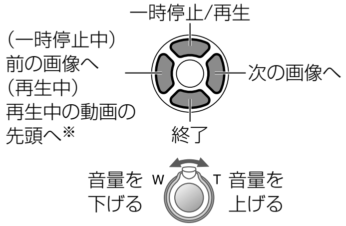
※1 1 で「動画のみ」を選択したときは、効果は「OFF」に固定されます。また、再生間隔は設定できません。
※2 効果「OFF」設定時は、項目名が「音声」に変わります。

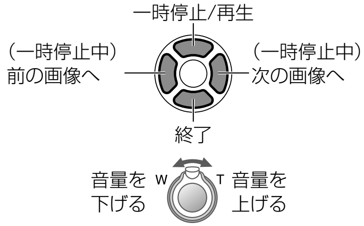
設定	
再生間隔※1	1 秒/2 秒/ 3 秒/ 5 秒 （効果「OFF」設定時のみ設定可能）
リピート	OFF/ON（リピートする）
音楽 （音声）※2	OFF/ON（音楽(音声)を再生する） • 効果が「OFF」以外のとき ON：音楽が再生されます。 OFF：音楽(音声)が再生されません。 • 効果が「OFF」のとき ON：動画や音声付き静止画の音声が再生されます。 OFF：動画や音声付き静止画の音声は再生されません。

3 ▲で「開始」を選び、[MENU/SET]で決定する

- 再生中に 🗑 を押すとメニュー画面に戻ります。

■ スライドショー中の操作





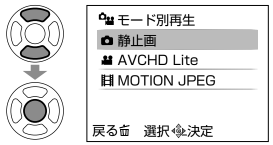
※ 再生中の動画が、まだ3秒以内しか再生されていない場合は、前の画像を表示。

- 「アーバン」は、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- HDMIミニケーブル(別売)でテレビに表示するとき、一部の「効果」が動作しません。
- 音楽効果を追加することはできません。
- 動画再生中は、再生間隔の設定が無効となります。
- 横縦比の異なる画像は、端をカットして全画面で表示されます。

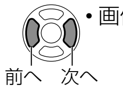
「モード別再生」データの記録形式別に再生する

静止画だけ再生したいときや、「AVCHD Lite」または「MOTION JPEG」で撮影した動画だけ再生したいときなどに便利な再生モードです。

1 再生するデータの種類を選び、決定する



2 画像を見る



- 画像を消去するとき→ 🗑（消去）を押す

- 「モード別再生」を終了する場合は、「通常再生」に設定してください。

いろいろな再生方法「再生モード」（つづき）

撮影/再生切換スイッチ：▶　　再生モードの切換方法は、81ページへ

「カテゴリー再生」自動で分類する

画像を自動で分類し、そのカテゴリーごとに見ることができます。再生モード選択メニューで「カテゴリー再生」を選ぶと、自動で分類が始まります。

1 カテゴリーを選び、決定する



画像があるカテゴリーのアイコン（濃い青）

その枚数表示（表示に数秒必要）

- （個人認証）の場合は、▲▼◀▶で個人を選び、[MENU/SET]を押してください。

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
（個人認証）	個人認証で撮影した画像
（人物）	人物、i人物、美肌、変身、自分撮り、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん、i赤ちゃん
（風景）	風景、i風景、夕焼け、空撮
（夜景）	夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、星空
（イベント）	スポーツ、パーティー、キャンドル、花火、ビーチ、雪、空撮
（赤ちゃん）	赤ちゃん、i赤ちゃん
（ペット）	ペット
（料理）	料理
（水中）	水中
（トラベル）	トラベル日付（メモ画像はトラベル日付を設定して撮ってもトラベル日付に分類されません）
（動画）	動画

2 画像を見る

前へ　次へ

- 画像を消去するとき→（消去）を押す

● カレンダー画面表示はできません。
● 「個人認証」の登録で名前を設定していない場合は、カテゴリー再生できません。
● 「カテゴリー再生」では次の再生メニューのみ使用できます。
「回転表示」（P.90）「プリント設定」（P.92）「プロテクト」（P.93）「アフレコ」（P.93）
● 「カテゴリー再生」を終了する場合は、「通常再生」に設定してください。

「★ お気に入り再生」お気に入り画像だけ見る

「お気に入り」（P.91）で設定した画像を手動で再生します。（「お気に入り」に設定している画像があり、設定を「ON」にしているときのみ表示されます）

1 画像を見る

前へ　次へ

● カレンダー画面表示はできません。
● 「お気に入り再生」では次の再生メニューのみ使用できます。
「回転表示」（P.90）「プリント設定」（P.92）「プロテクト」（P.93）「アフレコ」（P.93）
● 「お気に入り再生」を終了する場合は、「通常再生」に設定してください。

再生メニューを使う

撮影/再生切換スイッチ：▶　　モードダイヤル：（メモ）以外

再生メニューの設定方法は、18ページをお読みください。

「CAL カレンダー検索」撮影日別に見る

カレンダー画面で撮影日を選んで、その日に撮った画像だけを見ることができます。（P.79）

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶ 再生メニュー」→「CAL カレンダー検索」を選ぶ

● 再生モードが「通常再生」（P.37)のときのみ設定できます。

「タイトル編集」画像に文字を入れる

シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」の名前や、「トラベル日付」の旅行先を編集したり、お好みの画像にタイトルなどをつけることができます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶ 再生メニュー」→「タイトル編集」を選ぶ

1 ▲▼で「1枚設定」または「複数設定」を選び、[MENU/SET]で決定する

2 画像を選び、決定する

● 1 枚のとき



● 複数に同じタイトルをつけるとき（50 枚まで）

DISPLAY



- タイトル編集設定
- タイトル編集済み
- 解除するとき→再度[DISPLAY]を押す
- 実行するとき→[MENU/SET]を押す

3 文字を入力する

文字入力方法



①[DISPLAY]を数回押して、文字の種類を選ぶ
（かな ひらがな、カナ カタカナ、A a アルファベット大文字/小文字、&/1 記号/数字）
②▲▼◀▶で文字を選び、[MENU/SET]で決定する（くり返す）（日本語入力の場合は、まず上段で「あかさたな」行を選び下段で文字を選ぶ）
③▲▼◀▶で「終了」を選び、[MENU/SET]で決定する

- 入力できる文字数（＼、「、」、･、ー、歳、カ、月、日は2 文字として扱います）
かな カナ：最大15文字（「個人認証」の名前は最大6文字）
A a &/1：最大30文字（「個人認証」の名前は最大9文字）
- 入力位置のカーソルはズームレバーで移動できます。
- 登録文字数が多い場合は、文字はスクロールで表示されます。

（1 枚設定時は設定後に、（消去）を押すとメニュー画面に戻ります）

再生メニューの設定方法は、18ページへ

■ 修正するとき ➡ 手順 1 で「1 枚設定」を選ぶ→◀▶で画像を選び、[MENU/SET]で決定する→修正して「終了」を選ぶ→🗑を押してメニュー画面に戻る

●再生モードが「カテゴリー再生」(P.84)「お気に入り再生」(P.84)のときは設定できません。
●他機で撮影された画像、プロテクトされた画像、動画には設定できません。
●設定した文字を印刷するには、「文字焼き込み」するか(下記)、CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って印刷してください。

「[文字焼き込みアイコン] 文字焼き込み」文字や日付などを焼き込む

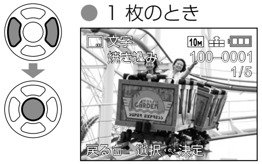
撮影日時、シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」、「トラベル日付」、「タイトル編集」で登録した文字を画像に焼き込みます。Lサイズのプリントに適しています。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶] 再生メニュー」→「[文字焼き込みアイコン] 文字焼き込み」を選ぶ

1 ▲▼で「1 枚設定」か「複数設定」を選び、[MENU/SET]で決定する

2 画像を選び、決定する

● 1 枚のとき



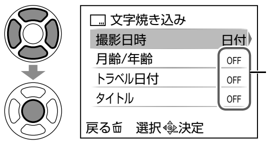
● 複数のとき(50 枚まで)



文字焼き込み設定

• 解除するとき→再度[DISPLAY]を押す
• 実行するとき→[MENU/SET]を押す

3 項目を選んで設定し、決定する

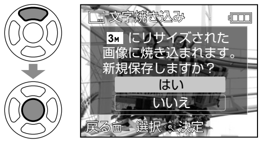


焼き込むには「ON」を選ぶ

•「個人認証」の名前、シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」の名前、「トラベル日付」の旅行先、「タイトル編集」で入力した文字を焼き込むときは、「タイトル」を「ON」にしてください。

4 「はい」を選び、決定する

(画面は画素数などによって変わります)



• 一度焼き込んだ文字は消すことができません。
• 1 枚設定時は、手順 4 の後に 🗑 を押すとメニュー画面に戻ります。

■ 焼き込んだ文字を確認するとき ➡「再生ズーム」(P.37)

●記録画素数が3 M以上の場合、記録画素数が小さくなり画質が少し粗くなります。

画像横縦比	焼き込み後
4：3	3 M
3：2	2.5 M
16：9	2 M

●他機で撮影したもの、時計を設定せずに撮影したもの、動画、音声付き静止画には設定できません。
●文字を焼き込んだ画像は、「リサイズ」「トリミング」「横縦比変換」、文字の再焼き込み、「プリント設定」の日付プリント設定ができません。
●プリンターによっては文字が切れることがあります。
●再生モードが「カテゴリー再生」(P.84)「お気に入り再生」(P.84)のときは設定できません。
●**文字焼き込み済みの画像は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。(重なってプリントされることがあります)**

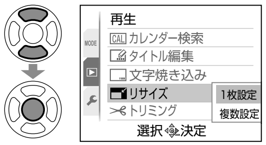
「[リサイズアイコン] リサイズ」画像サイズを小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。(一番小さい記録画素数で撮影した画像は、それ以上小さくできません)

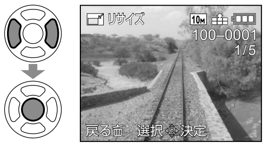
操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶] 再生メニュー」→「[リサイズアイコン] リサイズ」を選ぶ

■ 1 枚設定

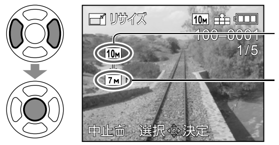
1 「1 枚設定」を選び、決定する



2 画像を選び、決定する



3 サイズを選び、決定する



現在のサイズ
変更後のサイズ

4 「はい」を選び、決定する



• 決定後、🗑 を押すとメニュー画面に戻ります。

再生メニューを使う（つづき）

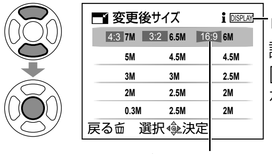
撮影/再生切換スイッチ：[▶]　モードダイヤル：[カスタム] 以外

再生メニューの設定方法は、18ページへ

■ 複数設定

1 前ページの手順 1 で▼で「複数設定」を選び、[MENU/SET]で決定する

2 サイズを選び、決定する



3 画像を選び、決定する（50 枚まで）



- 解除するとき→再度[DISPLAY]を押す
- 実行するとき→[MENU/SET]を押す

4 ▲で「はい」を選び、[MENU/SET]で決定する

●リサイズすると画質が粗くなります。
●再生モードが「カテゴリー再生」「お気に入り再生」(P.84)のときは設定できません。
●動画、音声付き静止画、文字焼き込み済みの画像はできません。また、他機で撮影した画像はできない場合があります。

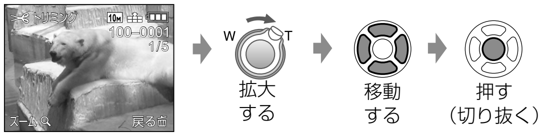
「トリミング」拡大して一部を切り抜く

画像を拡大して、必要な部分を切り抜きます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶] 再生メニュー」→「トリミング」を選ぶ

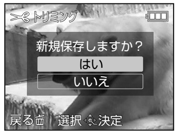
1 ◀▶で画像を選び、[MENU/SET]で決定する

2 画像を切り抜く部分を表示して、決定する



3 ▲で「はい」を選び、[MENU/SET]で決定する

- 決定後、[削除] を押すとメニュー画面に戻ります。



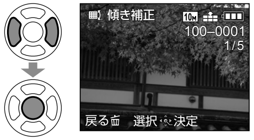
●トリミングすると画質が粗くなります。
●再生モードが「モード別再生」（P.83）「カテゴリー再生」（P.84）「お気に入り再生」(P.84)のときは設定できません。
●動画、音声付き静止画、文字焼き込み済みの画像はできません。また、他機で撮影した画像には、できない場合があります。
●トリミングした画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

「傾き補正」画像の傾きを直す

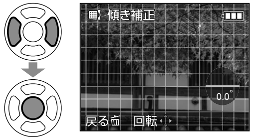
画像の微妙な傾きを修正できます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶] 再生メニュー」→「傾き補正」を選ぶ

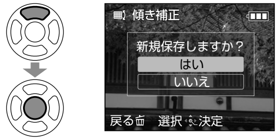
1 画像を選び、決定する



2 傾きを調整し、決定する



3 「はい」を選び、決定する



- 決定後、[削除] を押すとメニュー画面に戻ります。

●傾き補正を行うと、画質が粗くなります。
●傾き補正を行うと、元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
●他機で撮影された画像は傾き補正できない場合があります。
●動画、音声付き静止画、文字焼き込みされた画像は傾き補正できません。
●傾き補正した画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

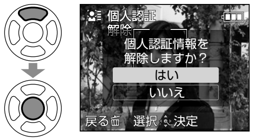
「個人認証」間違えて記録された名前を消去する

選択した画像の個人認証に関するすべての情報が解除されます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶] 再生メニュー」→「個人認証」を選ぶ

1 ◀▶で画像を選び、[MENU/SET]で決定する

2 「はい」を選び、決定する



- 決定後、[削除] を押すとメニュー画面に戻ります。

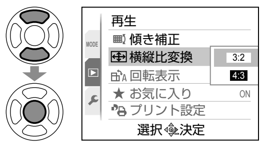
●解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
●解除した画像は、「カテゴリー再生」の個人認証に分類されません。
●プロテクトされた画像は解除できません。

「横縦比変換」画像の横縦比を変える

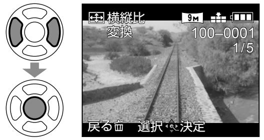
16:9 で撮影した画像を、プリント用に 3:2 または 4:3 に変換できます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶] 再生メニュー」→「横縦比変換」を選ぶ

1 3:2または4:3を選び、決定する

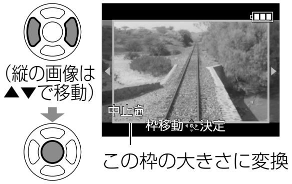


2 16:9の画像を選び、決定する



3 左右の位置を決め、変換する

（縦の画像は▲▼で移動）



この枠の大きさに変換

4 ▲で「はい」を選び、[MENU/SET]で決定する

- 決定後、[ゴミ箱] を押すとメニュー画面に戻ります。

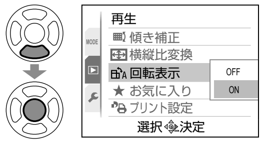
●変換後は、画素数が大きくなることがあります。
●再生モードが「モード別再生」（P.83）「カテゴリー再生」（P.84）「お気に入り再生」（P.84)のときは設定できません。
●動画や音声付き静止画、文字焼き込み済みの画像、DCF規格(P.37)に準拠していないファイルはできません。また、他機で撮影した画像には、できない場合があります。
●横縦比変換した画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

「回転表示」画像を自動で回転して表示する

縦向きに撮った画像を自動的に回転して表示します。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶]再生メニュー」→「回転表示」を選ぶ

1 「ON」を選び、決定する





回転表示「ON」



回転表示「OFF」

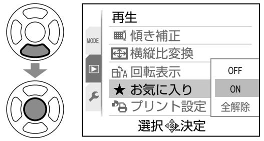
●動画は、回転表示できません。
●本機を上や下に向けて撮影したものは、自動で回転されない場合があります。また、他機で撮影した画像にはできない場合があります。
●マルチ再生時およびカレンダー検索時は回転して表示されません。
●パソコンではExif（P.37)に対応した環境(OS、ソフトウェア)でのみ、回転して表示されます。

「★ お気に入り」お気に入り画像を設定する

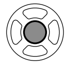
気に入った画像に★印をつけておくと、お気に入り画像だけで「スライドショー」（P.82）や「お気に入り再生」（P.84)をしたり、お気に入り画像以外を全消去(P.38)したりすることができます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶]再生メニュー」→「★ お気に入り」を選ぶ

1 「ON」を選び、決定する



2 メニューを終了する



押す

3 （再生画面で）
画像を選び、設定する（くり返す）



設定すると表示（「OFF」のときは表示されません）

- 999 枚まで設定できます。
- 解除するとき→再度▼を押す

■ すべて解除するとき ➡ 手順 **1** で、「全解除」を選ぶ→「はい」

●再生モードが「お気に入り再生」（P.84)のときは設定できません。
●他機で撮影した画像には設定できない場合があります。
●CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」でも、設定・解除ができます。
●「AVCHD Lite」で撮影した動画は設定できません。

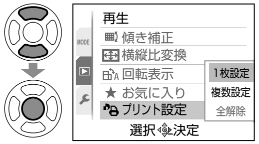
応用・再生

「プリント設定」プリント設定する

DPOFプリント対応のお店やプリンターでプリントするときに、画像・枚数・日付プリントの有無を指定できます。（対応しているかどうかはお店に確認してください）

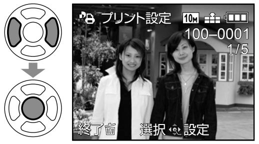
操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶] 再生メニュー」→「プリント設定」を選ぶ

1 「1 枚設定」または「複数設定」を選び、決定する

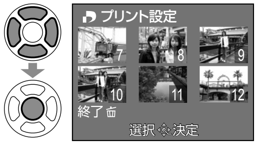


2 画像を選び、決定する

●1 枚のとき



●複数のとき

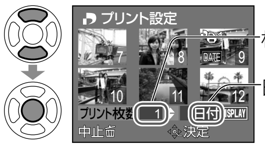


3 枚数を設定し、決定する（「複数設定」時は 2 と 3 をくり返す（999 枚まで））

●1 枚のとき



●複数のとき



- 日付プリントを設定／解除するとき→[DISPLAY]を押す
- 設定後、[削除] を押すとメニュー画面に戻ります。

■ **すべて解除するとき** ➡ 手順 1 で、▼で「全解除」を選ぶ →「はい」を選び、決定する

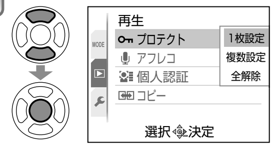
●PictBridge対応プリンターでは、プリンター側のプリント設定が優先されることがあるため確認してください。
●内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、まずカードにコピーしてから設定してください。（P.94）
●DCF規格（P.37）に準拠していないファイルには設定できません。
●他機で設定されたDPOF情報（プリント設定）は利用することができない場合があります。その場合、DPOF情報をすべて解除してから本機で再度設定してください。
●日付プリント設定は、「文字焼き込み」済みの画像には設定できません。また、日付プリント設定後に「文字焼き込み」を行うと、設定が解除されます。
●「AVCHD Lite」で撮影した動画は設定できません。

「プロテクト」画像を保護する

誤消去を防止します。設定すると、消去できなくなります。

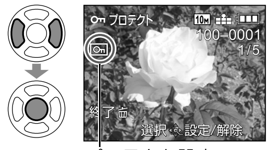
操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶] 再生メニュー」→「プロテクト」を選ぶ

1 「1 枚設定」または「複数設定」を選び、決定する



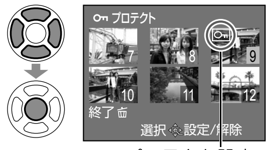
2 画像を選び、設定する

●1 枚のとき



プロテクト設定

●複数のとき



プロテクト設定

- 解除するとき→再度[MENU/SET]を押す
- 決定後、[削除] を押すとメニュー画面に戻ります。

■ **全解除するとき** ➡ 手順 1 で、▼で「全解除」を選ぶ →「はい」を選び、決定する

■ **全解除中に中止するとき** ➡ [MENU/SET]を押す

●本機以外では無効になることがあります。
●プロテクトしてもフォーマットすると消去されます。

「アフレコ」後で音声をつける

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶] 再生メニュー」→「アフレコ」を選ぶ

1 画像を選び、録音を開始する



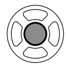
すでに音声がある場合は、確認画面で「はい」を選ぶと上書きされます。

- 中止するとき→[削除] を押す

ステレオマイク（指でふさがない）



2 録音を終了する（または、約 10 秒で自動的に終了します）



押す

- 録音終了後、[削除] を押すとメニュー画面に戻ります。

●動画やプロテクトした画像はできません。また、他機で撮影した画像には、録音できない場合があります。

再生メニューを使う（つづき）

再生メニューの設定方法は、18ページへ

撮影/再生切換スイッチ：[▶]　　モードダイヤル：[メモ] 以外

「[コピー] コピー」画像を他の保存先にコピーする

内蔵メモリーとカード間のコピー、カードからメモ専用フォルダーへのコピーができます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶] 再生メニュー」→「[コピー] コピー」を選ぶ

1 コピーのしかた（方向）を選び、決定する



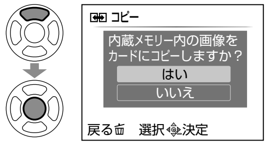
[IN→SD]：内蔵メモリーからカードへ、全画像をコピー。（手順 3 へ）
（メモ画像はコピーされません。メモ再生メニューの「コピー」（P.78）を使ってください。）

[SD→IN]：カードから内蔵メモリーへ、１ 枚コピー。

[SD→メモ]：カードからメモ専用フォルダー（内蔵メモリー）に１ 枚コピー。（動画以外）

2 「[SD→IN]」や「[SD→メモ]」のときは、◀▶で画像を選び、[MENU/SET]で決定する

3 「はい」を選び、決定する



- 中止するとき→[MENU/SET]を押す
- 決定後、[戻る] を押すとメニュー画面に戻ります。

（画面は一例）

- ●内蔵メモリーの容量が不足してコピーできないときは、電源を切ってカードを抜いてから、内蔵メモリーの画像を消去してください。（メモ画像を消去する場合は、モードダイヤルをメモモードに合わせてください）
- ●内蔵メモリーからカードへコピーする場合、カードの空き容量が少ないと途中までしか画像データをコピーできません。内蔵メモリー（約40 MB）より空き容量の多いカードを使用することをおすすめします。
- ●コピーには時間がかかることがあります。コピー中は、電源を切ったり他の操作をしないでください。
- ●コピー先に同じ名前（フォルダー番号/ファイル番号）がある場合、「[IN→SD]」（内蔵メモリーからカード）時は新しいフォルダーを作成してコピーします。「[SD→IN]」（カードから内蔵メモリー）時はその画像はコピーされません。
- ●DPOF設定はコピーされません。
- ●当社製デジタルカメラ（LUMIX）の画像のみコピーできます。
- ●コピーしてもコピー元の画像は消去されません。（画像を消去するとき→P.38）
- ●再生モードが「通常再生」（P.37）のときのみ設定できます。
- ●「AVCHD Lite」で撮影した動画はコピーできません。

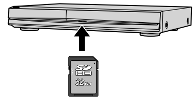
記録した映像を残す

本機で記録した静止画や動画は、そのファイル形式（JPEG、AVCHD Lite、Motion JPEG）によって他の機器への取り込み方法が異なります。お使いの機器により、以下の方法をお選びください。

SDカードをレコーダーに入れてダビングする

取り込み可能なファイル形式：[静止画] JPEG/ [動画] AVCHD Lite

当社製ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーに本機で撮影したSDカードを入れると、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスクにダビングすることができます。

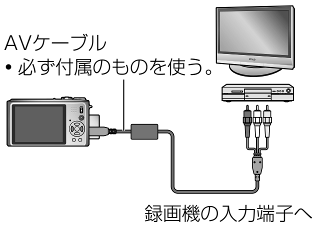


- 「AVCHD Lite」で撮影された動画は、AVCHD対応機器と互換性があります。AVCHDに対応していない機器（従来のDVDレコーダーなど）では再生できません。また、再生可能なAVCHD機器でも、ダビングができない機器もあります。
- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

AVケーブルを使って再生映像をダビングする

取り込み可能なファイル形式：[動画] AVCHD Lite、Motion JPEG

本機で再生した映像をブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなどを使い、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスク、ビデオテープなどにダビングします。ハイビジョン（AVCHD）対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このときの映像は、ハイビジョンではなく標準画質になります。



1 本機と録画機を接続する

2 本機で再生を始める

3 録画機で録画を始める

- 録画（ダビング）を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

- ●横縦比が4：3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の「TV画面タイプ」（P.25）を「4：3」に設定してダビングしてください。「16：9」に設定してダビングした動画を4：3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- ●ダビング時は本機の[DISPLAY]を押し、画面表示を消しておくことをおすすめします。（P.39）
- ●ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

パソコンにコピーする（P.96）

取り込み可能なファイル形式：[静止画] JPEG/ [動画] AVCHD Lite、Motion JPEG

CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンに静止画や「AVCHD Lite」、「MOTION JPEG」で撮影した動画を取り込んだり、「AVCHD Lite」で撮影した動画から従来の標準画質のDVDビデオを作成することなどができます。

- 取り込んだAVCHD Lite動画に関するファイルやフォルダーをWindowsのエクスプローラーなどで消去、変更、移動をすると再生、編集などができなくなりますので、AVCHD Lite動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。

パソコンに接続する

お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。
詳しくはパソコンの説明書をお読みください。

本機とパソコンを接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。
- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと便利です。
- CD-ROM（付属）のソフトウェアや動作環境、インストールなど詳しくは、**別冊の「パソコン接続編取扱説明書」**および**「付属ソフトウェアについてのお知らせ」**をお読みください。

■使用できるパソコン

	Windows			Macintosh
	98/98SE	Me	2000/XP/Vista	OS 9/OS X
PHOTOfunSTUDIOは使える？	使えません		使えます※1	使えません
AVCHD Lite動画をパソコンに取り込める？	取り込めません		取り込めます※2	取り込めません
USB接続ケーブルを使って本機で撮影した静止画、MOTION JPEG動画をパソコンに取り込める？	取り込めます			取り込めます OS 9.2.2 OS X （10.1 ～ 10.5）
USBドライバーのインストールは必要？	必要です	不要です		－

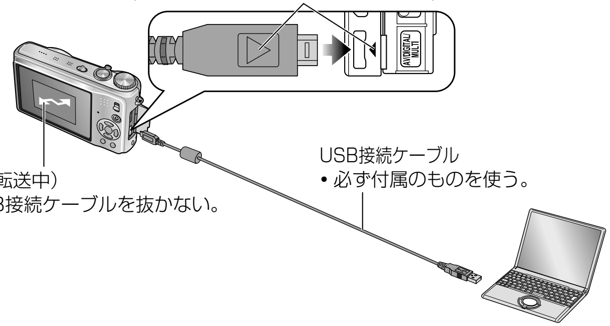
- Windows 95以前またはMac OS 8.x以前のパソコンは、USB接続はできませんが、SDメモリーカードリーダー /ライターが利用できれば取り込めます。

※1 Internet Explorer 6.0以上がインストールされている必要があります。
お使いになるパソコンの環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※2 AVCHD Lite動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。

静止画、動画を取り込む

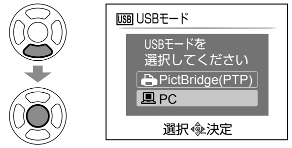
準備：
- バッテリーを十分に充電しておく。または、ACアダプター（別売：DMW-AC5）とマルチ変換アダプター（別売：DMW-MCA1）を接続しておく。（P.99）
- カードのとき：カードを入れ、モードダイヤルを 以外にする
内蔵メモリーのとき：カードを抜いておく



1 本機とパソコンの **電源を入れる**

2 本機とパソコンを **接続する**
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

3 本機で **「PC」を選び、決定する**



「USBモード」（P.24）が「PictBridge（PTP）」に設定されているとメッセージが表示される場合があります。「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じ、「USBモード」を「PC」に設定してください。

4 パソコンを**操作する**

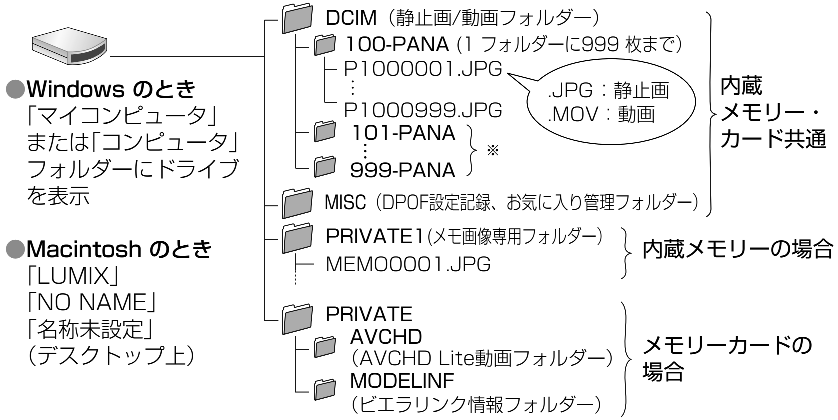
■ **接続を解除するとき** ➡ パソコンでタスクトレイの「**ハードウェアの安全な取り外しまたは取り出し**」を実行する→USB接続ケーブルを抜く→本機の電源を切る→ACアダプターを抜く

他の機器と接続

パソコンに接続する（つづき）

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ＆ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。

■フォルダーの構造と名前



※フォルダーは次のときに新しく作成されます。
「番号リセット」（P.24）したとき、フォルダー内のファイル数が999 枚を超えたとき、同じフォルダー番号のあるカードを入れたとき（他社のカメラで撮影したものなど）。

- ファイル名を変えると、本機では再生できなくなることがあります。
- メモモードで接続すると、カードが入っていても、（メモ画像を含む）内蔵メモリーのデータを表示します。カードのデータは表示されません。
- **AVCHDフォルダーの中にあるフォルダーやデータをWindowsエクスプローラーなどで消去や変更を行わないでください。本機で正しく再生できなくなる場合があります。**
  「AVCHD Lite」で撮影した動画の編集やデータの管理は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をお使いください。

■WindowsXP、Windows Vista、Mac OS Xをお使いの場合
「USBモード」（P.24）の設定を「PictBridge(PTP)」にしても、パソコンとPTPモードで接続することもできます。

- 本機からは、画像の読み出しのみできます。（Windows Vistaは画像の消去も可能）
- カードの中に1000 枚以上画像があると、取り込めない場合があります。
- 「AVCHD Lite」で撮影した動画は、読み出しできません。

■「AVCHD Lite」で撮影した動画をパソコンで再生する方法
①CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使います。
②パソコンに動画を保存して再生してください。

■「MOTION JPEG」で撮影した動画をパソコンで再生する方法
①CD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」を使います。
- Macintosh では標準搭載。

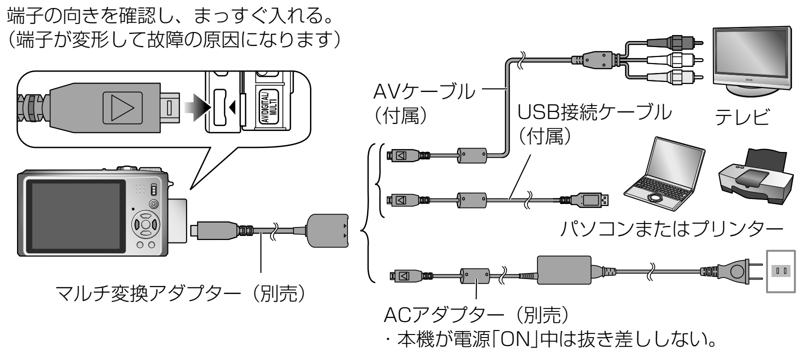
②パソコンに動画を保存して再生してください。

●カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
●Windows98/98SEをお使いの場合は、初回接続時にUSBドライバーソフトウェアのインストールを行ってください。
●通信中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。すぐにパソコン側で通信を中止してください。（バッテリーを充電してから再度接続してください）
●「USBモード」（P.24）を「PC」に設定しておくと、パソコンに接続するたびに設定する必要がありません。
●パソコンの説明書をお読みください。
●付属CD-ROMのソフトウェアについて、詳しくは別冊の「パソコン接続編取扱説明書」および「付属ソフトについてのお知らせ」をお読みください。

マルチ変換アダプター（別売）の使いかた

マルチ変換アダプター（別売：DMW-MCA1）を使うと、ACアダプター（別売：DMW-AC5）を接続しながら、電池残量を気にすることなくパソコンやプリンターと接続したり、テレビに接続して本機で画像を再生できます。

■接続例



●端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。（端子が変形して故障の原因になります）

他の機器との接続

PictBridge(ピクトブリッジ)で
プリントする

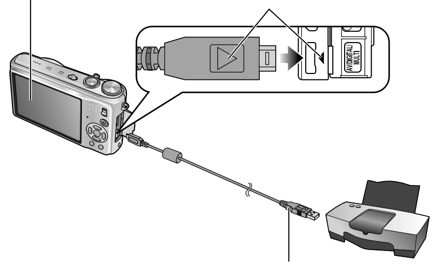
お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくはプリンターの説明書をお読みください。

PictBridge(ピクトブリッジ)対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。

準備：
- バッテリーを十分に充電しておく。または、ACアダプター（別売：DMW-AC5）とマルチ変換アダプター（別売：DMW-MCA1）を接続しておく。(P.99)
- カードのとき　　　：カードを入れておく
  内蔵メモリーのとき：カードを抜く
  （メモモードの画像はカードにコピーする。(P.78)）
- プリンター側で印字品質などを必要に応じて設定しておく。
- モードダイヤルを [メモモード] 以外にする。

ケーブル切断禁止アイコン「[アイコン]」
- 表示中はUSB接続ケーブルを抜かない。（プリンターによってはアイコンが表示されません）

端子の向きを確認し、まっすぐ入れる。
（端子が変形して故障の原因になります）

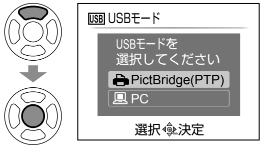


USB接続ケーブル
- 必ず本機付属のものを使う。

1 本機とプリンターの
電源を入れる

2 本機とプリンターを**接続する**
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

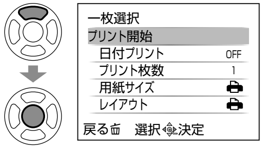
3 カメラで「PictBridge(PTP)」を選び、決定する



「PCとの接続を確認しています」と表示された場合は、接続を解除し、「USBモード」を「接続時に選択」または「PictBridge(PTP)」に設定してください。(P.24)

4 ◀▶でプリントする画像を選び、[MENU/SET]で決定する

5 「プリント開始」を選び、決定する



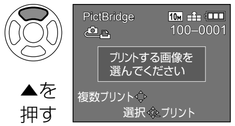
（プリントの各種設定：P.102）

■ 途中でプリントを中止するとき ➡ [MENU/SET]を押す

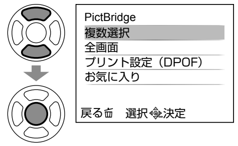
- ●プリント終了後、USB接続ケーブルを外してください。
- ●カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
- ●接続中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。プリントを中止し、USB接続ケーブルを抜いてください。（バッテリーを充電してから再度接続してください）
- ●「USBモード」(P.24)を「PictBridge (PTP)」に設定しておくと、プリンターに接続するたびに設定する必要がありません。
- ●「AVCHD Lite」で撮影した動画はプリントできません。

「複数プリント」複数まとめてプリントするとき

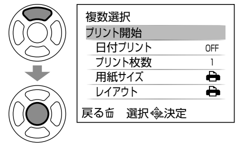
①前ページの手順 4 で複数プリントに設定する



②項目を選び、決定する（下記）



③「プリント開始」を選び、決定する



- 中止するとき→[MENU/SET]を押す

- **複数選択**　：① ▲▼◀▶で画像を選び、[DISPLAY]で決定する
  　（解除するとき→再度[DISPLAY]を押す）
  　② [MENU/SET]で決定する
- **全画像**　　：すべての画像
- **プリント設定(DPOF)**：「プリント設定」で設定した画像(P.92)
- **お気に入り**：「お気に入り」(P.91)で設定した画像（「お気に入り」画像があり、「ON」に設定時のみ表示）

- ●プリント確認画面が表示された場合は、「はい」を選んでください。
- ●プリント中にオレンジ色の「●」が画面の左上に表示されたときは、プリンターでエラーが発生しています。
- ●プリント枚数が多いとき、数回に分けてプリントされることがあります。（残り枚数の表示が設定と異なることがあります）

画像に日付や文字を入れる

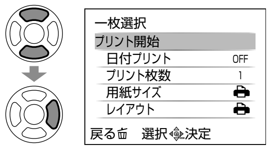
■「文字焼き込み」するとき
以下の文字情報を写真に焼き込むことができます。(P.86)
●撮影日時　● シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」の名前や月齢/年齢
●「トラベル日付」の経過日数と旅行先　●「タイトル編集」で設定した文字　●個人認証で登録した名前
- 文字焼き込み済みの画像は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。（重なってプリントされることがあります）

■「文字焼き込み」せずに日付などをプリントするとき
- ● お店プリントの場合：撮影日時のみ印刷できます。お店で、日付プリントを指定してください。
  - お店にカードを渡す前に、本機で「プリント設定」(P.92)をしておくと、カードを渡すだけで、プリント枚数や日付プリントを指定しておくことができます。
  - 16:9の画像をプリントする場合は、お店が16:9サイズに対応しているか事前に確認してください。
- ● パソコンの場合　：CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」で撮影日時や文字情報の印刷設定ができます。
- ● プリンターの場合：本機で「プリント設定」をするか、日付プリント対応プリンターをお使いの場合は本機で「日付プリント」(P.102)を「ON」に設定すると、撮影日時を印刷できます。

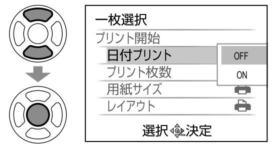
本機でプリントの各種設定をする

（「プリント開始」を選ぶ前に設定してください）

①設定項目を選ぶ



②設定内容を選ぶ



設定項目	設定内容
日付プリント	OFF/ON(日付プリントする)
プリント枚数	枚数を設定（最大 999 枚）
用紙サイズ	(プリンターの設定を優先) L/3.5"×5"（89×127 mm） 2L/5"×7"（127×178 mm） はがき（100×148 mm） 16:9（101.6×180.6 mm） A4（210×297 mm） A3（297×420 mm） 10×15 cm（100×150 mm） 4"×6"（101.6×152.4 mm） 8"×10"（203.2×254 mm） レター（216×279.4 mm） カード（54×85.6 mm）
レイアウト	（プリンターの設定を優先）／（1 面ふちなし） （1 面ふちあり）／（2 面）／（4 面）

●プリンターが対応していない項目は表示されません。
●「2 面」「4 面」で同じ画像を並べたいときは、その画像のプリント枚数を2 枚/4 枚にしてください。
●本機が対応していない、用紙サイズやレイアウトでプリントするには(プリンター優先)を選び、プリンター側で設定してください。（プリンターの説明書をお読みください）
●プリント設定(DPOF)設定時は「日付プリント」と「プリント枚数」の項目は表示されません。
●プリント設定(DPOF)をしても、お店やプリンターによって日付プリントされないことがあります。
●「日付プリント」を「ON」にするときは、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。（プリンター側の設定が優先される場合があります）

テレビで見る

本機とテレビをAVケーブル(付属)、またはHDMIミニケーブル(別売)で接続すると、静止画や動画をテレビで見ることができます。
●テレビの説明書もお読みください。

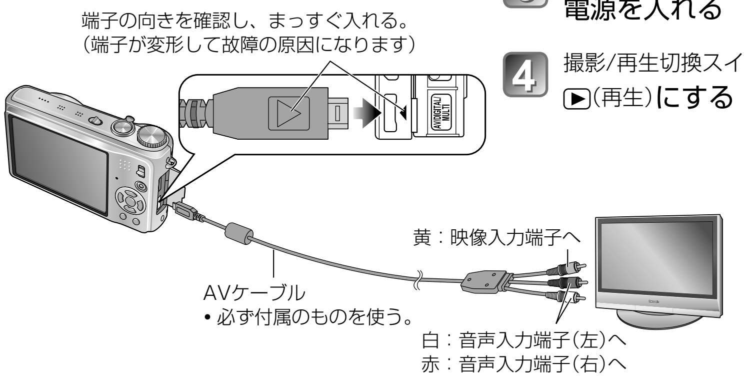
準備： • 「TV画面タイプ」(P.25)を設定する。
• 本機とテレビの電源を切る。

1 本機とテレビを
接続する

2 テレビの
電源を入れ、
「外部入力」にする

3 本機の
電源を入れる

4 撮影/再生切換スイッチを
▶(再生)にする



■テレビやBD/DVDレコーダーにSD カードスロットがあるとき

➡ SD カードスロットにSD メモリーカードを入れてください
• 静止画のみ再生できます。
• 「AVCHD Lite」で撮影した動画は、AVCHDのロゴマークがついている当社製テレビ（ビエラ）で再生することができます。その他の場合、動画を再生するときは、AVケーブル(付属)を使用し、本機をテレビに接続してください。
• SDHC メモリーカードをお使いの場合は、SD カードスロットがSDHC 対応の機器で再生してください。
• マルチメディアカードは再生できないことがあります。

●テレビに出力できるのは、▶(再生)時のみです。
●「LCDモード」の設定はテレビには反映されません。
●テレビの特性上、画像の端が多少切れて表示されたり、全画面で表示されないことがあります。また、縦に回転した画像は、多少ぼやけることがあります。
●ワイドテレビやハイビジョンテレビで横縦比が正しく表示されないときは、テレビ側で画面モードの設定を変えてください。

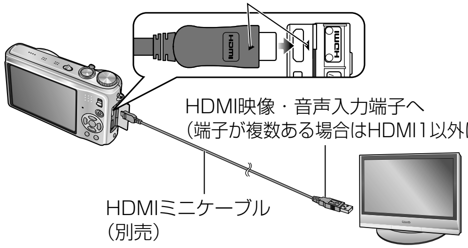
テレビで見る（つづき）

HDMI端子付きテレビで見る

HDMIミニケーブル(別売)を使って、静止画や動画を高画質で楽しむことができます。

HDMIとは
HDMIはデジタル映像機器向けのインターフェースです。HDMI対応機器と接続すると、デジタル信号で映像や音声を出力することができます。本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続して再生すると、撮影した静止画や動画を高画質で楽しむことができます。また、ビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)と接続すると連動操作(ビエラリンク)ができます。(P.105)

準備：
- 「HDMI出力解像度」を確認する。(P.25)
- 本機とテレビの電源を切る。



1 本機とテレビを
接続する

2 テレビの
電源を入れ、「HDMI」にする

3 本機の
電源を入れる

4 撮影/再生切換スイッチを
▶(再生)**にする**

- ●メモモードでは再生できません。
- ●画像横縦比によっては、上下や左右に帯が付いて表示されることがあります。
- ●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- ●当社製HDMIミニケーブルをお使いいただくことをおすすめします。
  - 品番：RP-CDHM15（1.5 m)、RP-CDHM30（3.0 m)
- ●HDMIミニケーブル接続時は、液晶モニターに画像が表示されません。
- ●静止画は「記録画素数」(P.65)を2 M以上に、動画 は「画質設定」(P.76)を「SH」「H」「L」または「HD」に設定して撮影することをおすすめします。
- ●使用できない機能があります。(「タイトル編集」「文字焼き込み」「リサイズ」「トリミング」「傾き補正」「横縦比変換」「アフレコ」「個人認証」「コピー」、画像複数選択(消去時など)、など)
- ●USB接続ケーブルと同時に接続すると、HDMI端子は働きません。
- ●AVケーブルと同時に接続すると、AVケーブルの映像は出力されません。
- ●他機で撮影された動画および音声付き静止画は、映像・音声が正常に再生されない場合があります。
- ●テレビによっては、再生開始直後や一時停止直後に一瞬、画像が乱れることがあります。

- ●テレビの取扱説明書もお読みください。
- ●「HDMI出力解像度」(P.25)の「1080i」は、以下の場合のみ有効です。
  - モード別再生の「静止画」選択時
  - スライドショーの「静止画のみ」選択時
  - スライドショーの「カテゴリー選択」選択時(トラベル日付以外)

  上記以外は「720p」で出力されます。
- ●音声出力はステレオ(2ch)です。

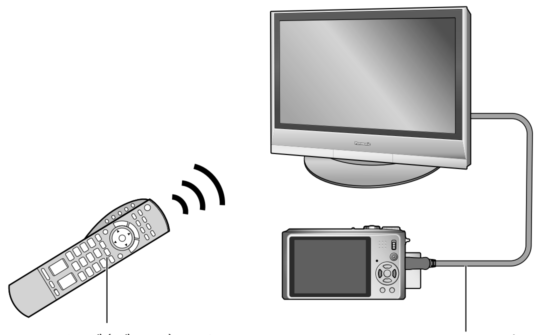
ビエラリンク(HDMI)（HDAVI Control™)を使う

ビエラリンク(HDMI)とは
- ●本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ●ビエラリンク(HDMI)はHDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- ●本機は、ビエラリンク(HDMI) Ver.4に対応しています。ビエラリンク(HDMI) Ver.4とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2008年12月現在)

準備：• 「ビエラリンク」を「ON」に設定する。(P.26)

1 HDMIミニケーブル(別売)で、本機とビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)をつなぐ(P.104)

2 ビエラのリモコンで操作する



他の機器と接続

テレビで見る（つづき）

■使用できる機能

テレビのリモコンで操作します。

①マルチ再生

テレビのリモコンの[赤]を押して、再生するデータの種類を切り換える

• 再生するデータの種類は、「全画像」→ → → → 「全画像」の順に切り換わります。

▲▼◀▶で画像を選び、[決定]を押して1画面表示する

[サブメニュー]を押すとスライドショーの設定などを行うことができます。



②1画面表示

◀▶で画像を送る

▲で撮影情報を表示する

▼で①のマルチ再生に戻る

●「全画像」または から1画面表示を行ったとき[決定]を押すと③のスライドショーを開始します。

● または から1画面表示を行ったとき[決定]を押すと動画を再生します。
◀▶で早戻し／早送り、▼で再生を終了します。



操作アイコン

③スライドショー

[決定]を押してスライドショー開始/一時停止操作をする

一時停止中に◀▶で画像を送る

▼でスライドショーを終了し、②の1画面表示に戻る



操作アイコン

●スライドショーで動画の音声を再生するときは:
「全画像」を選んでいるとき、スライドショーで動画の音声を再生するには、[サブメニュー]を押し、スライドショーで、効果を「OFF」に、音声を「ON」に設定してください。

●操作アイコンの表示／非表示について
[戻る]を押すと操作アイコンを非表示にすることができます。また、操作アイコン非表示中に[サブメニュー]を押すと操作アイコンを表示します。

■その他の連動操作について

●電源OFF
テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

●自動入力切換
• HDMIミニケーブルで接続して本機の電源を入れると、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）
• テレビのHDMI端子によっては､入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください）
• ビエラリンク（HDMI）が正しく働かない場合は、118ページをご確認ください。

●お使いのテレビがビエラリンク（HDMI）対応かわからないときは、接続した当社製テレビにビエラリンク（HDMI）のロゴマークが付いているかご確認いただくか、それぞれの取扱説明書をお読みください。

●本機の「ビエラリンク」（P.26）を「ON」に設定している場合は、本機のボタンを使っての操作は制限されます。

●接続したテレビ側のビエラリンク（HDMI）が働くように設定しておいてください。（設定方法などはテレビの取扱説明書をお読みください）

●ビエラリンク（HDMI）を使用しない場合は、本機の「ビエラリンク」（P.26）を「OFF」に設定してください。

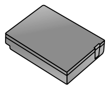
●「HDMI出力解像度」（P.25）の「1080i」は、以下の場合のみ有効です。
• テレビ画面上の タブ選択時
• スライドショーの「静止画のみ」選択時
• スライドショーの「カテゴリー選択」選択時（ トラベル日付以外）
上記以外は「720p」で出力されます。

●「HDMI出力解像度」（P.25）を「AUTO」または「1080i」に設定し、テレビ画面上の タブを選択すると、1 枚再生表示の際にしばらくの間画面が黒くなりますが、故障ではありません。

●テレビ画面上の タブを選択した場合、スライドショーの「カテゴリー選択」で、（トラベル日付）や (AVCHD Lite)、 (MOTION JPEG)は選択できません。

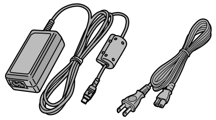
別売品のご紹介

品名：バッテリーパック
品番：DMW-BCG10



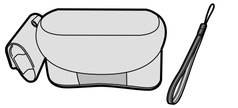
• 付属のバッテリーパックと同じ性能です。
• 旅行などの予備としてもおすすめします。

品名：ACアダプター
品番：DMW-AC5

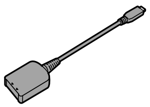


• ACアダプターを使用の際は、マルチ変換アダプター（下記）が必要です。

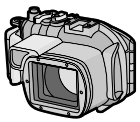
品名：本革ケース
品番：DMW-CT3



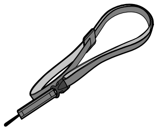
品名：マルチ変換アダプター
品番：DMW-MCA1



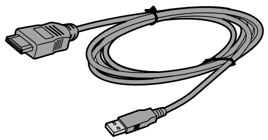
品名：マリンケース
品番：DMW-MCTZ7



品名：本革ストラップ
品番：DMW-NSTX1



品名：HDMIミニケーブル
品番：RP-CDHM15
RP-CDHM30



品名：SD メモリーカード
SDHC メモリーカード



• 最新情報は、以下のサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

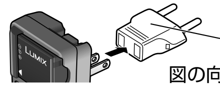
海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

●電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
●市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。
ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

●変換プラグの付けかたについて

• ご使用にならないときは変換プラグを電源コンセントから外してください。



■主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ
北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C, SE	オランダ	C, SE	ギリシャ	A, B, B3, C, SE	スイス	A, B, C, SE
スウェーデン	B, C, SE	スペイン	A, C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A, C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B, C	フランス	A, C, SE	ベルギー	B, C, SE	ロシア	A, C, SE				
アジア											
インド	B, BF, B3, C	インドネシア	B, B3, C, SE	シンガポール	B, BF, B3	タイ	A, BF, C	大韓民国	A, C, SE	台湾	A, C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A, O	ベトナム	A, BF, C, SE	香港特別行政区	B, BF, B3, C	マカオ特別行政区	B, BF, B3, C	マレーシア	B, BF, B3, C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A, B, C, O
中南米											
アルゼンチン	BF, C, SE	プエルトリコ	A, BF, C	ブラジル	A, C, SE	メキシコ	A, C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B, BF, B3	エジプト	BF,B3, C, SE	クウェート	B, B3, C	トルコ	A, B, C, SE	南アフリカ共和国	B, BF, B3, C	モロッコ	A, C, SE

タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K.タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
変換プラグ	不要です						

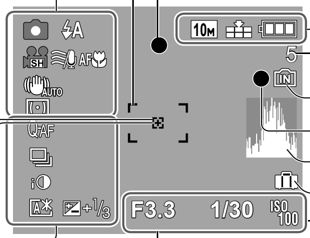
■時計を海外旅行先の時刻に合わせるとき

セットアップメニューの「ワールドタイム」で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。（P.64）

液晶モニターの表示一覧

[DISPLAY]を押すと表示が切り換わります。(P.12、39)

撮影時



- モード※(P.29)
- 画質設定(P.76)
- フラッシュモード(P.40)
- 手ブレ補正(P.73)
- 手ブレ警告(P.33)
- 測光モード(P.71)
- 風音低減(P.76)
- 追尾AF (P.32)
- マクロ撮影 (P.42)
- テレマクロ (P.42)
- スポットAF エリア(P.70)
- スポット測光ターゲット(P.71)
- AF エリア(P.33)
- フォーカス(P.33)
- 記録画素数(P.65)
- クオリティ (P.66)
- バッテリー残量(P.16)
- 記録可能枚数(P.122)
- 保存先(P.16)
- 記録動作
- ヒストグラム(P.39)
- トラベル日付(P.63)
- F3.3 絞り値(P.33)
- 1/30 シャッタースピード(P.33)
- ISO感度(P.67)
- インテリジェントISO(P.66)
- プリAF (P.71)
- コンティニュアスAF (P.76)
- 連写(P.72)
- オートブラケット(P.46)
- マルチアスペクト(P.47)
- 暗部補正(P.72)
- オートパワー LCD (P.22)
- パワー LCD (P.22)
- 露出補正(P.46)
- フォーカス距離(P.44)
- ズーム(P.35)
- ズームマクロ(P.43)

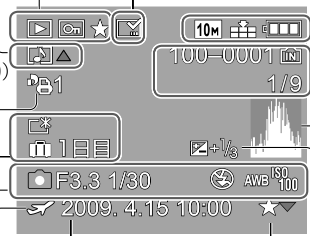
W T

● メモモード時(P.77)
※メモ撮影モード



- ホワイトバランス(P.68)
- ISO 感度(P.67)
- ISOMAX 400/ ISOMAX 800/ ISOMAX 1600 最高ISO感度(P.66)
- クール カラーモード(P.73)
- 残り撮影可能時間(P.58)
- AF 補助光(P.74)
- 音声記録(P.74)
- 5s 撮影経過時間(P.58)
- 現在日時
- 月齢/ 年齢(P.52、62)
- 名前(P.52、62)旅行先(P.63)
- トラベル経過日数(P.63)
- 下限シャッター速度(P.74)
- セルフタイマーモード(P.45)

再生時



- 再生モード※4 (P.37)
- プロテクト(P.93)
- お気に入り表示※3 (P.91)
- 動画(P.80)
- 音声付き静止画(P.80)
- ケーブル切断禁止(P.100)
- プリント設定枚数(P.92)
- パワー LCD (P.22)
- 1日目 トラベル経過日数(P.63)
- 撮影情報
- 1カ月10日 月齢/ 年齢(P.52、62)
- 旅行先設定(P.64)
- 文字焼き込み済み表示(P.86)
- 撮影日時/旅行先(P.63) / 名前(P.52、62) / タイトル(P.85)
- お気に入り設定(P.91)
- 記録画素数(P.65)
- クオリティ (P.66)
- バッテリー残量(P.16)
- 100-0001 フォルダー・ファイル番号※1 (P.24、37、98)
- 保存先(P.16)
- 1/9 画像番号/ トータル枚数(P.37)
- ヒストグラム※2 (P.39)
- 露出補正(P.46)

● 動画時(P.80)

※1 再生経過時間 XXhXXmXXs
※2 動画記録時間

● メモモード時(P.77)
※3 ズームマーク
※4 メモ再生モード

メッセージ表示

液晶モニターに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

■カードについて

メッセージ	ここを確認してください
このメモリーカードはロックされています	• SD メモリーカード、またはSDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除する。(P.16)
メモリーカードエラー・フォーマットしますか?	• 本機では認識できないカードです。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P.26)する。
メモリーカードエラー カードを確認してください	• カードへのアクセスに失敗しました。 →カードを入れ直す。 • miniSD カード、microSD カード、microSDHC カードをアダプターに入れずに本機に入れた。 →必ずアダプターに入れる。 • 別のカードを入れてお試しください。
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です	• カードがSD 規格に準拠していません。 • 4 GB以上のメモリーカードは、SDHC メモリーカードのみ使用できます。
リードエラー /ライトエラー カードを確認してください	• データの読み込みに失敗しました。 →カードが確実に入っているか確認する。(P.15) • データの書き込みに失敗しました。 →電源を切ってからカードを抜き、再び入れてから電源を入れる。 • カードが壊れている可能性があります。 • 別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	• 動画撮影の際は、SD スピードクラス※が「Class6」以上のカードを使用することをおすすめします。 ※ SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。 • 「画質設定」を「HD」、「WVGA」または「VGA」に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 • 「Class6」または「10MB/s」以上のカードを使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P.26)することをおすすめします。 • カードによっては途中で動画撮影が終了する場合があります。
内蔵メモリー残量が不足しています/ メモリーカード残量が不足しています	• 内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。カードへの一括コピーの場合、カードの空き容量分の画像がコピーされます。

■バッテリーについて

メッセージ	ここを確認してください
このバッテリーは使えません	• 純正バッテリー(DMW-BCG10)をお使いください。 • バッテリーの端子部が汚れているため、認識できません。 →端子部のごみなどを取り除いてください。
バッテリー残量が不足しています。	• バッテリー残量が不足しています。 →バッテリーを充電してからお使いください。(P.13)

■その他

メッセージ	ここを確認してください
表示できる画像がありません	• 撮影するか、画像を記録したカードを入れる。
この画像はプロテクトされています	•「プロテクト」を解除してから消去などを行う。(P.93)
消去できない画像があります/この画像は消去できません	• DCF規格(P.37)に準拠していない画像は消去できません。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去する。(P.26)
設定枚数をこえました	• 一度に複数消去できる枚数を超えています。 • お気に入り設定が999 枚を超えています。 • 一度に「タイトル編集」、「文字焼き込み」「リサイズ」(複数設定)できる枚数を超えています。
この画像には設定できません	• DCF規格に準拠していない画像は「プリント設定」、「タイトル編集」、「文字焼き込み」できません。
電源を入れ直してください/システムエラー	• レンズなどに手で力が加わり、正常に動作しませんでした。 →電源を入れ直す。 (それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください)
コピーできない画像がありました/画像をコピーすることができませんでした	• 次の場合はコピーできません。 →同名の画像がコピー先にある。(カードから内蔵メモリーへコピー時のみ) →DCF規格に準拠していないファイル。 →本機以外で撮影・編集された画像。
内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか?	• 内蔵メモリーをパソコンでフォーマットした場合などに表示されます。 →本機でフォーマットし直す。データは消去されます。
フォルダーを作成できません	• フォルダー番号を999まで使っています。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマットする。(P.26)「番号リセット」(P.24)を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。
4:3TV 用で出力します/16:9TV 用で出力します	• 本機にAVケーブル(付属)が接続されました。 →メッセージをすぐに消す場合 : [MENU/SET] を押す。 →画面表示の比率を変える場合 : 「TV画面タイプ」の設定を変える。(P.25) • USB接続ケーブル(付属)が本機のみに接続されました。 →ケーブルのもう一方を機器に接続すると消えます。

Q&A 故障かな？と思ったら

まず以下の方法をお試しください。それでも解決できない場合は、セットアップメニューの「設定リセット」を行うと症状が改善する場合があります。
（ただし、設定は「時計設定」など一部を除き、お買い上げ時の状態に戻ります）

	こんなときは…	ここを確認してください
電源、バッテリー	電源を入れても動作しない。	• バッテリーが正しく入っていない。（P.15）または、消耗している。
	電源が入っているのに液晶モニターが消灯する。	• 「パワーセーブ」や「自動液晶OFF」が働いている。（P.23） →[シャッター]を半押しして解除してください。 • バッテリーが消耗している。
	電源を入れてもすぐ切れる。	• バッテリーが消耗している。 • 「パワーセーブ」が働いている。（P.23） →[シャッター]を半押しして解除してください。
	電源が勝手に切れる。	• ビエラリンク（HDMI）対応のテレビとHDMIミニケーブル（別売）で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。 →ビエラリンク（HDMI）を使用しない場合は、本機の「ビエラリンク」を「OFF」に設定してください。（P.26）
	海外で充電したい。	• **地域によって、電源コンセントの形状が異なる。** **→その地域に合った変換プラグをご用意ください。（P.109）**

	こんなときは…	ここを確認してください
撮影	撮影できない。	• 撮影/再生切換スイッチが（撮影）になっていない。 • 内蔵メモリーやカードの残量がない。 →不要な画像を消去してください。（P.38）
	カードで撮影できない。	• **他の機器でフォーマットした。** **→本機でフォーマットしてください。（P.26）** • **本機で使えるカードについては、16ページをお読みください。**
	撮影枚数が少ない。	• バッテリーが消耗している。 →満充電のバッテリーをお使いください。（お買い上げ時は充電されていません）（P.13） →電源を入れたまま放置するとバッテリーを消耗するため、「パワーセーブ」や「自動液晶OFF」を使うなどしてこまめに電源を切ってください。（P.23） • 保存先ごとの撮影可能枚数はP.122をご参照ください。
	撮影した画像が白っぽい。	• レンズが汚れている。（指紋などの汚れがついている） →電源を入れてレンズ鏡筒を出し、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。 • つゆつきが起こっている。（P.10）
	撮影した画像が明るすぎる。または暗すぎる。	• **暗い場所で撮影している。または、晴天の空や雪など明るい被写体が画面の大半を占めている。（液晶モニターと撮影した画像の明るさが異なる場合があります）** **→露出を補正してください。（P.46）** • **「下限シャッター速度」を「1/250」など速い値に設定している。（P.74）**
	[シャッター]を1 回押すと、2 ～ 3 枚撮影される。	• 「オートブラケット」（P.46）、「マルチアスペクト」（P.47）、「連写」（P.72）、またはシーンメニューの「高速連写」（P.53）「フラッシュ連写」（P.54）を使う設定にしている。
	ピントが合わない。	• 被写体までの距離に応じたモードになっていない。（撮影モードによって撮影可能範囲が異なります） • 撮影可能範囲から外れている。 • 手ブレや被写体ブレしている。（P.66、73）

	こんなときは…	ここを確認してください
撮影（つづき）	撮影した画像がブレる。 手ブレ補正が効かない。	• 暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。 →脇を締め、本機を両手でしっかり持って撮影してください。 • 「下限シャッター速度」を遅い速度に設定したときは、三脚とセルフタイマー（P.45）をおすすめします。
	オートブラケット撮影やマルチアスペクト撮影ができない。	• 記録可能枚数が2 枚以下になっている。
	撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	• ISO感度が高い、または、シャッタースピードが遅い。（お買い上げ時はISO感度が「AUTO」のため、屋内などの撮影ではノイズが出ます） →「ISO感度」を低くしてください。（P.67） →「カラーモード」を「ナチュラル」にしてください。（P.73） →明るい場所で撮影してください。 • シーンモードの「高感度」、「高速連写」にしている。（高感度処理のため画質が少し粗くなります）
	画像の色合いが青っぽい、赤っぽい。	• **被写体を照らしている光の影響を受けている。** **→光源に合わせて、ホワイトバランスを変えてください。（P.68）**
	撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。	• 蛍光灯下で撮る場合、蛍光灯の特性によってシャッタースピードが速くなると明るさや色合いが多少変化する場合がありますが、異常ではありません。
	撮影時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじ（スミア）が出ることがある。	• CCD の特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画では記録されますが、静止画には記録されません。  • 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。
	動画撮影が途中で止まる。	• カードの種類により、記録後しばらくアクセス表示が出たり、途中で動画撮影が終了する場合があります。 • 動画撮影の際は、SD スピードクラス※が「Class6」以上のカードを使用することをおすすめします。 ※ SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。 • 「画質設定」を「HD」、「WVGA」または「VGA」に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 • 「Class6」および「10MB/s」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット（P.26）することをおすすめします。 • マルチメディアカードを使っている。（動画撮影には対応していません）
	AF ロックできない。 （動体追尾できない）	• 周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AF枠に合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分をAFロックしてください。（P.69）

	こんなときは…	ここを確認してください
液晶モニター	動画撮影中、液晶モニターが暗くなる	• 長時間動画撮影を続けると、液晶モニターが暗くなることがあります。
	電源が入っているのに、ときどき消える。	• 「自動液晶OFF」に設定している。（P.23） • 撮影後、次の撮影ができるまで画面が消えます。（内蔵メモリー使用時は最大約 6 秒間）
	明るさが不安定になる。	• ［シャッター］を半押ししたときに絞り値を設定するためです。（撮影画像に影響はありません）
	室内でちらつく。	• 電源周波数が50 Hz の地域では、ちらつく場合があります。（蛍光灯の影響を補正するため）
	明るすぎる、または暗すぎる。	• 「液晶明るさ」を調整してください。（P.21） • 「LCDモード」が働いている。（P.22）
	黒、赤、青、緑の点やノイズが現れる。液晶モニターを押さえるとムラが出る。	• 故障ではありません。記録されませんので、安心してお使いください。
	日付や年齢表示が出ない。	• 撮影時は、現在日時、トラベル経過日数（P.63）、シーンモードの「赤ちゃん」や「ペット」（P.52）の月齢/年齢は、起動時や設定後、モード切換後などに約 5 秒間のみ表示されます。常時表示することはできません。

	こんなときは…	ここを確認してください
フラッシュ	発光しない。	• ⊘（発光禁止）に設定している。（P.40） • ⚡A（オート）のときは条件によって光らないことがあります。 • シーンモードの「風景」「夜景」「パノラマアシスト」「夕焼け」「高速連写」「花火」「星空」「空撮」、「オートブラケット」、「連写」設定時は発光しません。 • 動画撮影時は発光しません。
	複数回発光する。	• 赤目軽減になっている。（P.40）（瞳が赤く写るのをおさえるため2 回発光します） • シーンモードの「フラッシュ連写」にしている。

	こんなときは…	ここを確認してください
再生	画像が勝手に回転して小さく表示される。	• 「回転表示」を「ON」にしている。（縦に構えて撮影した画像を自動回転して表示します。本機を上や下に向けて撮ると、縦に構えたと認識する場合があります） →「回転表示」を「OFF」にしてください。（P.90）
	再生できない。	• 撮影/再生切換スイッチが ▶（再生）になっていない。 • 内蔵メモリーまたはカードに画像がない。（カードが入っている場合はカードの、入っていない場合は内蔵メモリーの画像を再生します） • 「カテゴリー再生」「お気に入り再生」になっている。 →「通常再生」に設定してください。（P.81）
	フォルダー・ファイル番号が「－」で表示される。画像が黒く表示される。	• パソコンで編集、または他機で撮影した。 • 撮影直後にバッテリーを外した。または、残量が少ないバッテリーで撮影した。 →消去するには：本機でフォーマットしてください。（P.26）

	こんなときは…	ここを確認してください
再生（つづき）	カレンダー再生で、撮影日と違う日付に表示される。	• パソコンで編集、または他機で撮影した。 • 「時計設定」が正しくない。（P.17）（パソコンの時計と異なる場合、一度パソコンにコピーした画像を本機に戻してカレンダー再生すると、撮影日と違う日付で表示されることがあります）
	撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	• 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。 
	撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	• フラッシュが赤目軽減（⚡A◎, ⚡◎, ⚡S◎）のとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。 →フラッシュモードを ⚡A、⚡ または ⊘にして撮影することをおすすめします。
	動画に本機の動作音が録音される。	• 動画撮影中に本機が自動でレンズの絞りを調整するため動作音が録音される場合がありますが、異常ではありません。
	本機で撮影した動画や音声付き静止画が他機で再生できない。	• 本機で撮影した動画（Motion JPEG）や音声付き静止画は、他社製デジタルカメラでは再生できない場合があります。また、当社製デジタルカメラ（LUMIX）※においても再生できない場合があります。 ※ 2008年12月以前発売分、および2009年発売のFS,LSシリーズ • 「AVCHD Lite」で撮影した動画は、AVCHDに対応していない機器では再生できません。AVCHD対応機器でも正しく再生できない場合があります。

	こんなときは…	ここを確認してください
テレビ、パソコン、プリンター	テレビに画像が出ない。画面が流れたり色が付かない。	• 正しく接続していない。（P.103、104） • テレビの入力切換を外部入力にしていない。 • テレビがSDHC メモリーカードに対応していない（SDHC メモリーカードをご使用の場合）
	テレビ画面と液晶モニターの表示が違う。	• テレビの機種によっては、正しい横縦比にならなかったり、端が切れることがあります。
	テレビで動画再生できない。	• テレビにカードを入れている。 →AVケーブル（付属）、またはHDMI ミニケーブル（別売）で接続し、本機で再生してください。（P.103、104）
	テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	• 「TV画面タイプ」を確認する。（P.25）

	こんなときは…	ここを確認してください
テレビ、パソコン、プリンター（つづき）	ビエラリンク(HDMI)が働かない。	• HDMIミニケーブル(別売)で正しく接続されていますか？(P.104) →HDMIミニケーブル(別売)が奥まで確実に入っていることを確認してください。 • 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか？(P.26) →テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください) →接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。 →本機の電源を入れ直してください。 →テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)
	パソコンに画像を転送できない。	• 正しく接続していない。(P.97) • パソコンが本機を正常に認識しているか確認してください。 • 本機の「USBモード」を「PC」にしてください。(P.24)
	パソコンにカードが認識されない。(内蔵メモリーになっている)	• USB接続ケーブル(付属)を抜き、カードを入れた状態で再度接続してください。 • モードダイヤルを 以外に合わせてください。
	パソコンの画像をカメラで再生したい。	• CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンからカメラにコピーしてください。 メモ画像にするには、ソフトウェアを使ってパソコンからカードへコピーし、再生メニューの「コピー」(P.94)でメモ専用フォルダーにコピーしてください。
	プリンターに接続してもプリントができない。	• PictBridge対応機を使用していない。 • 本機の「USBモード」を「PictBridge(PTP)」にしてください。(P.24)
	撮影した日付がプリントされない。	• 日付プリントを指定して、プリントする。 →お店に依頼するとき：プリント設定し(P.92)、「日付入りで」と依頼する。 →プリンターを使うとき：プリント設定し、日付プリント対応プリンターを使う。 →パソコンを使うとき：CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」の印刷設定で「日付入り」を設定する。 • 画像に「文字焼き込み」で日付を焼き込んでおく。(P.86)

	こんなときは…	ここを確認してください
テレビ、パソコン、プリンター（つづき）	プリントすると、画像の端が切れる。	• プリンターにトリミングやふちなし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。 (プリンターの説明書をお読みください) • 「画像横縦比」「16:9」で撮影した。 →お店に依頼した場合、16：9のサイズに対応しているか確認してください。

	こんなときは…	ここを確認してください
その他	本機を振ると「カタカタ」と音がする。	• レンズが移動する音で、故障ではありません。
	オートレビューの設定ができない。	• 「オートブラケット」、「マルチアスペクト」、「連写」、シーンモードの「自分撮り」「高速連写」「フラッシュ連写」、および「音声記録」が「ON」のときは設定できません。
	暗い場所で[シャッター]を半押しすると、赤いランプが点灯する。	• 「AF補助光」を「ON」にしている。(P.74)
	AF補助光が点灯しない。	• 「AF補助光」を「OFF」にしている。 • 明るい場所、およびシーンモードの「風景」、「夜景」「自分撮り」「花火」「空撮」「夕焼け」では点灯しません。
	本機が熱くなる。	• ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
	レンズ部から「カチッ」と音がする。	• 明るさが変化した場合、レンズ部から音がして、液晶モニターの明るさが変わるときがありますが、これは、絞り値を設定するためです。(撮影に影響はありません)
	時計が合っていない。	• 長期間放置した。 →再度時計を設定する。(P.17)(時計設定せずに撮ると「0. 0. 0 0:00」の日付になります) • 時計設定に時間がかかった。(その分時間がずれます)
	ズーム撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	• 倍率によってわずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、異常ではありません。
	ファイル番号が連続して記録されない。	• 新しいフォルダーが作成される場合は、ファイル番号がリセットされます。(P.98)
	ファイル番号がさかのぼって記録される。	• 電源を切らずにバッテリーを抜き差しした。 (フォルダー・ファイル番号を正しく記録できないと、番号がさかのぼって記録される場合があります)

使用上のお願いとお知らせ

お使いのとき

●長時間、連続して使用すると本体が温かくなりますが、異常ではありません。
●手ブレを防ぐために、三脚を使い、安定した場所に設置することをおすすめします。
（特に、望遠やシャッタースピードが遅い撮影時、セルフタイマー使用時）
●磁気や電磁波、電波、高電圧による画像や音声の乱れを防ぐために、テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでは使用しない。上記影響で正常に動作しないときは、電源を切ってからバッテリーやACアダプター（別売：DMW-AC5）を抜き、再度取りつける。
●付属のコードやケーブルを使用し、延長して使わない。
●殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない。（変質や塗装はがれの原因になります）

お手入れのとき

お手入れの際は、バッテリーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
●汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
●レンズバリア部（P.11）を触らないでください。

しばらく使わないとき

●電源を切ってからバッテリーとカードは抜いておく。
（特にバッテリーは、過放電により故障の原因になります）
●ゴムやビニール製品に接触させたままにしない。
●押し入れなどでは、乾燥剤（シリカゲル）とともに保管する。また、バッテリーは、涼しく（15 ℃ ～25 ℃）、湿気の少ない（湿度40% ～ 60%）、温度変化の少ない場所で保管する。
●１年に１回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。

カードやデータについて

●カードやデータの破損を防ぐために
- 高温や直射日光、電磁波、静電気を避ける。
- 折り曲げない、落とさない、強い振動を与えない。
- カード裏の端子部に触れない、汚さない、ぬらさない。

●メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い
- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。
廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

赤ちゃんモード／個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。
●免責事項
- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●修理依頼または譲渡／廃棄されるとき
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。（P.24）
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー（P.94）をし、その後内蔵メモリーをフォーマット（P.26）してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により上記の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡／廃棄する際は、前ページの「●メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い」をお読みください。

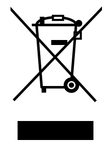
●SDHC ロゴは商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
●HDAVI Control™ は商標です。
●Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporation の商標です。
●Macintosh、Mac OSはApple Inc. の登録商標または商標です。
●その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
- AVC規格に準拠する動画（以下、AVCビデオ）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com/）をご参照ください。

■ このマークがある場合は

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

記録可能枚数・記録可能時間

- 数値は目安です。撮影の条件、カードの種類、被写体により変化します。
- 液晶モニターに表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。

内蔵メモリー・カードの記録可能枚数について（静止画）

- 「画像横縦比」（P.66）、「記録画素数」（P.65）、「クオリティ」（P.66）によって枚数が変わります。
- 記録可能枚数が99999枚を超える場合は、「+99999」と表示されます。

画像横縦比		4:3											
記録画素数		10 M (3648×2736)		7 M EZ (3072×2304)		5 M EZ (2560×1920)		3 M EZ (2048×1536)		2 M EZ (1600×1200)		0.3 M EZ (640×480)	
クオリティ		▦	▪	▦	▪	▦	▪	▦	▪	▦	▪	▦	▪
内蔵メモリー		7	14	9	19	13	26	28	54	45	84	200	320
カード	32 MB	4	9	6	12	8	16	18	35	29	54	130	200
	64 MB	9	20	13	26	18	35	37	73	60	110	270	420
	128 MB	20	41	28	55	37	72	77	145	120	220	550	860
	256 MB	41	82	55	105	73	140	150	290	240	440	1080	1690
	512 MB	83	160	110	210	145	280	300	580	470	880	2150	3350
	1 GB	165	320	220	430	290	560	600	1160	950	1770	4310	6710
	2 GB	340	660	450	870	590	1130	1220	2360	1910	3610	8770	12290
	4 GB	660	1310	880	1720	1170	2230	2410	4640	3770	7090	17240	24130
	6 GB	1010	1990	1340	2620	1780	3390	3660	7050	5730	10790	26210	36700
	8 GB	1360	2660	1800	3500	2380	4540	4910	9440	7670	14440	35080	49120
	12 GB	2050	4020	2720	5290	3590	6860	7400	14240	11570	21790	52920	74090
	16 GB	2740	5370	3630	7050	4790	9150	9880	19000	15440	29060	70590	98830
	32 GB	5500	10770	7280	14160	9620	18350	19820	38120	30970	58310	141620	198260

画像横縦比		3:2										16:9									
記録画素数		9.5 M (3776×2520)		6.5 M EZ (3168×2112)		4.5 M EZ (2656×1768)		3 M EZ (2112×1408)		2.5 M EZ (2048×1360)		9 M (3968×2232)		6 M EZ (3328×1872)		4.5 M EZ (2784×1568)		2.5 M EZ (2208×1248)		2 M EZ (1920×1080)	
クオリティ		▦	▪	▦	▪	▦	▪	▦	▪	▦	▪	▦	▪	▦	▪	▦	▪	▦	▪	▦	▪
内蔵メモリー		7	15	10	20	18	37	29	57	31	60	7	15	10	20	20	39	32	62	41	79
カード	32 MB	4	9	6	13	11	24	19	36	20	39	4	10	6	13	12	25	20	40	26	51
	64 MB	10	20	13	27	25	50	39	76	42	81	10	21	14	27	27	53	43	83	56	105
	128 MB	21	42	28	56	52	100	81	155	87	165	22	43	29	57	55	105	88	165	110	210
	256 MB	42	83	56	110	100	195	155	300	170	320	43	86	57	110	105	210	170	330	220	420
	512 MB	85	165	110	210	200	390	310	600	330	640	87	170	110	220	210	420	340	650	440	830
	1 GB	170	330	220	440	400	790	630	1200	670	1280	175	340	220	440	430	850	680	1310	880	1670
	2 GB	340	680	460	890	820	1610	1270	2450	1360	2560	350	690	460	900	890	1700	1390	2670	1800	3410
	4 GB	680	1340	900	1740	1630	3170	2510	4820	2680	5020	700	1370	920	1770	1740	3350	2740	5240	3540	6700
	6 GB	1040	2030	1370	2650	2470	4820	3820	7330	4070	7640	1070	2080	1400	2690	2650	5090	4160	7970	5390	10190
	8 GB	1390	2720	1840	3550	3310	6460	5110	9820	5450	10230	1430	2790	1870	3610	3550	6820	5580	10670	7220	13640
	12 GB	2100	4110	2780	5360	5000	9740	7710	14810	8230	15430	2160	4200	2820	5440	5360	10290	8410	16100	10890	20580
	16 GB	2800	5490	3710	7160	6670	13000	10290	19760	10980	20590	2880	5610	3770	7260	7160	13720	11230	21480	14530	27450
	32 GB	5630	11010	7450	14360	13390	26080	20650	39650	22020	41300	5790	11260	7560	14570	14360	27530	22520	43100	29150	55070

内蔵メモリー・カードの記録可能時間について（動画）

- 「撮影モード」（P.75）、「画質設定」（P.76）により撮影可能時間が変わります。

撮影モード		AVCHD Lite			MOTION JPEG			
画質設定		SH	H	L	HD	WVGA	VGA	QVGA
内蔵メモリー		—	—	—	–	–	–	1 分 22 秒
カード	32 MB	—	—	—	4 秒	16 秒	17 秒	52 秒
	64 MB	—	—	—	12 秒	36 秒	38 秒	1 分 50 秒
	128 MB	—	—	—	29 秒	1 分 17 秒	1 分 20 秒	3 分 45 秒
	256 MB	—	—	—	59 秒	2 分 30 秒	2 分 35 秒	7 分 20 秒
	512 MB	約 3 分	約 4 分	約 7 分	2 分	5 分	5 分 10 秒	14 分 40 秒
	1 GB	約 7 分	約 9 分	約 14 分	4 分	10 分 10 秒	10 分 40 秒	29 分 30 秒
	2 GB	約 15 分	約 20 分	約 29 分	8 分 20 秒	20 分 50 秒	21 分 40 秒	1 時間
	4 GB	約 30 分	約 40 分	約 1 時間	16 分 20 秒	41 分	42 分 40 秒	1 時間 58 分
	6 GB	約 46 分	約 1 時間	約 1 時間 28 分	25 分	1 時間 2 分	1 時間 5 分	3 時間
	8 GB	約 1 時間	約 1 時間 20 分	約 1 時間 54 分	33 分 30 秒	1 時間 23 分	1 時間 27 分	4 時間 1 分
	12 GB	約 1 時間 34 分	約 2 時間	約 2 時間 54 分	50 分 30 秒	2 時間 6 分	2 時間 11 分	6 時間 4 分
	16 GB	約 2 時間	約 2 時間 40 分	約 4 時間	1 時間 7 分	2 時間 48 分	2 時間 55 分	8 時間 5 分
	32 GB	約 4 時間	約 5 時間 20 分	約 8 時間	2 時間 15 分	5 時間 38 分	5 時間 51 分	16 時間 14 分

- MOTION JPEGで動画を連続して撮影できるのは、約2GBまでです。（カードに2GBを超える空き容量があっても、撮影可能時間は約2GBで計算して表示されます。）
  左表の時間表記は合計時間です。

仕様

電源 消費電力	●DC 5.1 V ●1.3 W（撮影時） ●0.6 W（再生時）

カメラ有効画素数	1010 万画素
撮像素子	1/2.33 型CCD 総画素数1270 万画素 原色カラーフィルター
レンズ	光学12 倍ズーム f=4.1 ～ 49.2 mm （35 mmフィルムカメラ換算：25 ～ 300 mm）/ F3.3 ～ F4.9
デジタルズーム	最大 4 倍
EX光学ズーム	最大 21.4 倍
フォーカス	通常/ AFマクロ/ ズームマクロ 顔認識/追尾AF/11点/1 点(H)/1 点/ スポット
撮影可能範囲	● 通常・動画　50 cm（W端時）/2 m（T端時）～ ∞ ● マクロ･インテリジェントオート･メモ　3 cm（W端時）/ 2 m（T端以外）～ ∞（ただし、T端1 m ～ ∞） ● シーンモード　上記範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
動画撮影	● AVCHD Lite 1280×720画素 60p記録※（カード使用時のみ） ※CCDからの出力は30 コマ／秒です。 約17Mbps ／約13Mbps ／約9Mbps（VBR） ステレオ音声付き ● MOTION JPEG 1280×720 画素※/848×480 画素※/ 640×480 画素※/320×240 画素（※ カード使用時のみ） 30 コマ/秒 ステレオ音声付き
連写撮影 ：速度 枚数	● 2.3 コマ/秒（連写）、約 1.8 コマ/秒（フリー連写） 最大 5 コマ（スタンダード）、最大 3 コマ（ファイン）、 内蔵メモリーまたはカードの空き容量に依存（フリー連写）
高速連写 ：速度 枚数	約 10 コマ/秒（速度優先時）、約 6 コマ/秒（画質優先時） 内蔵メモリー使用時：約 15 枚（フォーマット直後） カード使用時 ：最大 100 枚（カードの種類、撮影条件によって異なる）
ISO感度	オート/80/100/200/400/800/1600 （シーンモードの「高感度」：1600 ～ 6400）
シャッタースピード	8 ～ 1/2000 秒 シーンモードの「星空」：15 秒、30 秒、60 秒
ホワイトバランス	オート（AWB）/ 晴天/ 曇り/ 日陰/ 白熱灯/ セットモード
露出	オート（プログラムAE） 露出補正（1/3 EV ステップ、−2 EV ～ +2 EV）
測光方式	マルチ測光/中央重点測光/スポット測光
液晶モニター	3.0 型低温ポリシリコンTFT液晶（約 46 万ドット）（視野率約 100%）

フラッシュ	撮影可能範囲：約 60 cm ～ 5.3 m（W端、「ISO AUTO」設定時） オート/ 赤目軽減オート/ 強制発光（赤目軽減強制）/赤目軽減スローシンクロ/ 発光禁止
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー（約 40 MB）/SDHC メモリーカード/SD メモリーカード/マルチメディアカード（静止画のみ）
記録画素数：静止画	画像横縦比「4:3」設定時 3648×2736 画素/3072×2304 画素/2560×1920 画素/2048×1536 画素/1600×1200 画素/640×480 画素 画像横縦比「3:2」設定時 3776×2520 画素/3168×2112 画素/2656×1768 画素/2112×1408 画素/2048×1360 画素 画像横縦比「16:9」設定時 3968×2232 画素/3328×1872 画素/2784×1568 画素/2208×1248 画素/1920×1080 画素
動画	1,280×720 画素※/848×480 画素※/ 640×480 画素※/320×240 画素 （※カード使用時のみ）
クオリティ（圧縮率）	ファイン/ スタンダード
記録画像ファイル形式	静止画 ：JPEG（DCF準拠、Exif2.21準拠）/DPOF 対応 音声付き静止画 ：JPEG（DCF準拠、Exif2.21準拠）＋QuickTime 音声付き動画 ：AVCHD Lite、QuickTime Motion JPEG
インターフェース	デジタル ：USB 2.0（High Speed） アナログビデオ/オーディオ：NTSCコンポジット出力、オーディオ出力（ステレオ）
端子	HDMI ：miniHDMI Cタイプ AV/DIGITAL/MULTI：専用ジャック（14 pin）
寸法（突起部除く）	約幅103.3 mm×高さ59.6 mm×奥行き32.8 mm
質量	約 206 g（本体） 約 229 g（カード、バッテリー含む）
推奨使用温度	0 ℃ ～ 40 ℃
許容相対湿度	10% ～ 80%
言語切換	なし（日本語のみ）

■ 専用バッテリーチャージャー（DE-A65A）

定格出力	DC4.2 V 0.65 A（充電時）
定格入力	AC100 V ～ 240 V 50/60 Hz
入力容量	15 VA（100 V/240 V）

■ バッテリーパック（DMW-BCG10）

電圧/容量（最小）	3.6 V/895mAh
種類	リチウムイオン

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理･お取り扱い･お手入れなどのご相談は･･･
まず､お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・
- **修理は、サービス会社・販売会社の｢修理ご相談窓口｣へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、｢お客様ご相談センター｣へ！**

■保証書(別添付)
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間: お買い上げ日から本体１年間
(｢本体｣にはソフトウェアの内容は含みません)

■補修用性能部品の保有期間 8年
当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8 年保有しています。
注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき
この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルカメラ
品　番	DMC-TZ7
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル(全国共通番号) 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北 海 道 地 区		
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251 **旭川** 旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011	**帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241 (函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎ (017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎ (018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎ (019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎ (023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎ (024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎ (028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎ (027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎ (029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5477-9700
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎ (055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎ (025)286-0180

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	金沢市玉鉾2丁目266番地	☎ (076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎ (076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎ (0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎ (0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎ (054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎ (058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎ (059)254-5520

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎ (077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎ (075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎ (078)796-3140

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎ (086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎ (082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎ (083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎ (088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎ (088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎ (089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎ (0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1108

さくいん

●液晶モニターの表示について(P.110)